

裾野市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
調査結果報告書

令和6年9月
裾野市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査設計	1
3. 回収結果	1
4. 調査回答者の属性	2
5. 報告書の見方.....	2
II 調査結果	3
1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について.....	3
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	5
3. 保護者の就労状況について	10
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	18
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	26
6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	27
7. 病気の際の対応について.....	30
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について.....	36
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	41
10. 放課後児童室の利用状況・利用意向について.....	45
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	53
12. 裾野市の子育てに関する一般的な事項について.....	61
III 自由意見（抜粋）	86
1. 就学前児童保護者	86
2. 小学生保護者.....	89
IV 調査結果からみる課題・考察	92
1. 育児休業の取得状況について	92
2. 裾野市で実施している事業の認知度について.....	92
3. 理想の子ども的人数より、現実的に子育て可能な子ども的人数が少ない理由について...	92
4. 子育てしやすいまちだと思ふ具体的な理由について.....	92
5. 子ども・子育て施策に対するニーズについて.....	92
資料 調査票	93
1. 就学前児童.....	93
2. 小学生.....	117

I 調査の概要

1. 調査の目的

令和2年3月に策定した「第2期裾野市子ども・子育て支援事業計画」の見直しにあたり、市民の教育・保育・子育て支援に係る事業の“現在の利用状況”や“今後の利用希望”を把握し、「第3期裾野市子ども・子育て支援事業計画」で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の“量の見込み”を算出する基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 裾野市全域
- (2) 調査対象 ① 就学前児童：市内に在住の就学前の子どものいる家庭
② 小学生：市内に在住の小中学生の子どものいる家庭
- (3) 標本数 ① 就学前児童：1,000人
② 小学生：1,000人
- (4) 調査方法 郵送配布—郵送回収
- (5) 調査期間 令和6年6月5日～令和6年6月24日

3. 回収結果

	配布・発送数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,000人	610人	61.0%
小学生	1,000人	571人	57.1%

※有効回収数とは、回収数のうち、無記入や拒否などの無効票数を除いた数

4. 調査回答者の属性

(1) 調査回答者

項目		合計	母親	父親	その他	無回答
就学前児童	回答者数 (人)	610	524	83	0	3
	構成比 (%)	100.0	85.9	13.6	0.0	0.5
小学生	回答者数 (人)	571	498	72	0	1
	構成比 (%)	100.0	87.2	12.6	0.0	0.2

(2) 調査対象の子どもの年齢 ※歳児・学年は、令和6年4月1日時点

① 就学前児童

項目		合計	令和6年 4月以降生まれ	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
就学前児童	回答者数 (人)	610	8	99	83	116	100	91	104	9
	構成比 (%)	100.0	1.3	16.2	13.6	19.0	16.4	14.9	17.0	1.5

② 小学生

項目		合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答
小学生	回答者数 (人)	571	85	96	88	101	97	87	17
	構成比 (%)	100.0	14.9	16.8	15.4	17.7	17.0	15.2	3.0

5. 報告書の見方

- (1) 回答率 (%) は、その質問の回答者数を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、比率の数値の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答可の設問は全ての比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- (3) グラフ中の「n (Number of caseの略)」は基数で、その質問に回答すべき人数を表しています。
- (4) 前回調査結果 (平成 30 年度) との比較は、5.0 ポイント以上差異がある項目についてふれています。
- (5) グラフ・本文のスペースの都合上、各項目・選択肢を省略して表示している場合があります。
- (6) 該当質問に回答した人の実数 (回答母数) が 20 以下のものは、あくまで参考値とし本文でふれていません。なお、回答した人の実数 (回答母数) が 3 人以下のものは、グラフの作成を割愛しています。

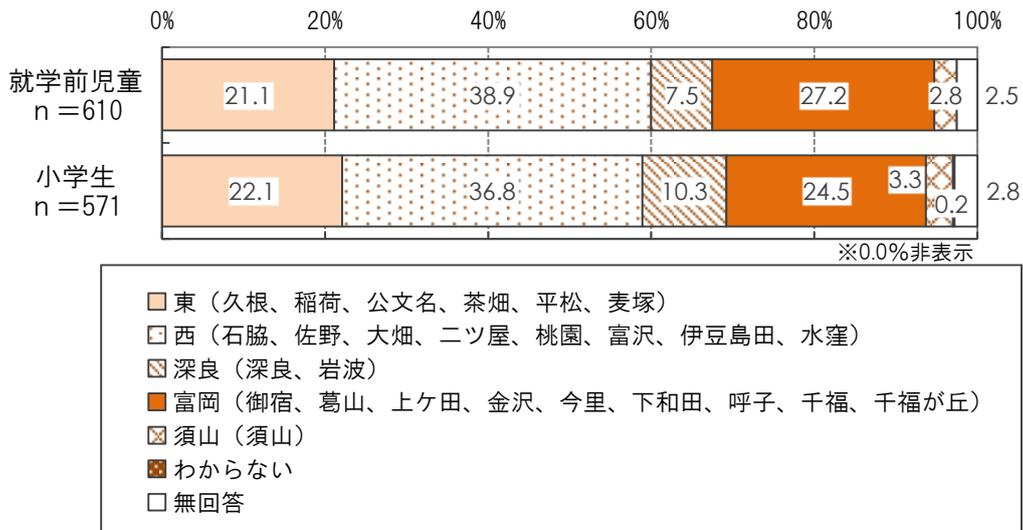
Ⅱ 調査結果

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

1-1 居住地区について（単数回答）

【就学前：問1、小学生：問1】

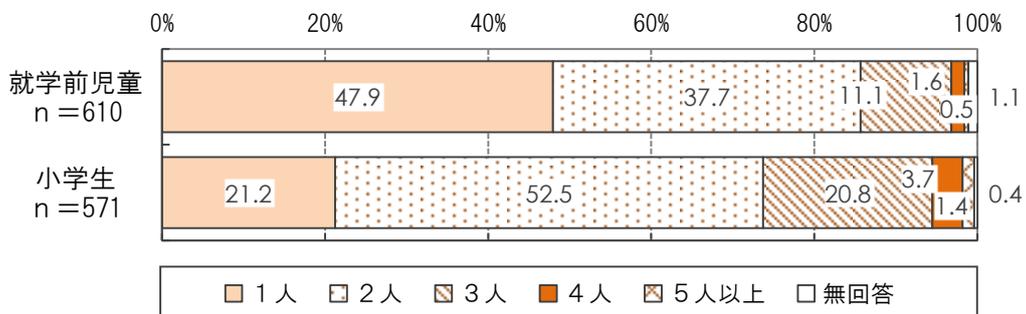
居住地区については、以下のグラフの通りとなっています。



1-2 子どもの人数について

【就学前：問3、小学生：問3】

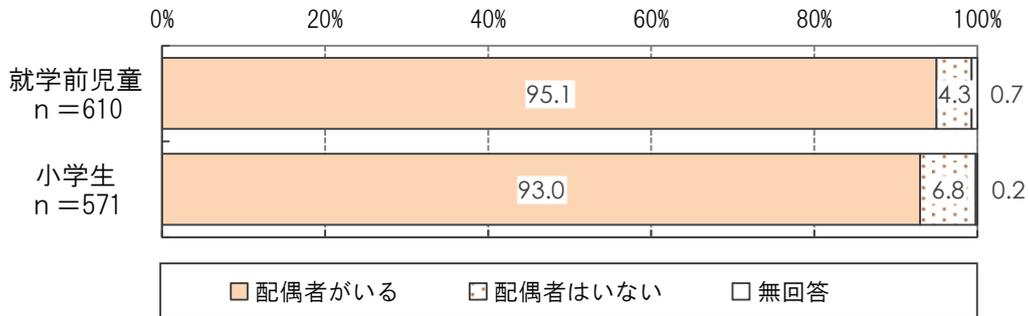
子どもの人数については、就学前児童において「1人」が47.9%と最も多く、次いで「2人」が37.7%、「3人」が11.1%などとなっています。小学生においては「2人」が52.5%と最も多く、次いで「1人」が21.2%、「3人」が20.8%などとなっています。



1-3 回答者の配偶者の有無について（単数回答）

【就学前：問5、小学生：問5】

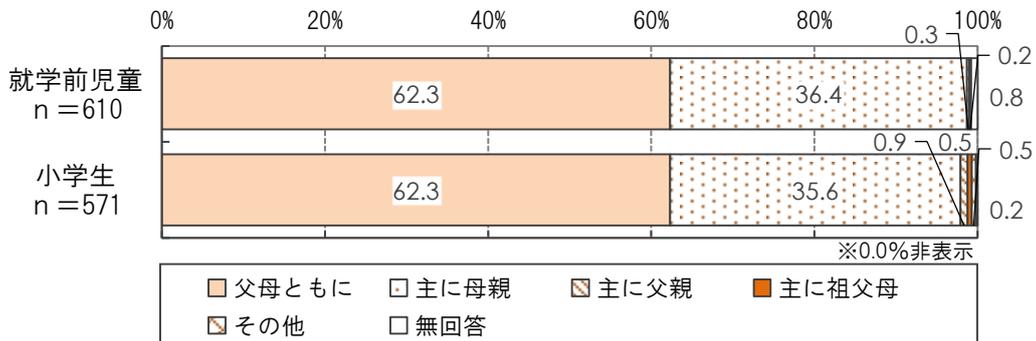
回答者の配偶者の有無については、就学前児童において「配偶者がいる」が95.1%を占めています。小学生においても「配偶者がいる」が93.0%を占めています。



1-4 子どもの子育て（教育を含む）を主にしている方について（単数回答）

【就学前：問6、小学生：問6】

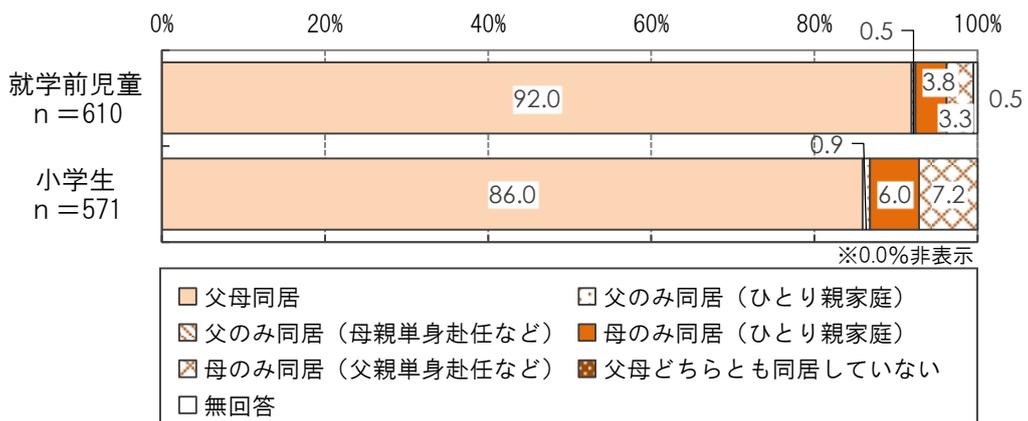
子どもの子育て（教育を含む）を主にしている方については、就学前児童において「父母ともに」が62.3%と最も多く、次いで「主に母親」が36.4%、「主に父親」が0.3%などとなっています。小学生においても「父母ともに」が62.3%と最も多く、次いで「主に母親」が35.6%、「主に父親」が0.9%などとなっています。



1-5 父母との同居状況について（単数回答）

【就学前：問7、小学生：問7】

父母との同居状況については、就学前児童において「父母同居」が92.0%を占めています。小学生においても「父母同居」が86.0%を占めています。

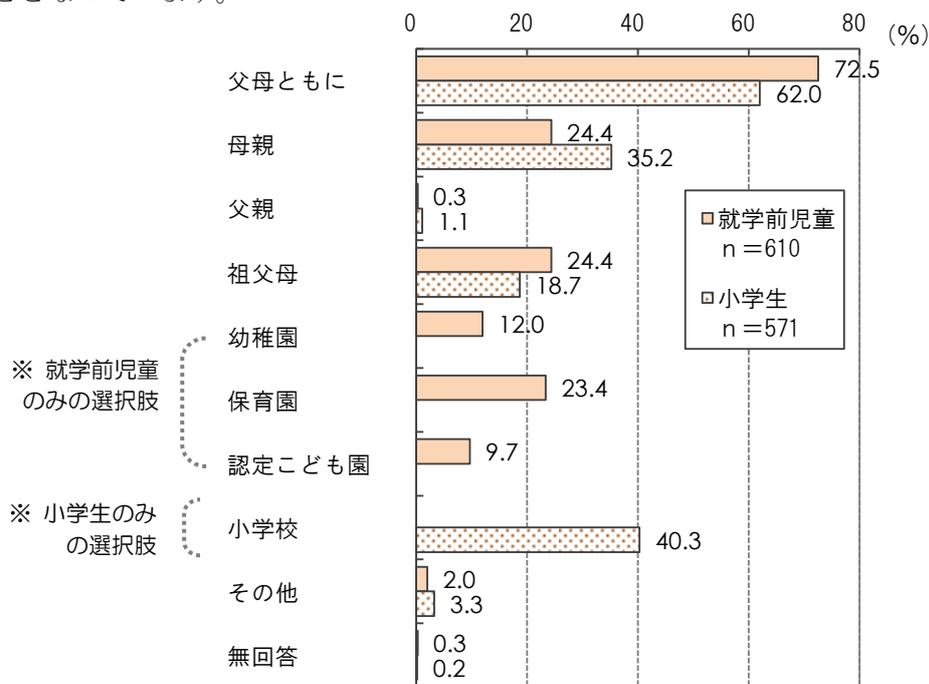


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

2-1 子育て（教育・保育などを含む）に日常的に関わっている方について（複数回答可）

【就学前：問8、小学生：問8】

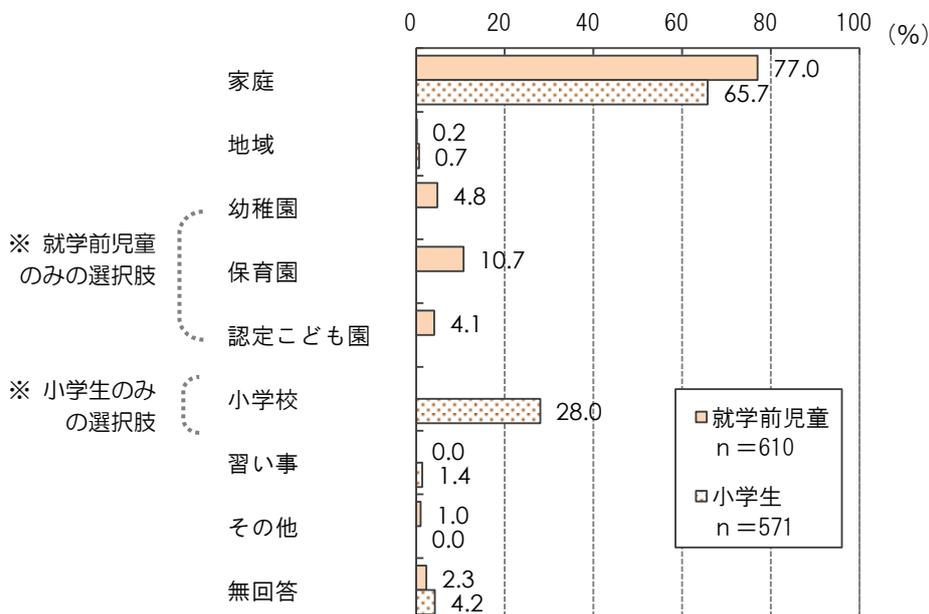
子育てに日常的に関わっている方については、就学前児童において「父母ともに」が72.5%と最も多く、次いで「母親」「祖父母」がともに24.4%、「保育園」が23.4%などとなっています。小学生においては「父母ともに」が62.0%と最も多く、次いで「小学校」が40.3%、「母親」が35.2%などとなっています。



2-2 子育て（教育・保育などを含む）に最も影響すると思われる環境について（単数回答）

【就学前：問9、小学生：問9】

子育てに最も影響すると思われる環境は、就学前児童において「家庭」が77.0%と最も多く、次いで「保育園」が10.7%、「幼稚園」が4.8%などとなっています。小学生においては「家庭」が65.7%と最も多く、次いで「小学校」が28.0%、「習い事」が1.4%などとなっています。

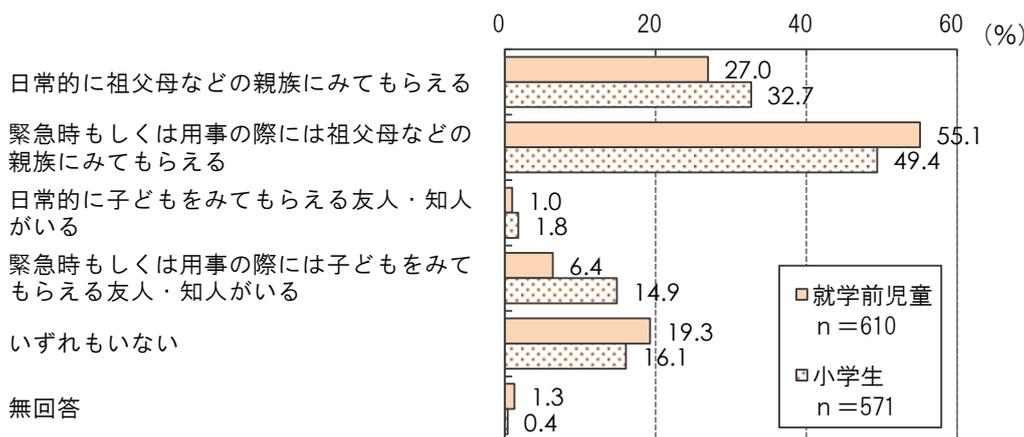


2-3 日頃、子どもをみてもらえる人について（複数回答可）

【就学前：問10、小学生：問10】

日頃、子どもをみてもらえる人については、就学前児童において「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が55.1%と最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が27.0%、「いずれもない」が19.3%などとなっています。

小学生においても「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が49.4%と最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が32.7%、「いずれもない」が16.1%などとなっています。



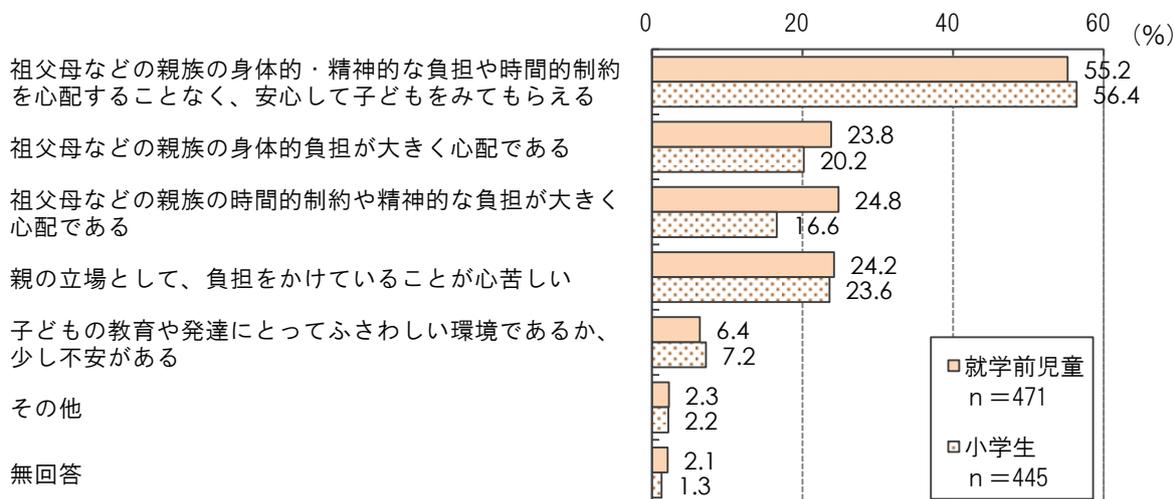
2-4 2-3で『祖父母などの親族にみてもらえる』と回答した方のみ

祖父母などの親族に子どもをみてもらっている状況について（複数回答可）

【就学前：問10-1、小学生：問10-1】

祖父母などの親族に子どもをみてもらっている状況については、就学前児童において「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.2%と最も多く、次いで「祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が24.8%、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が24.2%などとなっています。

小学生においては「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.4%と最も多く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が23.6%、「祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である」が20.2%などとなっています。



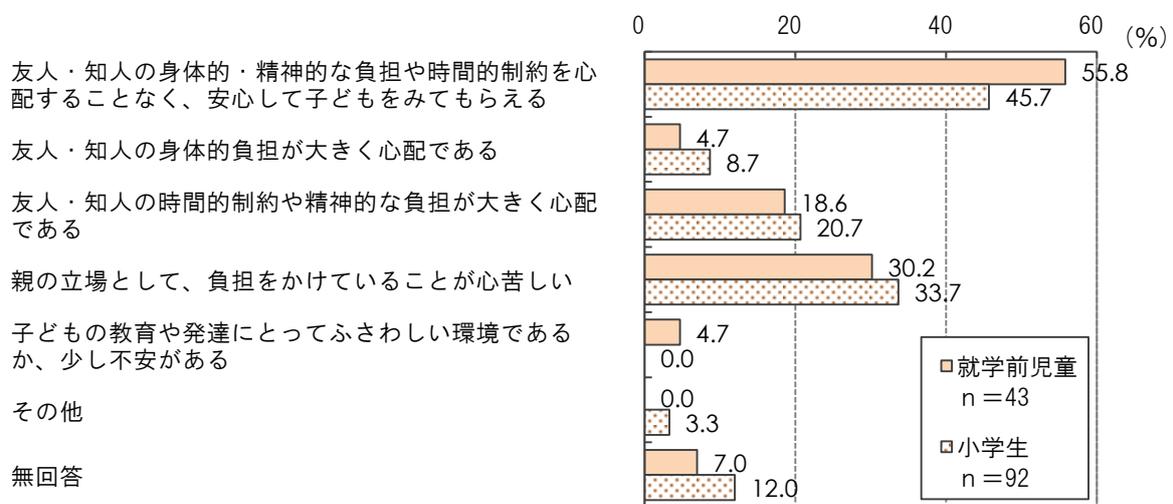
2-5 2-3で『子どもをみてもらえる友人・知人がいる』と回答した方のみ

友人・知人に子どもをみてもらっている状況について（複数回答可）

【就学前：問10-2、小学生：問10-2】

友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、就学前児童において「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.8%と最も多く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が30.2%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が18.6%などとなっています。

小学生においても「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が45.7%と最も多く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が33.7%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が20.7%などとなっています。



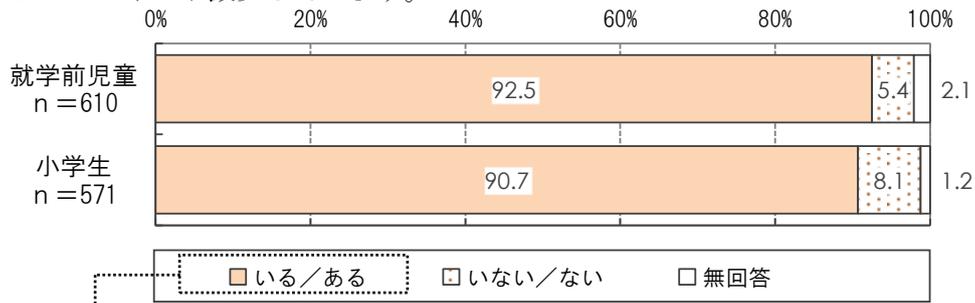
2-6 子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無（単数回答）
及びその相談先（複数回答可）

【就学前：問11・問11-1、小学生：問11・問11-1】

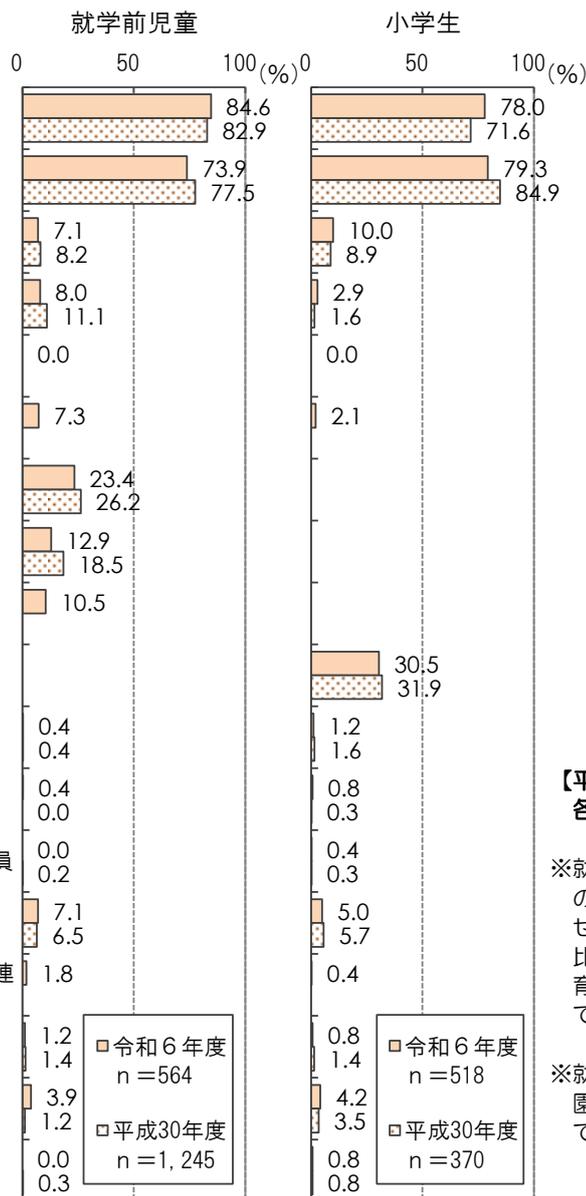
子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無については、就学前児童において「いる／ある」が92.5%を占めています。小学生においても「いる／ある」が90.7%を占めています。

相談先については、就学前児童において「祖父母などの親族」が84.6%と最も多く、次いで「友人や知人」が73.9%、「保育士」が23.4%などとなっています。小学生においては「友人や知人」が79.3%と最も多く、次いで「祖父母などの親族」が78.0%、「小学校の先生」が30.5%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、小学生において「祖父母などの親族」が6.4ポイント増加し、「友人や知人」が5.6ポイント減少しています。



<相談先>



※ 就学前児童のみの選択肢

※ 小学生のみの選択肢

【平成30年度調査における各選択肢について】

※就学前児童・小学生について、「県の保健師」「市の保健師」はあわせて1つの選択肢であったため、比較はしない。また「自治体の子育て関連担当窓口」は選択肢として設けられていなかった。

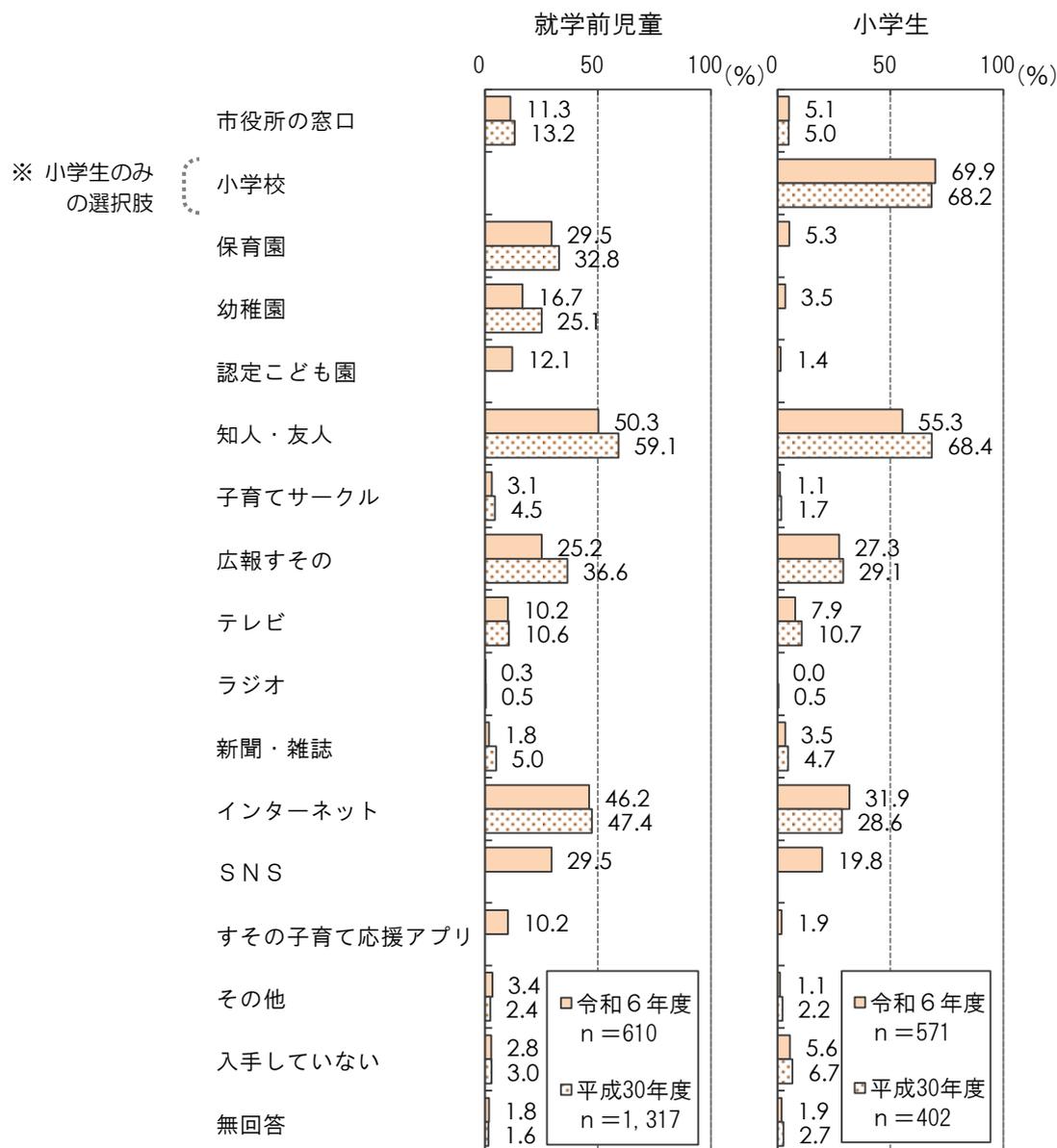
※就学前児童について「認定こども園教諭」は選択肢として設けられていなかった。

2-7 子育てに関する支援情報の入手先（複数回答可）

【就学前：問 12、小学生：問 12】

子育てに関する支援情報の入手先については、就学前児童において「知人・友人」が 50.3%と最も多く、次いで「インターネット」が 46.2%、「保育園」「SNS」がともに 29.5%などとなっています。小学生においては「小学校」が 69.9%と最も多く、次いで「知人・友人」が 55.3%、「インターネット」が 31.9%などとなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、就学前児童において「幼稚園」「知人・友人」「広報すその」が 5.0ポイント以上減少しています。小学生においては「知人・友人」が 13.1ポイント減少しています。



【平成 30 年度調査における各選択肢について】

※就学前児童・小学生について、ともに「SNS」「すその子育て応援アプリ」は選択肢として設けられていなかった。

※就学前児童について、「認定こども園」は選択肢として設けられていなかった。

※小学生について、「保育園」「幼稚園」「認定こども園」は選択肢として設けられていなかった。

3. 保護者の就労状況について

3-1 母親の就労状況（単数回答）及び、就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻

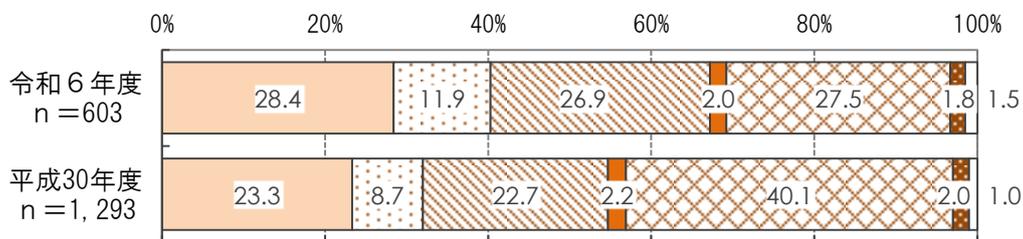
【就学前：問 13（1）・問 13（1）-1、小学生：問 13（1）・問 13（1）-1】

母親の就労状況については、就学前児童において「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が 28.4%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 27.5%、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が 26.9%などとなっています。小学生においては「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が 44.6%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中でない」が 34.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 16.8%などとなっています。

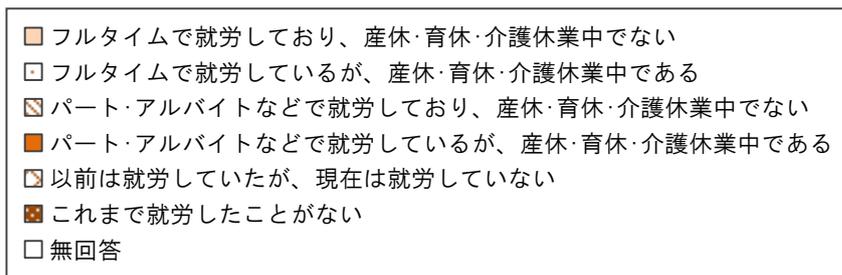
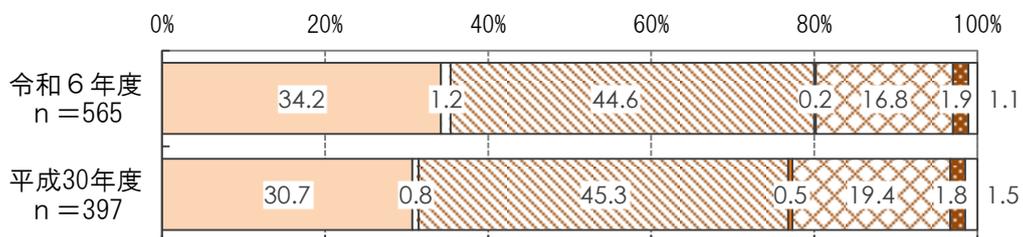
産休・育休・介護休業中を含んだ『就労している人』の割合をみると、就学前児童において 69.2%、小学生においては 80.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、就学前児童において「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 12.6 ポイント減少しています。

<就学前児童>



<小学生>



※「問 13 保護者の就労状況」の回答対象者は下記設問の回答をもとに分類しているため、「問7 父母との同居状況」の回答数とは一致しない。

家族類型	問 4 調査の回答者	問 5 回答者の配偶関係
両親のいる世帯 ⇒	母親および父親	配偶者がいる
母親のみひとり親世帯 ⇒	母親	配偶者がいない
父親のみひとり親世帯 ⇒	父親	配偶者がいない
回答者その他のため不明 ⇒	その他	-

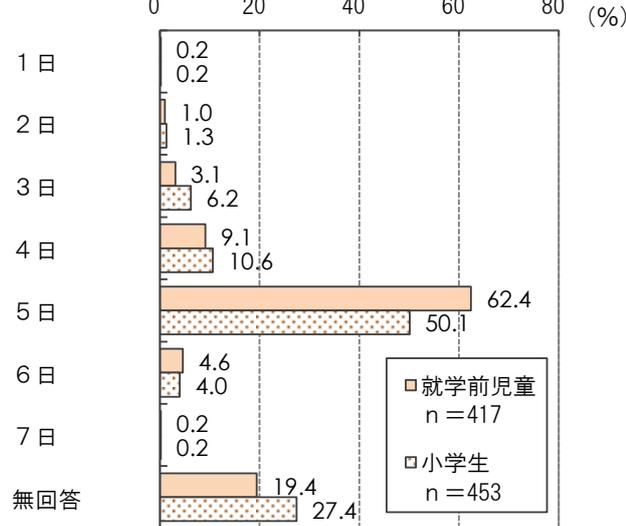
就労している人の1週あたりの就労日数については、就学前児童において「5日」が62.4%と最も多く、次いで「4日」が9.1%、「6日」が4.6%などとなっています。小学生においては「5日」が50.1%と最も多く、次いで「4日」が10.6%、「3日」が6.2%などとなっています。

1日あたりの就労時間は、就学前児童において「8時間」が30.5%と最も多く、次いで「7時間」が15.6%、「6時間」が14.4%などとなっています。小学生においては「8時間」が25.6%と最も多く、次いで「6時間」が10.6%、「7時間」が9.9%などとなっています。

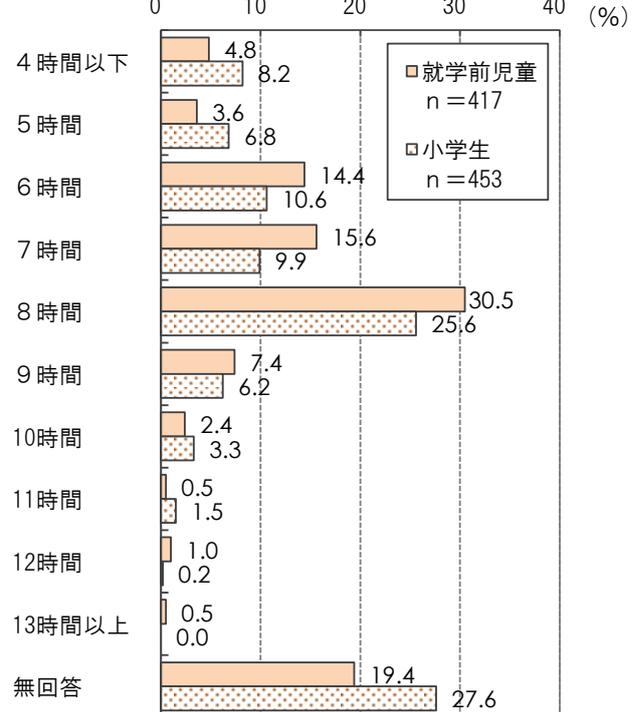
家を出る時刻については、就学前児童において「8時台」が42.2%と最も多く、次いで「7時台」が27.6%、「9時台」が7.0%などとなっています。小学生においても「8時台」が36.9%と最も多く、次いで「7時台」が20.8%、「9時台」が10.4%などとなっています。

帰宅時刻は、就学前児童において「18時台」が30.5%と最も多く、次いで「17時台」が22.5%、「19時台」が9.8%などとなっています。小学生においても「18時台」が27.2%と最も多く、次いで「15時台以前」が13.9%、「17時台」が13.7%などとなっています。

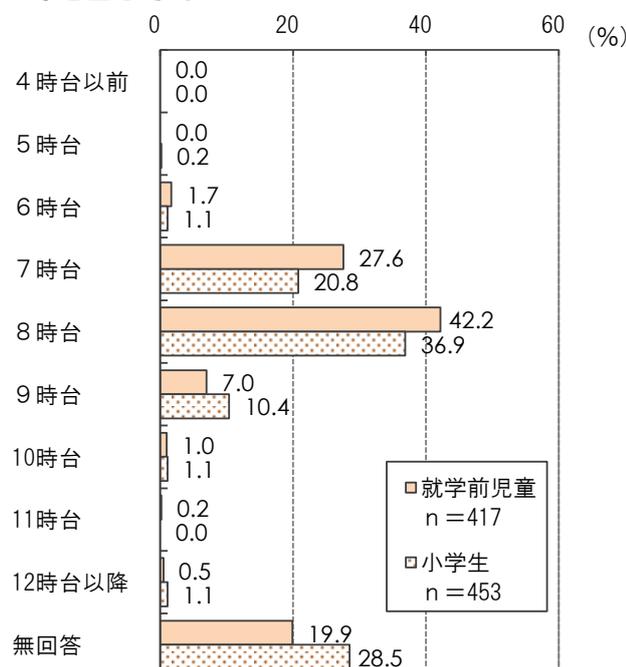
<1週あたりの就労日数>



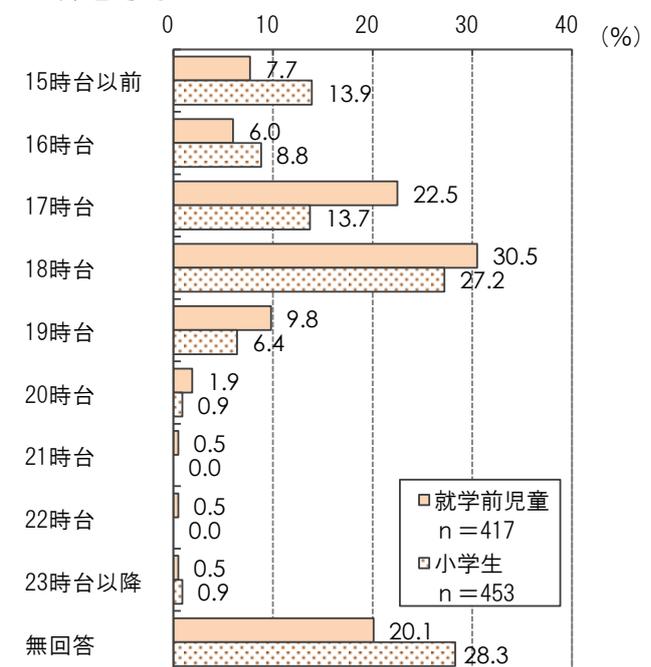
<1日あたりの就労時間>



<家を出る時刻>



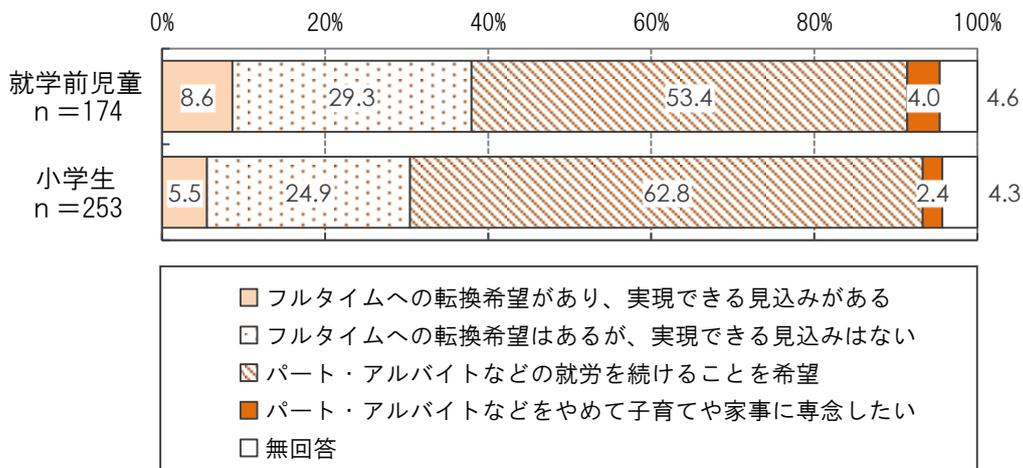
<帰宅時刻>



3-2 3-1で『パート・アルバイトなどで就労している』と回答した方のみ
フルタイムへの転換希望（単数回答）

【就学前：問13（1）-2、小学生：問13（1）-2】

『パート・アルバイトなどで就労している』と回答した方のフルタイムへの転換希望については、就学前児童において「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が53.4%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.6%などとなっています。小学生においても「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が62.8%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.5%などとなっています。



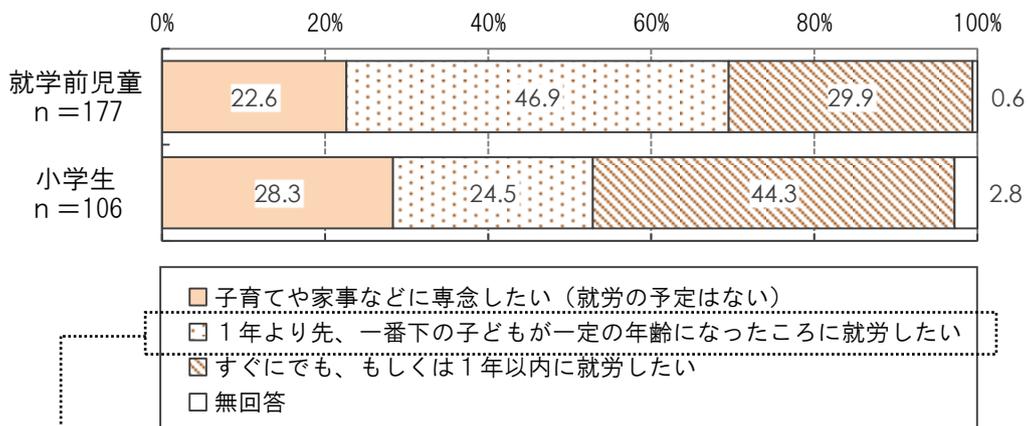
3-3 3-1で『就労していない』と回答した方のみ

今後の就労意向（単数回答）

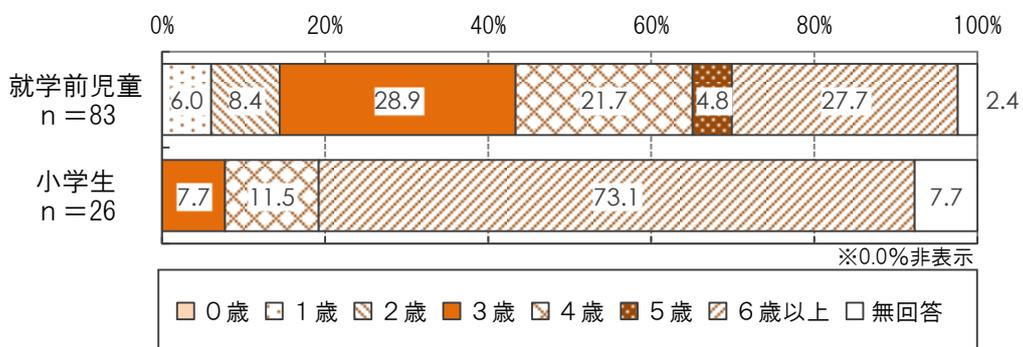
【就学前：問13(1)-3、小学生：問13(1)-3】

『就労していない』と回答した方今後の就労意向については、就学前児童において「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったところに就労したい」が46.9%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.9%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が22.6%となっています。小学生においては「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が44.3%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が28.3%、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったところに就労したい」が24.5%となっています。

「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったところに就労したい」と回答した方の就労したい時期については、就学前児童において「3歳」が28.9%と最も多く、次いで「6歳以上」が27.7%、「4歳」が21.7%などとなっています。小学生においては「6歳以上」が73.1%と最も多く、次いで「4歳」が11.5%、「3歳」が7.7%となっています。



<就労したい時期の末子の年齢>



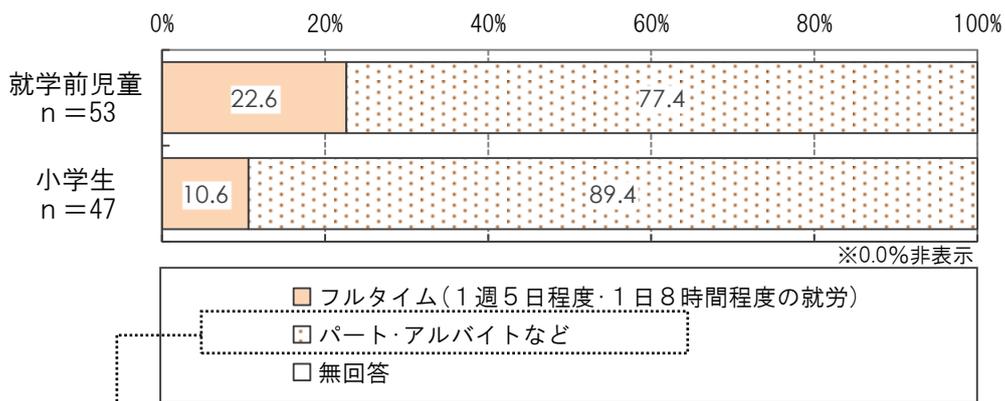
3-4 3-3で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ

希望する就労形態（単数回答）

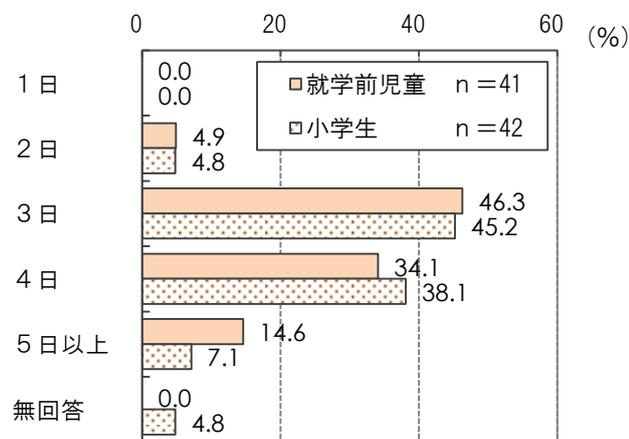
【就学前：問13(1)-4、小学生：問13(1)-4】

希望する就労形態については、就学前児童において「フルタイム」が22.6%、「パート・アルバイトなど」が77.4%となっています。小学生においては「パート・アルバイトなど」が89.4%を占めています。

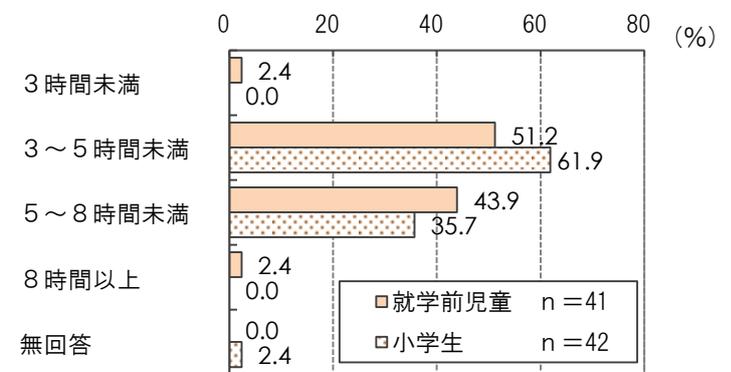
1週あたりの希望就労日数は、就学前児童において「3日」が46.3%と最も多く、次いで「4日」が34.1%、「5日以上」が14.6%などとなっています。小学生においては「3日」が45.2%と最も多く、次いで「4日」が38.1%、「5日以上」が7.1%などとなっています。



< 1週あたりの希望就労日数 >



< 1日あたりの希望就労時間 >

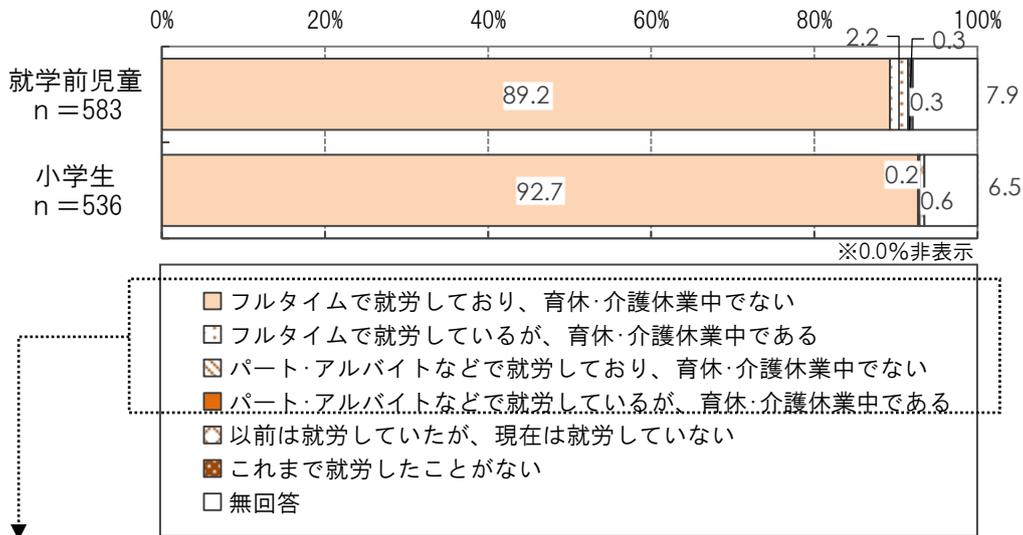


3-5 父親の就労状況（単数回答）及び、就労日数、就労時間、家を出る時刻、帰宅時刻

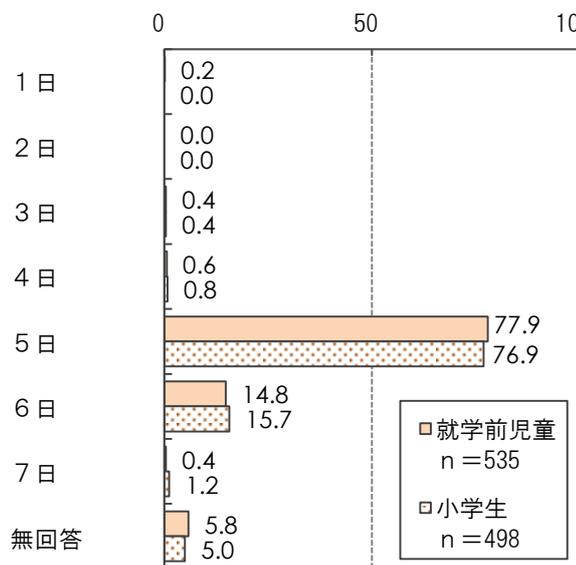
【就学前：問13(2)・問13(2)-1、小学生：問13(2)・問13(2)-1】

父親の就労状況については、就学前児童において「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中でない」が89.2%を占めています。小学生においても「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中でない」が92.7%を占めています。

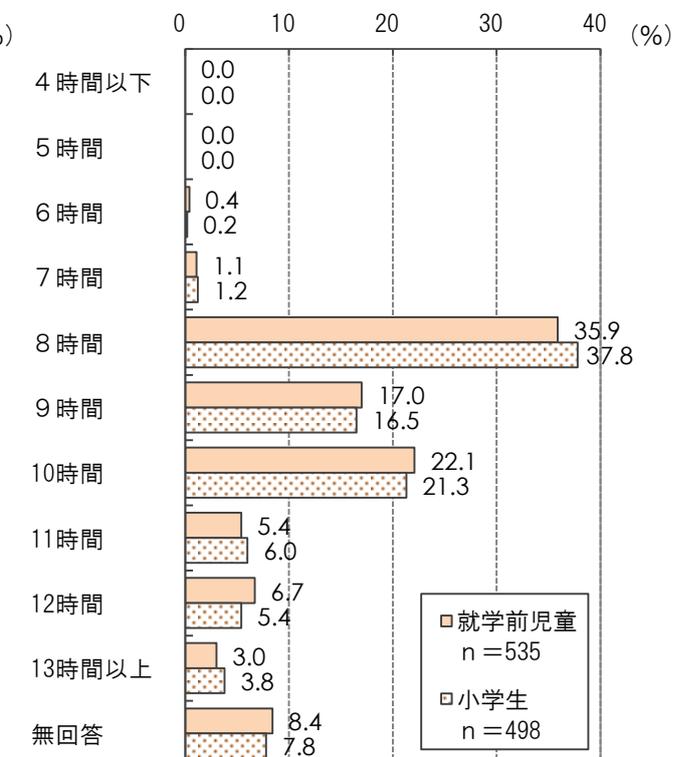
育休・介護休業中を含んだ『就労している人』の割合をみると、就学前児童において91.8%、小学生においては92.9%となっています。



<1週あたりの就労日数>



<1日あたりの就労時間>



※「問13 保護者の就労状況」の回答対象者は下記設問の回答をもとに分類しているため、「問7 父母との同居状況」の回答数とは一致しない。

家族類型	問4 調査の回答者	問5 回答者の配偶関係
両親のいる世帯 ⇒	母親および父親	配偶者がいる
母親のみひとり親世帯 ⇒	母親	配偶者がいない
父親のみひとり親世帯 ⇒	父親	配偶者がいない
回答者その他のため不明 ⇒	その他	-

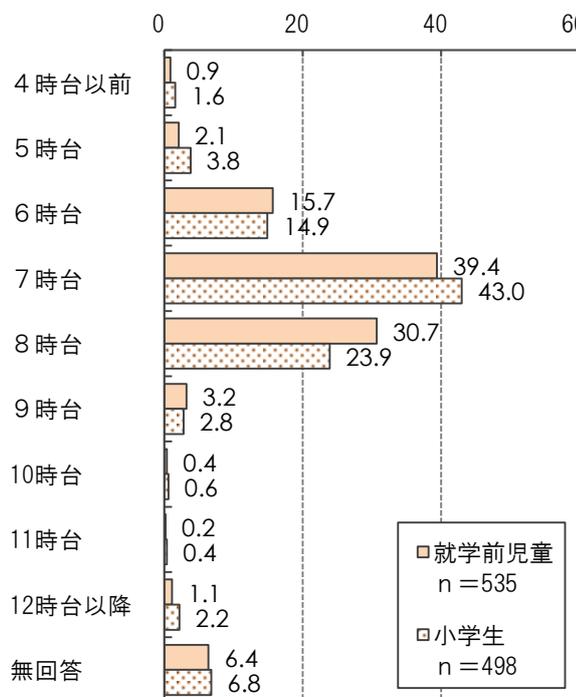
就労している人の1週あたりの就労日数については、就学前児童において「5日」が77.9%と最も多く、次いで「6日」が14.8%などとなっています。小学生においても「5日」が76.9%と最も多く、次いで「6日」が15.7%などとなっています。

1日あたりの就労時間は、就学前児童において「8時間」が35.9%と最も多く、次いで「10時間」が22.1%、「9時間」が17.0%などとなっています。小学生においても「8時間」が37.8%と最も多く、次いで「10時間」が21.3%、「9時間」が16.5%などとなっています。

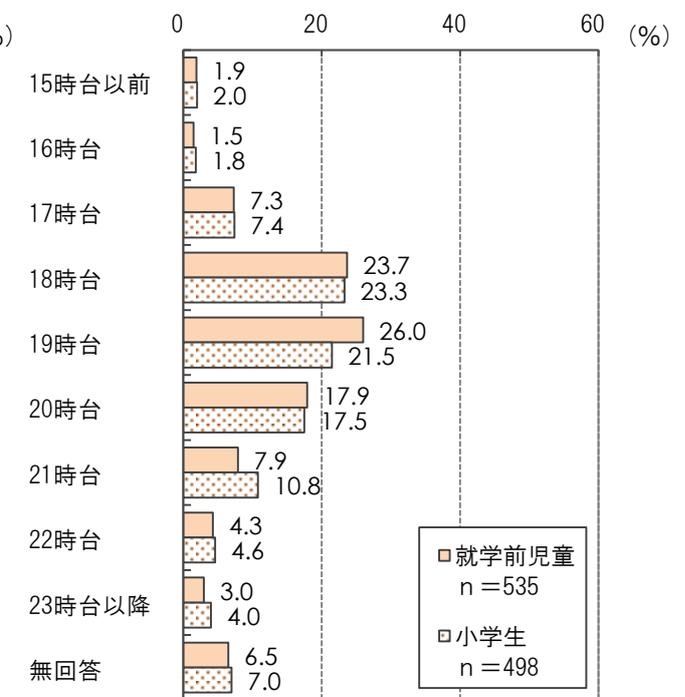
家を出る時刻については、就学前児童において「7時台」が39.4%と最も多く、次いで「8時台」が30.7%、「6時台」が15.7%などとなっています。小学生においても「7時台」が43.0%と最も多く、次いで「8時台」が23.9%、「6時台」が14.9%などとなっています。

帰宅時刻は、就学前児童において「19時台」が26.0%と最も多く、次いで「18時台」が23.7%、「20時台」が17.9%などとなっています。小学生においては「18時台」が23.3%と最も多く、次いで「19時台」が21.5%、「20時台」が17.5%などとなっています。

<家を出る時刻>



<帰宅時刻>



3-6 3-5で『パート・アルバイトなどで就労している』と回答した方のみ
フルタイムへの転換希望（単数回答）

【就学前：問13（2）-2、小学生：問13（2）-2】

3-7 3-5で『就労していない』と回答した方のみ
今後の就労意向（単数回答）

【就学前：問13（2）-3、小学生：問13（2）-3】

3-8 3-7で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ
希望する就労形態（単数回答）

【就学前：問13（2）-4、小学生：問13（2）-4】

※上記3項目は、回答者数が少数（3人以下）であるため、コメントは割愛します。

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

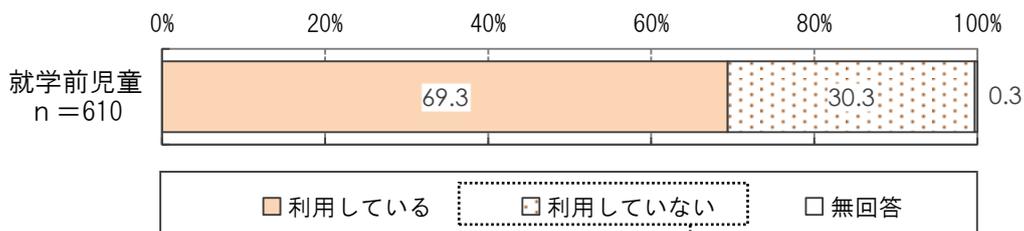
4-1 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（単数回答）・

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由（複数回答可）

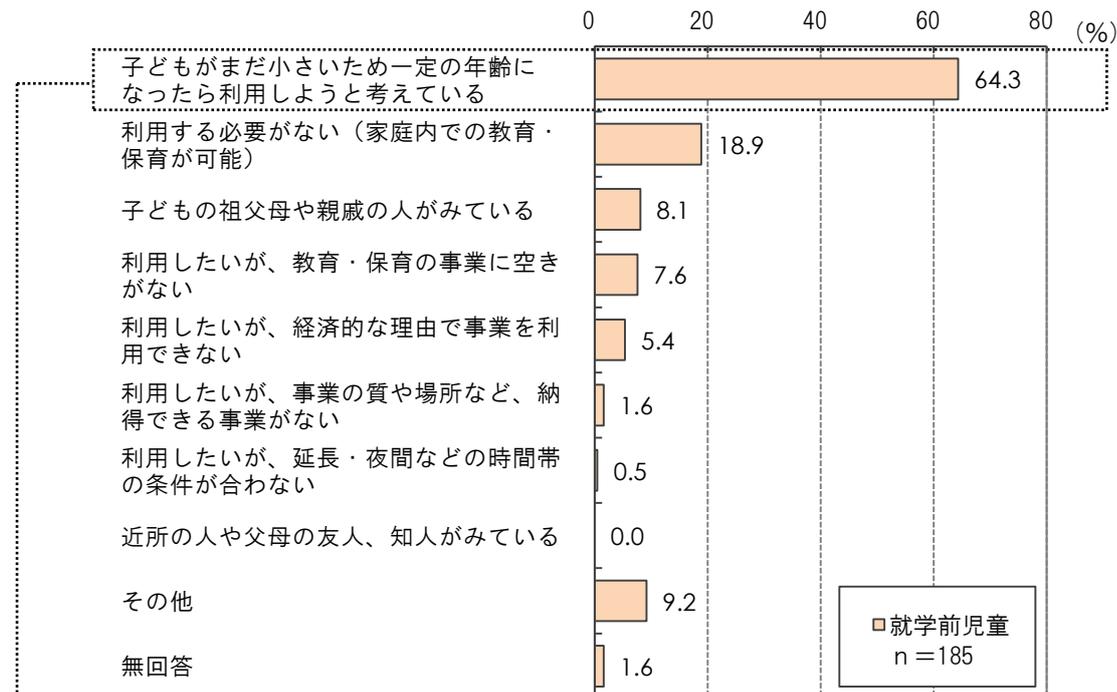
【就学前：問14・問14-5】

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が69.3%、「利用していない」が30.3%となっています。

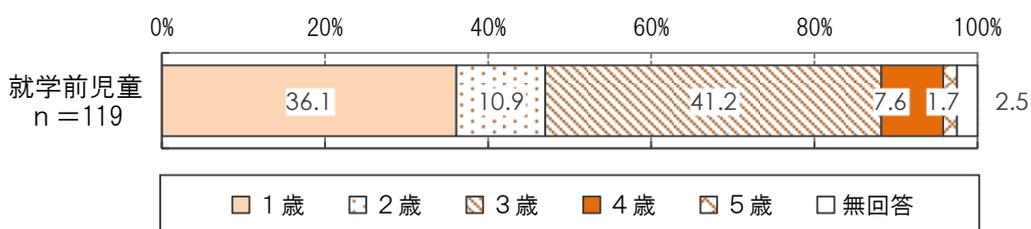
教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため一定の年齢になったら利用しようと考えている」が64.3%と最も多く、次いで「利用する必要がない（家庭内での教育・保育が可能）」が18.9%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が8.1%などとなっています。



<平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由>



<利用を開始したい時の子どもの年齢>

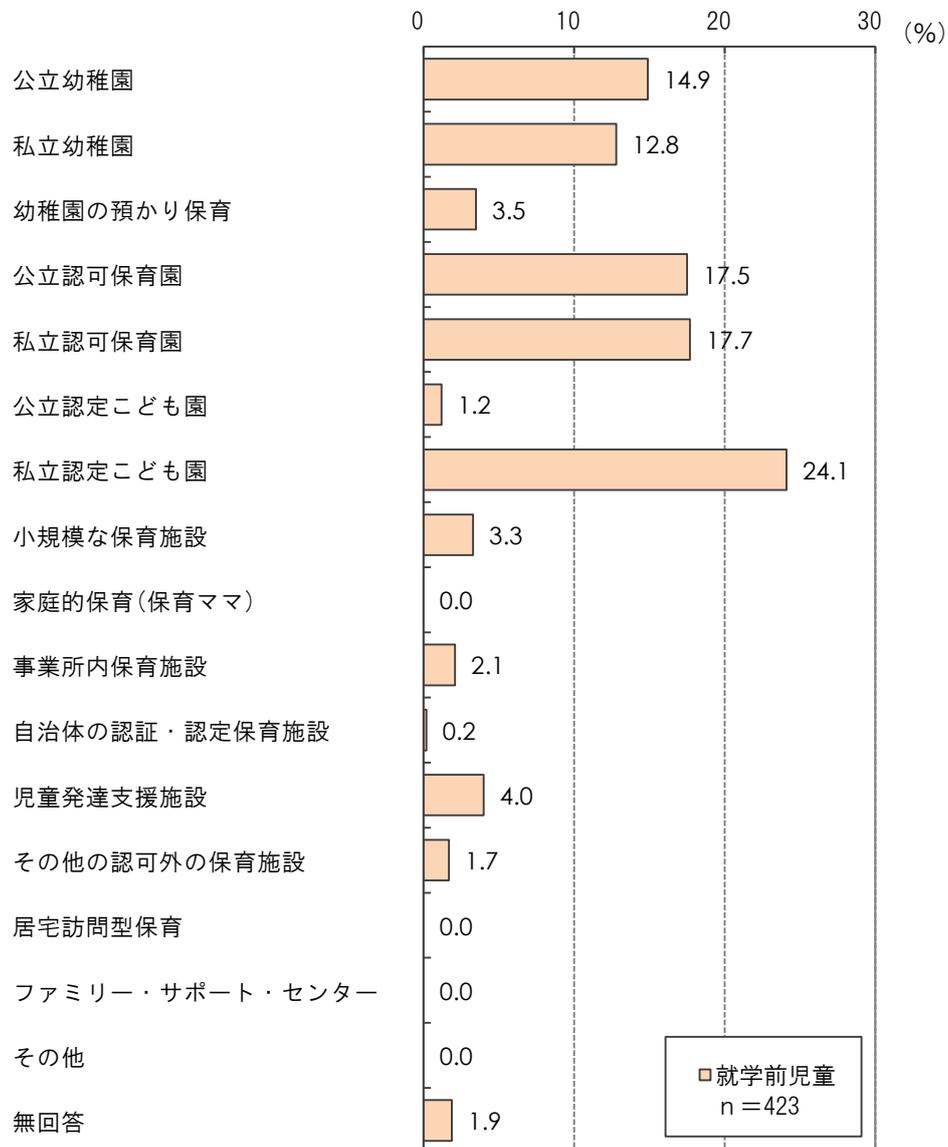


4-2 4-1で「利用している」と回答した方のみ

現在、利用している定期的な教育・保育事業（複数回答可）

【就学前：問14-1】

現在、利用している定期的な教育・保育事業については、「私立認定こども園」が24.1%と最も多く、次いで「私立認可保育園」が17.7%、「公立認可保育園」が17.5%などとなっています。



4-3 4-1で「利用している」と回答した方のみ

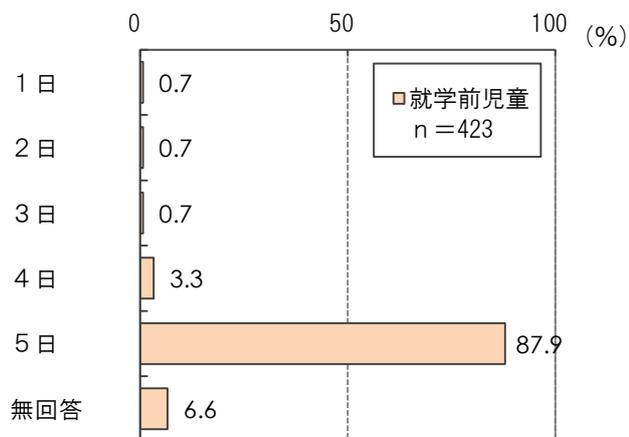
現在、利用している定期的な教育・保育事業の利用状況と希望（単数回答）

【就学前：問14-2（1）・（2）】

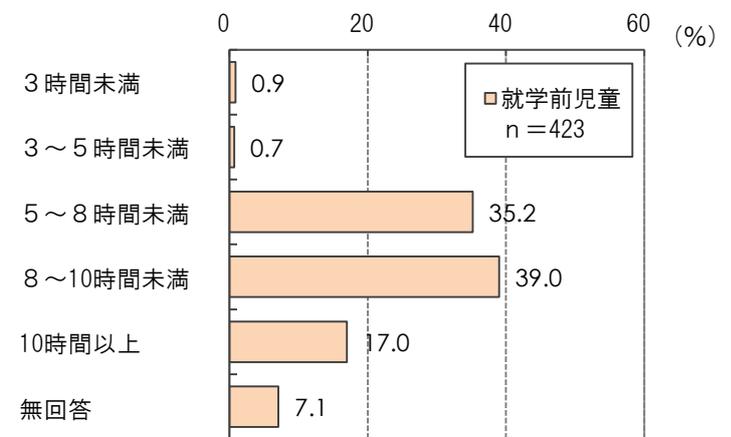
現在、利用している定期的な教育・保育事業の利用状況については、1週あたりの利用日数は「5日」が87.9%を占めています。1日あたりの利用時間は「8～10時間未満」が39.0%と最も多く、次いで「5～8時間未満」が35.2%、「10時間以上」が17.0%などとなっています。

教育・保育事業の1週あたりの希望利用日数は「5日」が71.4%と最も多く、次いで「4日」が2.1%などとなっています。1日あたりの希望利用時間は「8～10時間未満」が32.2%と最も多く、次いで「5～8時間未満」が24.3%、「10時間以上」が16.3%などとなっています。

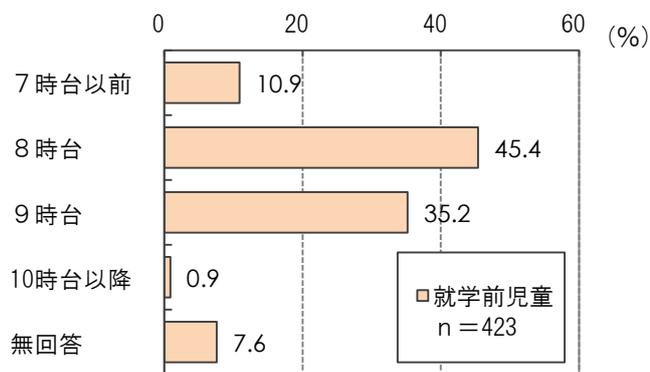
<現在の1週あたりの利用日数>



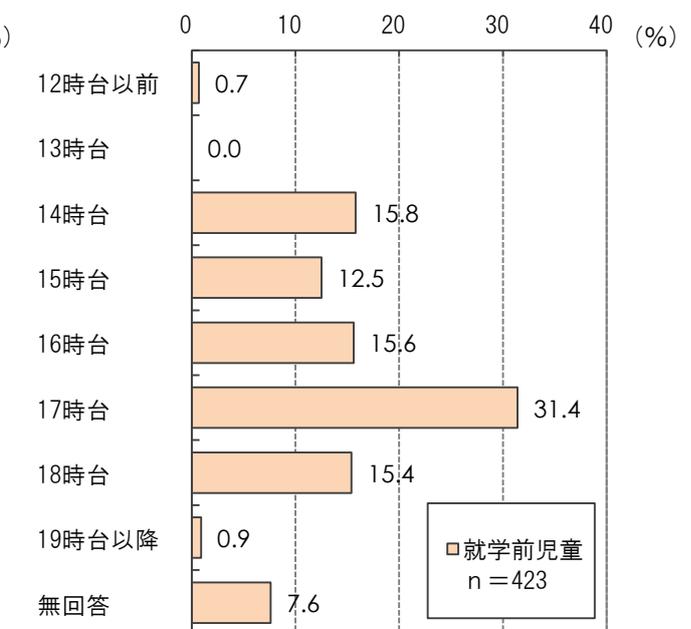
<現在の1日あたりの利用時間>



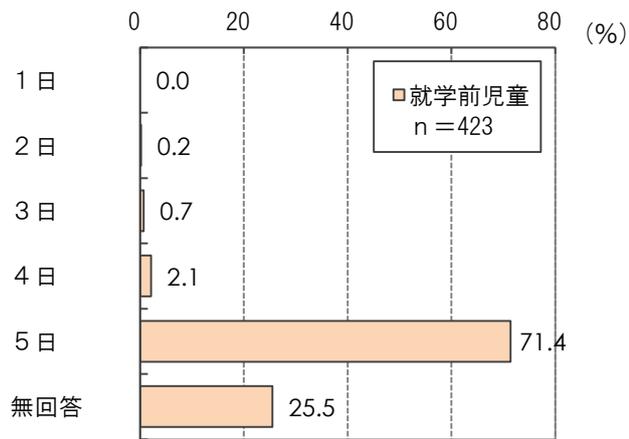
<現在の利用開始時刻>



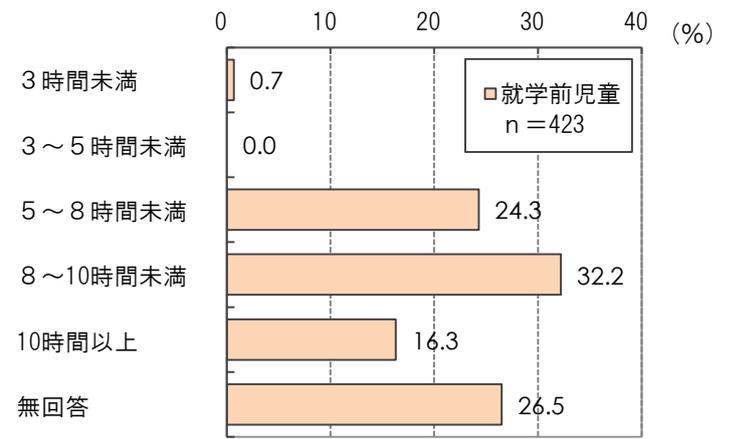
<現在の利用終了時刻>



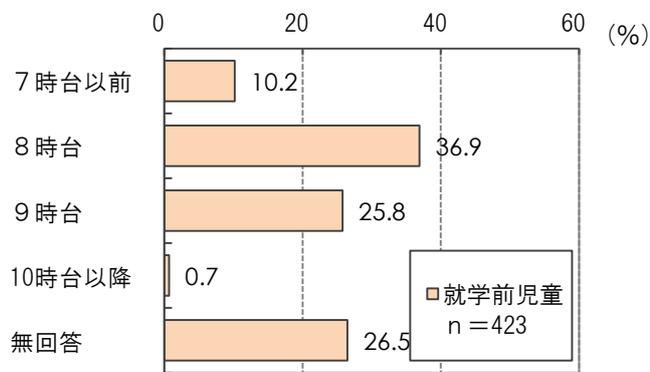
< 1週あたりの希望利用日数 >



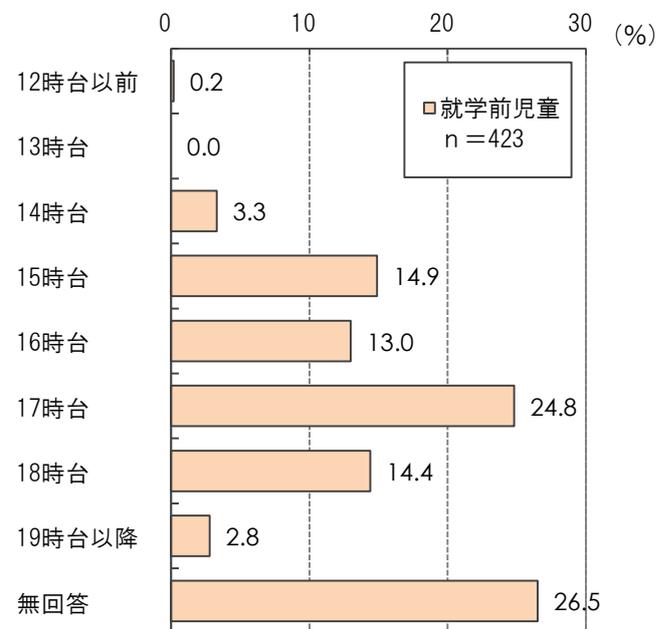
< 1日あたりの希望利用時間 >



< 希望利用開始時刻 >



< 希望利用終了時刻 >

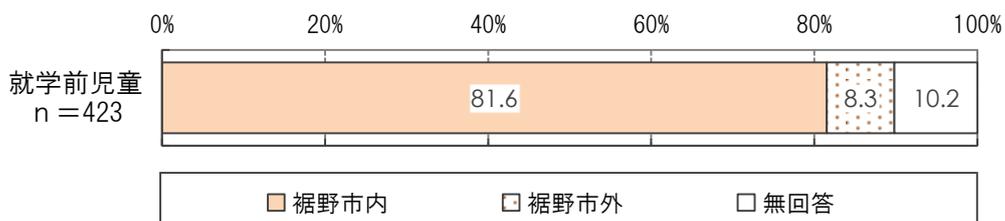


4-4 4-1で「利用している」と回答した方のみ

現在、利用している定期的な教育・保育事業の実施場所（単数回答）

【就学前：問14-3】

現在、利用している定期的な教育・保育事業の実施場所については、「裾野市内」が81.6%と最も多く、次いで「裾野市外」が8.3%となっています。

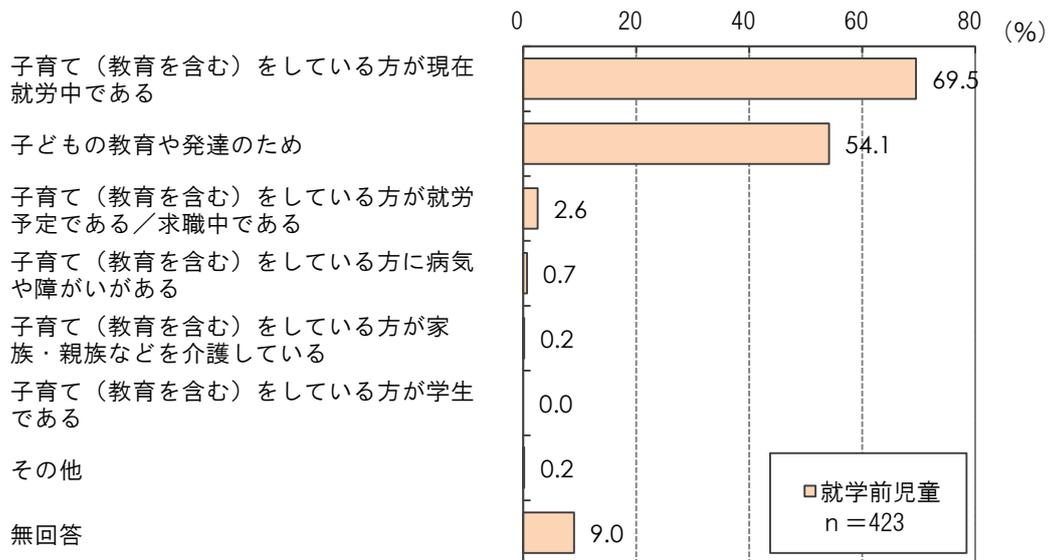


4-5 4-1で「利用している」と回答した方のみ

平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由（複数回答可）

【就学前：問14-4】

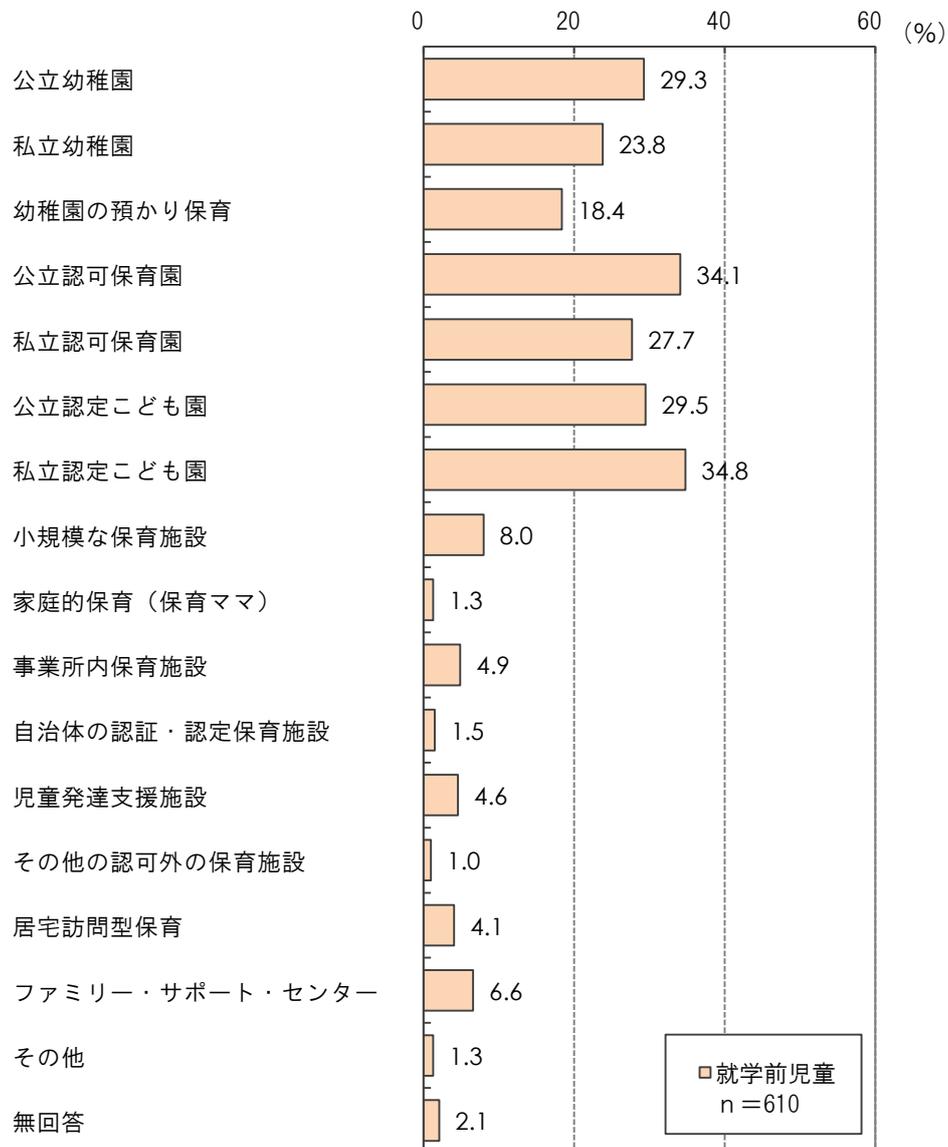
平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由については、就学前児童において「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労中である」が69.5%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が54.1%、「子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である／求職中である」が2.6%などとなっています。



4-6 定期的に利用したいと考える平日の教育・保育事業（複数回答可）

【就学前：問15】

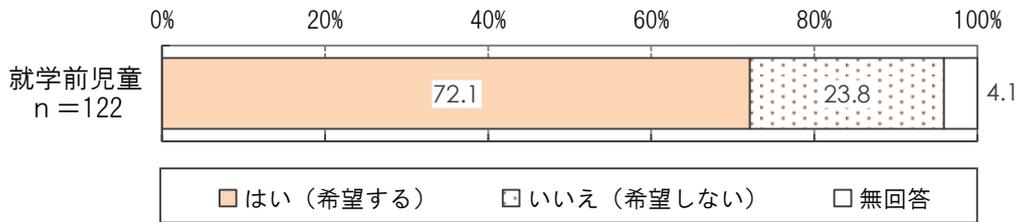
定期的にご利用したいと考える平日の教育・保育事業については、「私立認定こども園」が34.8%と最も多く、次いで「公立認可保育園」が34.1%、「公立認定こども園」が29.5%などとなっています。



4-7 4-6で「幼稚園・幼稚園の預かり教育」を選び、かつその他の事業も希望した方のみ
特に幼稚園の利用を希望するか（単数回答）

【就学前：問 15-1】

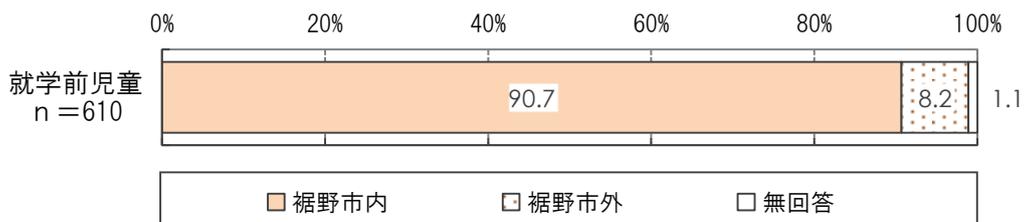
特に幼稚園の利用を希望するかについては、「はい（希望する）」が 72.1%、「いいえ（希望しない）」が 23.8%となっています。



4-8 教育・保育事業を利用したい場所（単数回答）

【就学前：問 16】

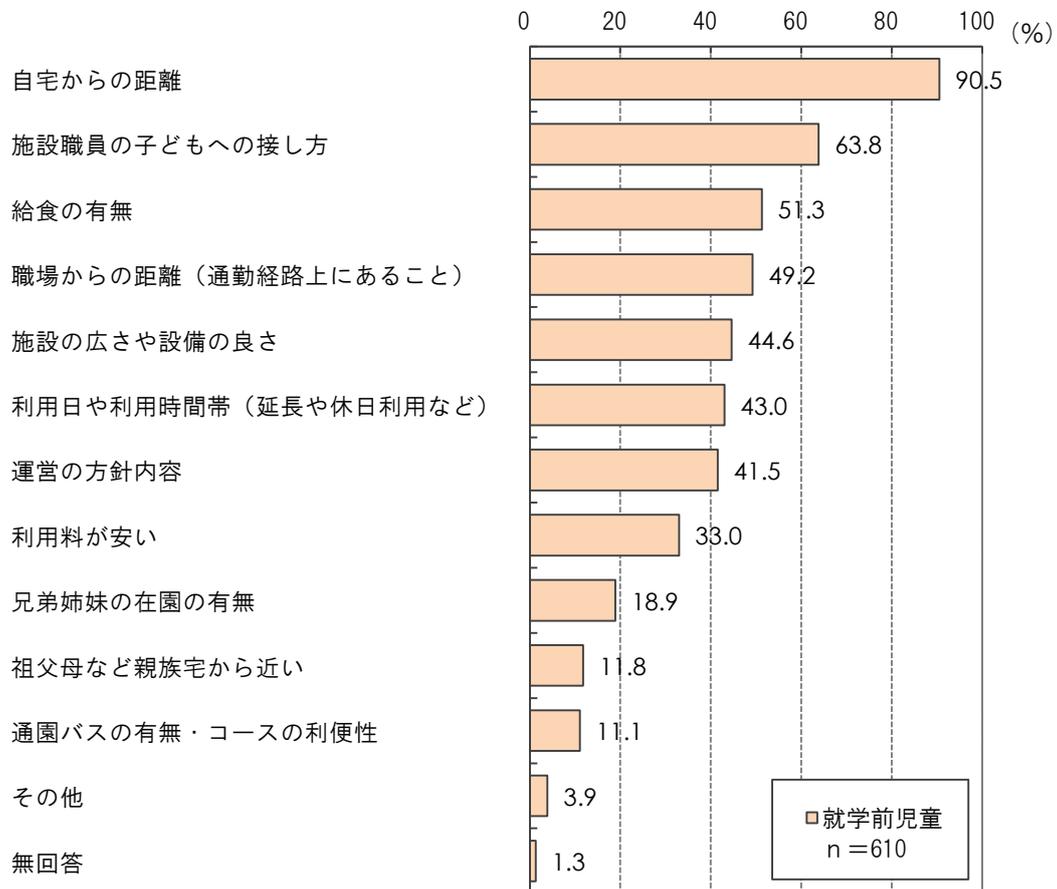
教育・保育事業を利用したい場所については、「裾野市内」が 90.7%を占めています。



4-9 教育・保育事業の施設を選ぶ際のポイント（複数回答可）

【就学前：問17】

教育・保育事業の施設を選ぶ際のポイントについては、「自宅からの距離」が90.5%と最も多く、次いで「施設職員の子どもへの接し方」が63.8%、「給食の有無」が51.3%などとなっています。



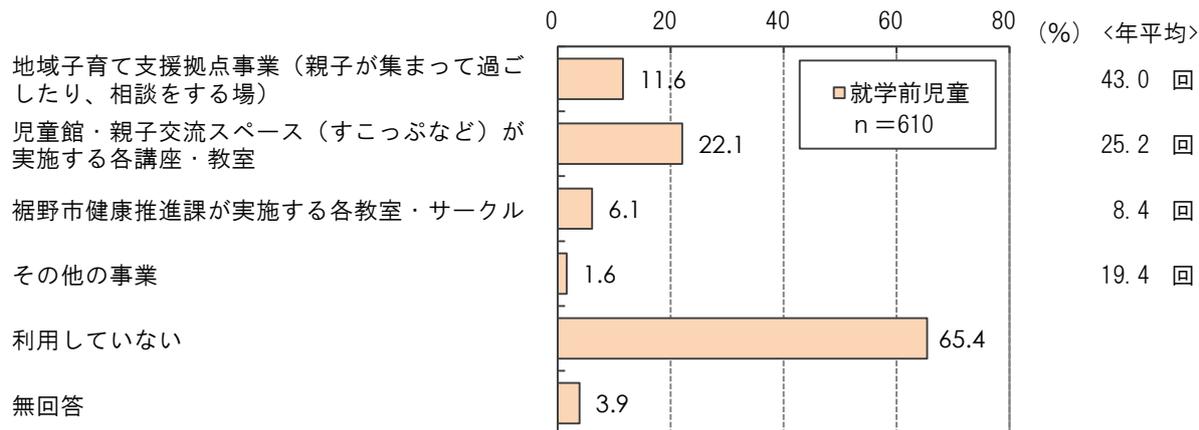
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

5-1 地域子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答可）及び、その利用頻度（利用回数）

【就学前：問 18】

地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「利用していない」が 65.4%と最も多く、利用率は 30.7%となっています。

利用されている地域子育て支援拠点事業は、「児童館・親子交流スペース（すこっぷなど）が実施する各講座・教室」が 22.1%と最も多く、1年あたりの利用頻度は平均 25.2 回となっています。次いで「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が 11.6%で、1年あたりの利用頻度は平均 43.0 回となっています。

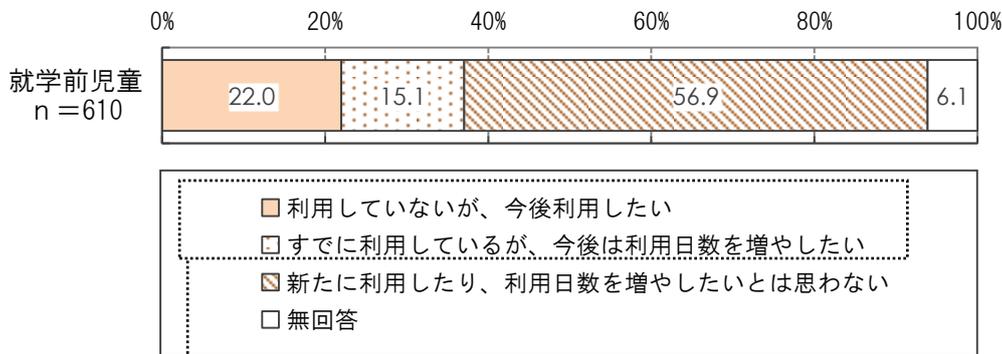


5-2 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向（単数回答）及び、その利用頻度（利用回数）

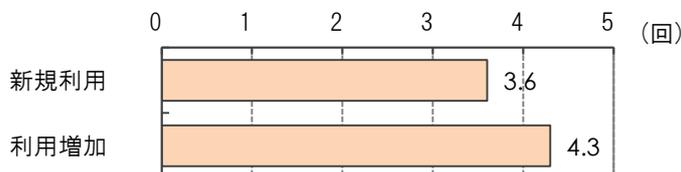
【就学前：問 19】

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 56.9%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 22.0%、「すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい」が 15.1%となっています。

利用意向のある人の 1 か月あたりの利用頻度については、「利用していないが、今後利用したい」において平均 3.6 回、「すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい」において平均 4.3 回となっています。



< 1 か月あたりの平均希望利用回数 >



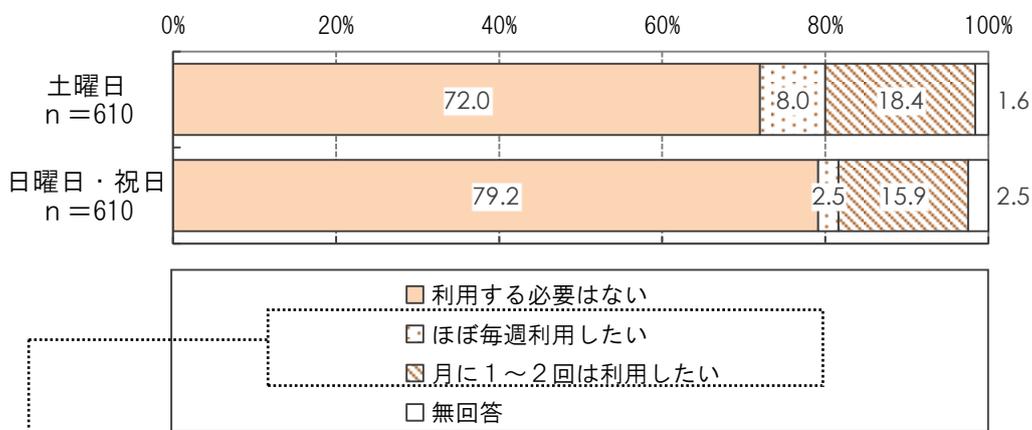
6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

6-1 土曜日や日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向（単数回答） 及び、利用を希望する時間帯

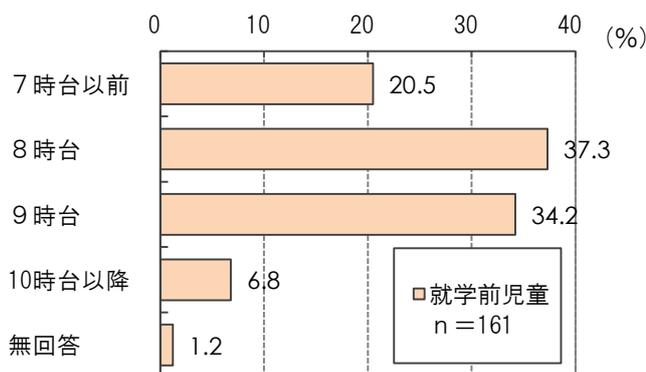
【就学前：問 20（1）・（2）】

土曜日や日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向については、土曜日は「利用する必要はない」が72.0%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が18.4%、「ほぼ毎週利用したい」が8.0%となっています。

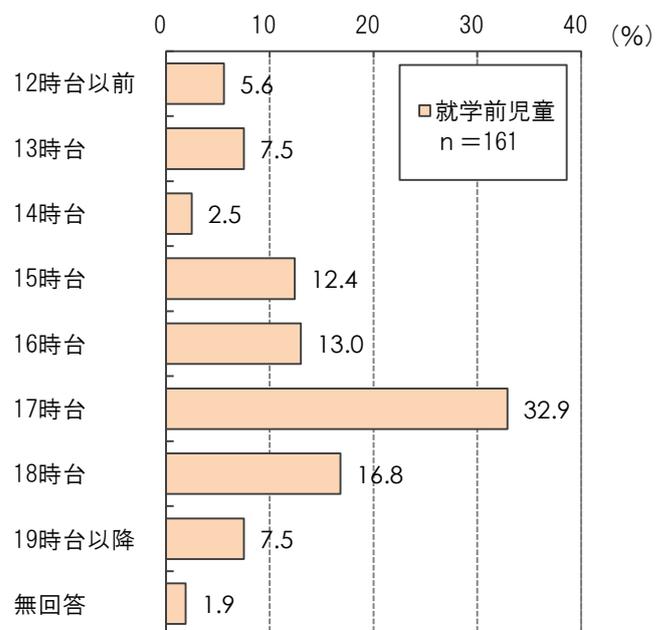
また、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合計した『利用意向のある人』は、土曜日において26.4%、日曜日・祝日において18.4%となっています。



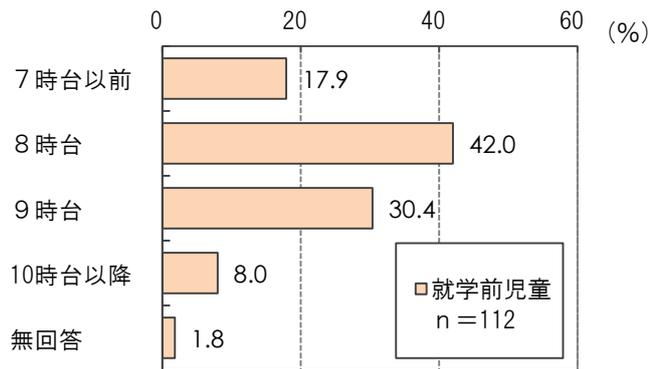
＜土曜日の希望利用開始時刻＞



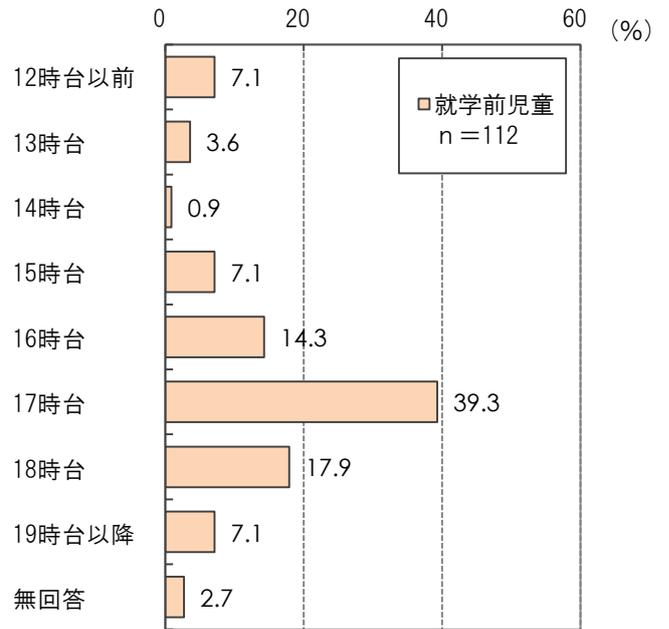
＜土曜日の希望利用終了時刻＞



<日曜日・祝日の希望利用開始時刻>



<日曜日・祝日の希望利用終了時刻>



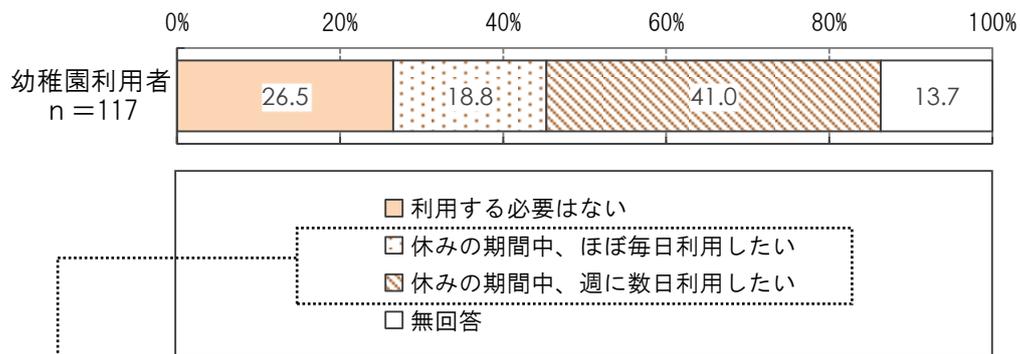
6-2 「幼稚園」を利用している方のみ

長期休暇の期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向（単数回答）
及び、利用を希望する時間帯

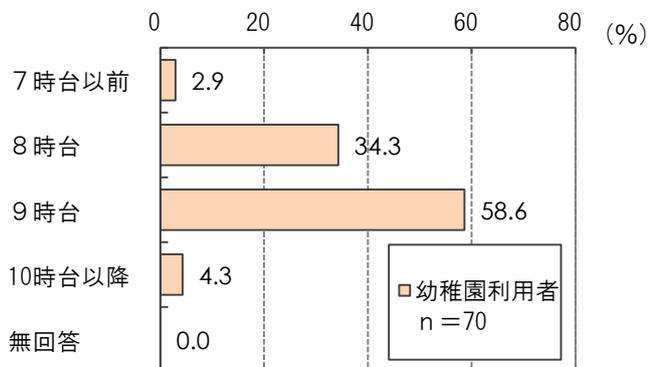
【就学前：問 21】

長期休暇の期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が41.0%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が26.5%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が18.8%となっています。

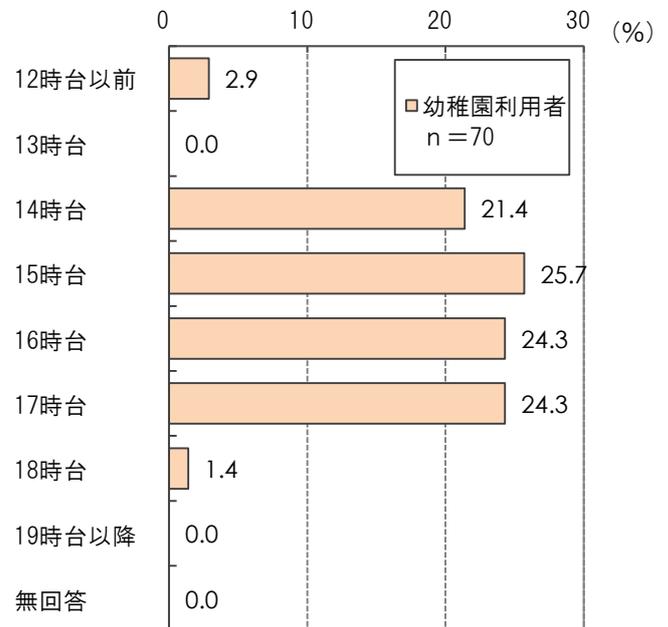
また、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合計した『利用意向のある人』は、59.8%となっています。



<希望利用開始時刻>



<希望利用終了時刻>



7. 病気の際の対応について

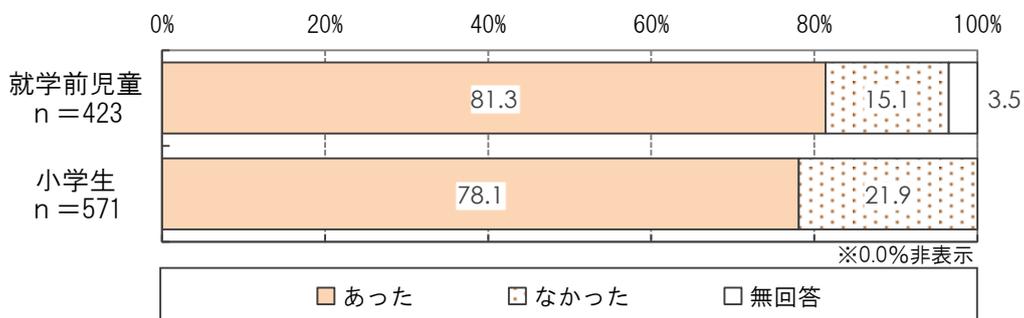
※対象の子どもが平日の定期的な教育・保育事業を利用している回答者の方のみ（就学前児童）

7-1 過去1年間の子どもが病気やケガで学校を休んだり教育・保育事業を利用できなかったことの有無
（単数回答）

学校を休んだ場合や定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法（複数回答可）

【就学前：問22・問22-1、小学生：問16・問16-1】

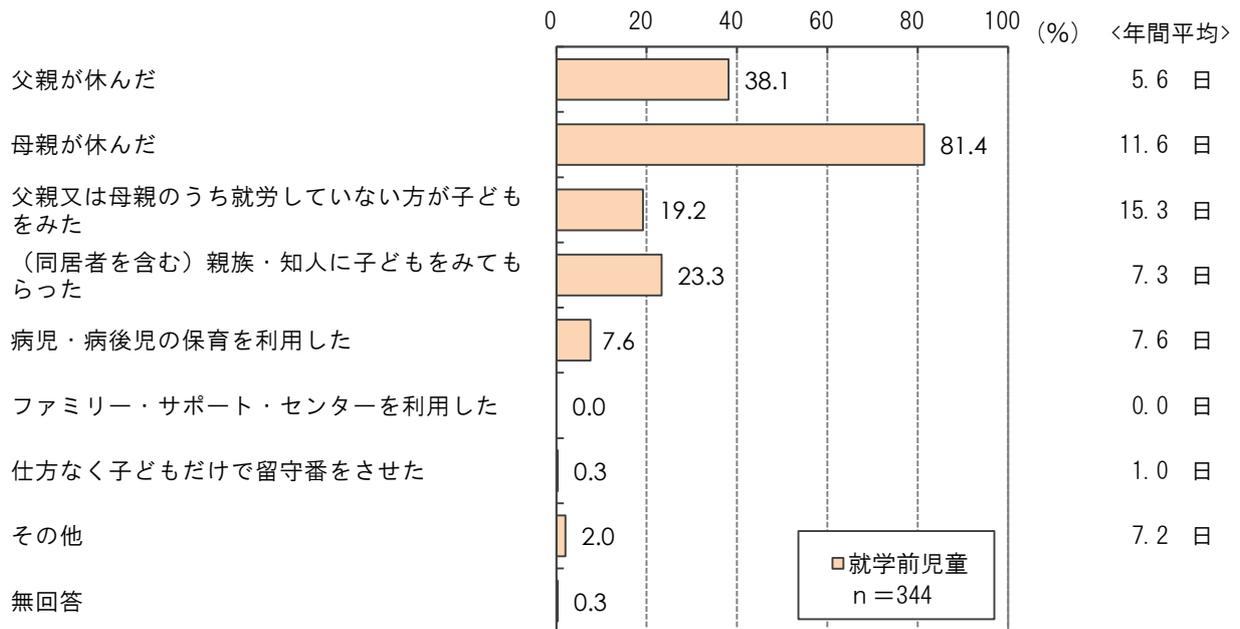
過去1年間に子どもが病気やケガで学校を休んだり教育・保育事業を利用できなかったことの有無については、就学前児童において「あった」が81.3%、「なかった」が15.1%となっています。小学生においては「あった」が78.1%、「なかった」が21.9%となっています。



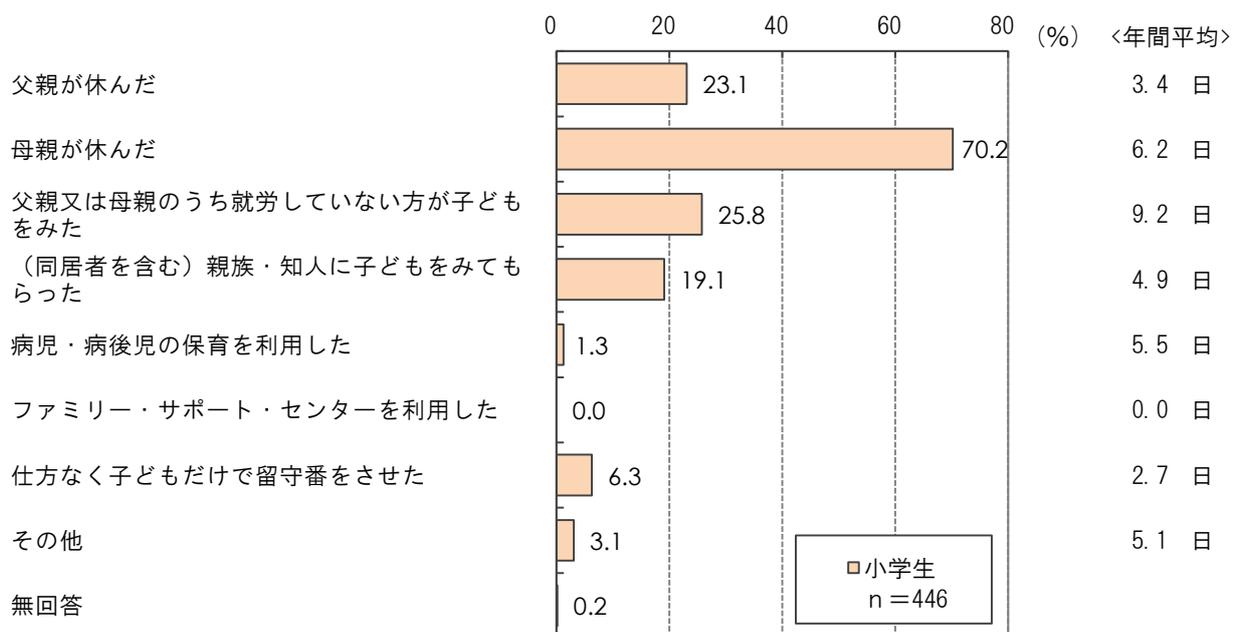
その対処方法については、就学前児童において「母親が休んだ」が81.4%と最も多く、その年間平均日数は11.6日、次いで「父親が休んだ」が38.1%で、その年間平均日数は5.6日などとなっています。

小学生においては「母親が休んだ」が70.2%と最も多く、その年間平均日数は6.2日、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が25.8%、その年間平均日数は9.2日などとなっています。

<就学前児童 対処方法・年間平均利用日数>

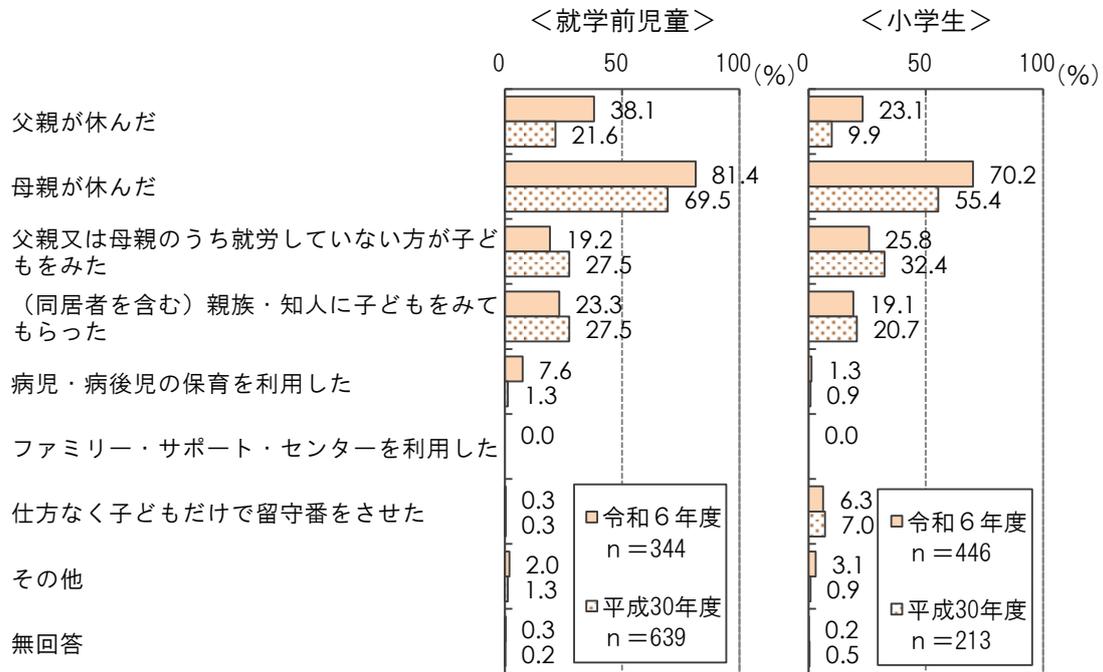


<小学生 対処方法・年間平均利用日数>



平成30年度調査と比較すると、就学前児童・小学生の双方において「父親が休んだ」「母親が休んだ」がいずれも10.0ポイント以上増加しています。

<経年比較>



【平成30年度調査における選択肢について】

※就学前児童・小学生について、「ファミリー・サポート・センター」は選択肢として設けられていなかった。

7-2 この1年で、子どもが病気やケガで学校を休んだり教育・保育事業が利用できなかった時に
父親または母親が仕事を休んだ人のみ

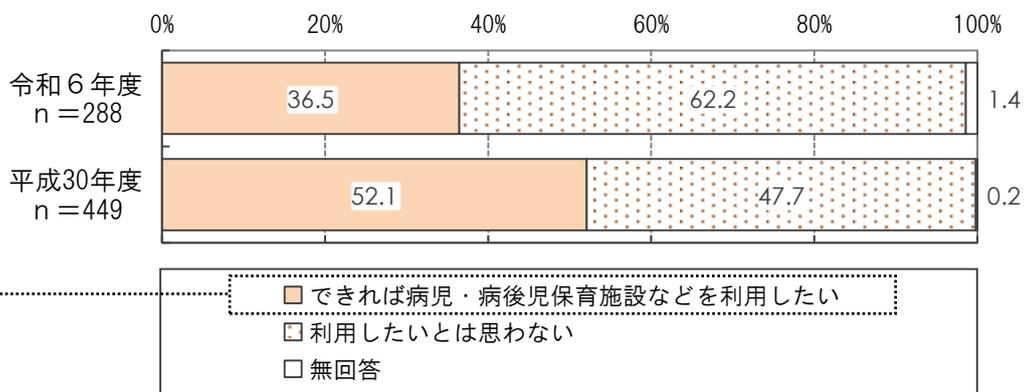
病児・病後児保育施設の利用意向（単数回答）、及び利用したいと思わない理由（複数回答可）

【就学前：問 22-2・問 22-3、小学生：問 16-2・問 16-3】

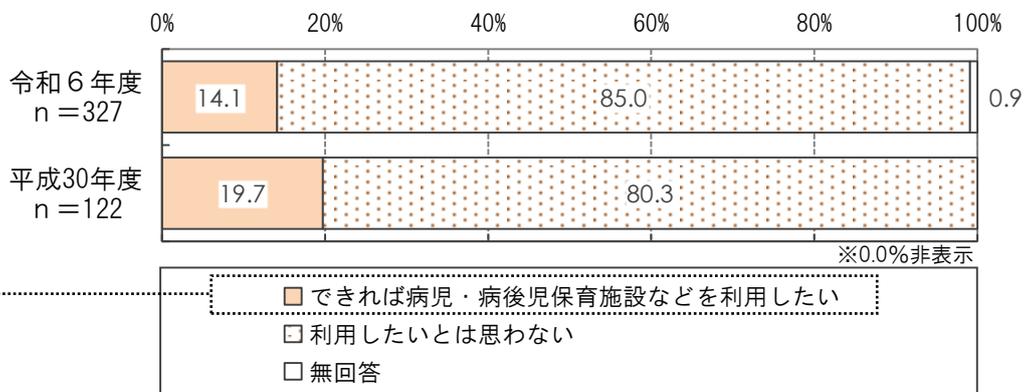
病児・病後児保育施設の利用意向については、就学前児童において「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が 36.5%、「利用したいと思わない」が 62.2%となっています。小学生においては「利用したいと思わない」が 85.0%を占めています。

平成 30 年度調査と比較すると、就学前児童において「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 15.6 ポイント減少しています。

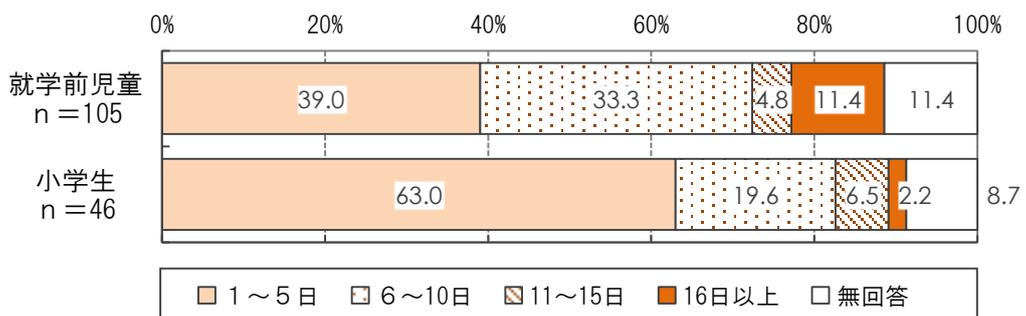
<就学前児童>



<小学生>

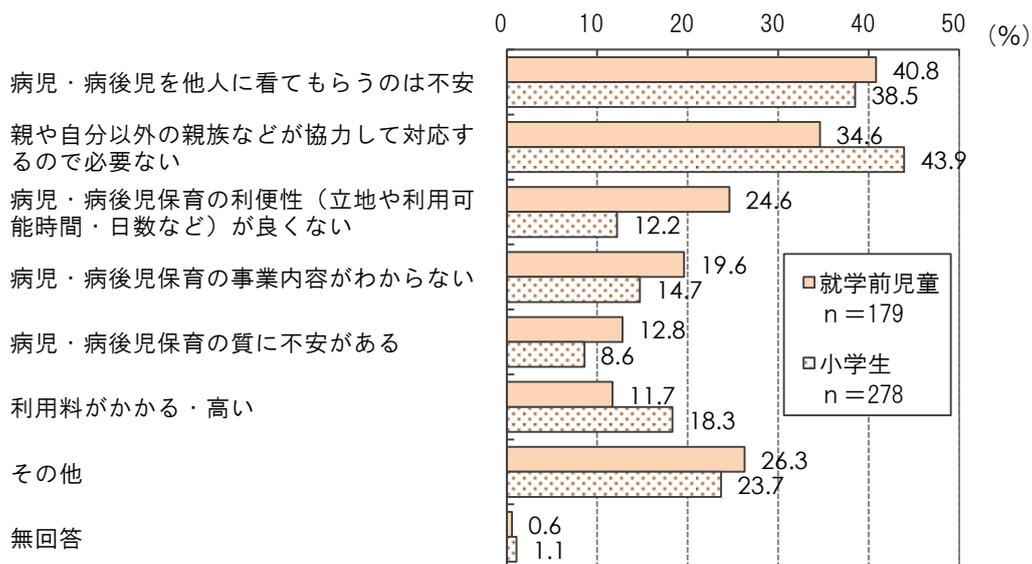


<利用したい年間日数>



病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由については、就学前児童において「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が40.8%と最も多く、次いで「親や自分以外の親族などが協力して対応するので必要ない」が34.6%、「病児・病後児保育の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない」が24.6%などとなっています。小学生においては、「親や自分以外の親族などが協力して対応するので必要ない」が43.9%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が38.5%、「利用料がかかる・高い」が18.3%などとなっています。

<利用したいと思わない理由>



7-3 この1年で、子どもが病気やケガで学校を休んだり教育・保育事業が利用できなかった時に
父親または母親が仕事を休む以外で対処をした人のみ

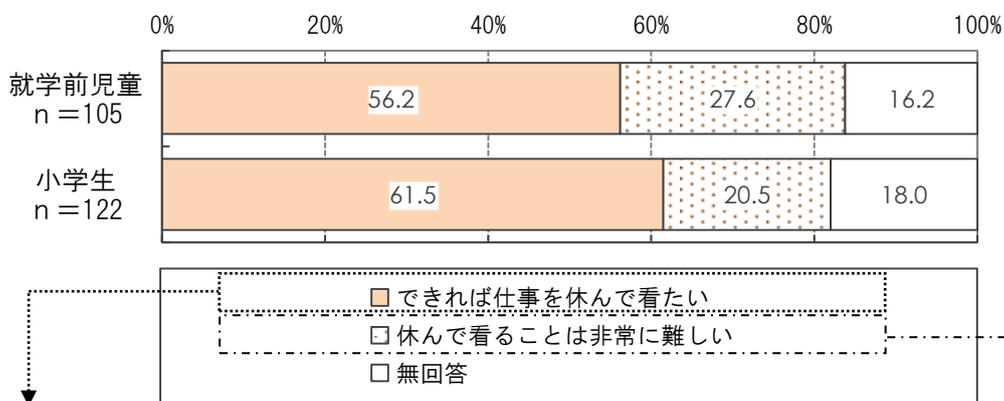
仕事を休んで子どもを看たいと思ったかどうか（単数回答）

及び、仕事を休んで子どもを看るのが難しい理由（複数回答可）

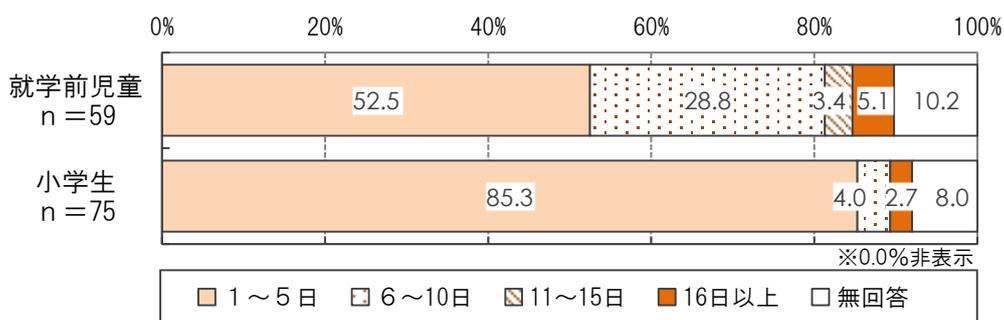
【就学前：問 22-4・問 22-5、小学生：問 16-4・問 16-5】

仕事を休んで子どもを看たいと思ったかについては、就学前児童において「できれば仕事を休んで看たい」が56.2%、「休んで看することは非常に難しい」が27.6%となっています。小学生においては「できれば仕事を休んで看たい」が61.5%、「休んで看することは非常に難しい」が20.5%となっています。

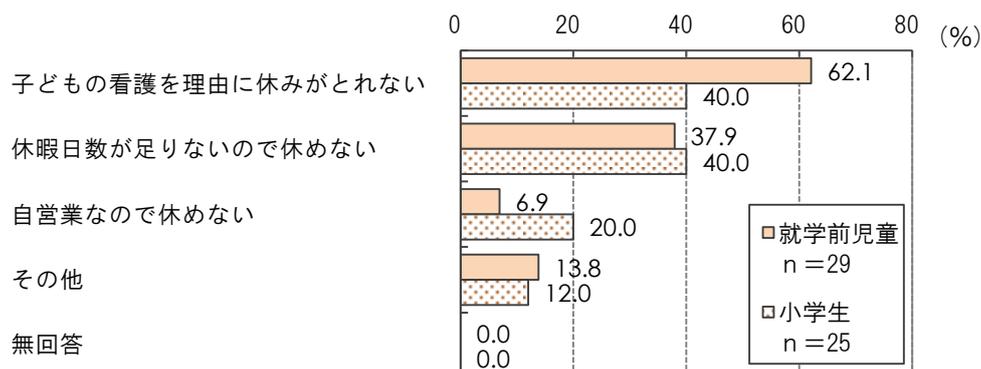
仕事を休むことが難しいと回答した人の理由については、就学前児童において「子どもの看護を理由に休みがとれない」が62.1%と最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が37.9%、「自営業なので休めない」が6.9%などとなっています。小学生においては「子どもの看護を理由に休みがとれない」「休暇日数が足りないので休めない」がともに40.0%、「自営業なので休めない」が20.0%などとなっています。



<休んで看たい年間日数>



<休んで看ることが非常に難しい理由>



8. 不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

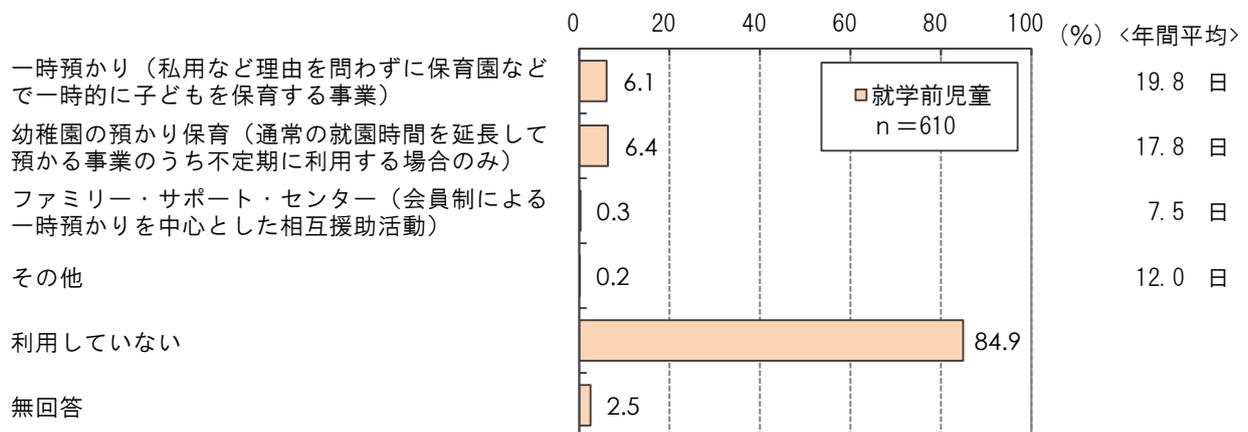
8-1 過去1年間の不規則での教育・保育事業の利用状況（複数回答可）

及び、不規則の教育・保育事業を利用していない理由（複数回答可）

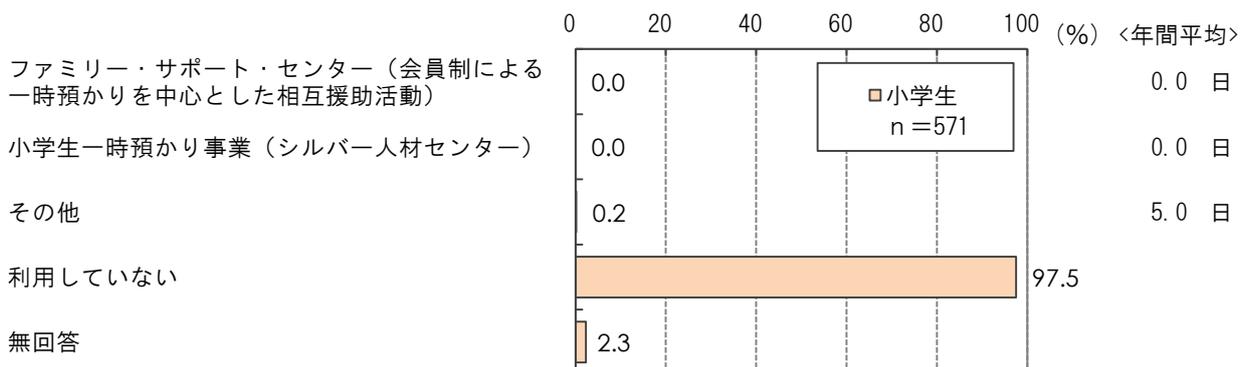
【就学前：問23・問23-1、小学生：問17・問17-1】

過去1年間の不規則での教育・保育事業の利用状況については、就学前児童において「利用していない」が84.9%と最も多くなっています。また、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）」が6.1%で、その年間平均日数は19.8日、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ）」が6.4%で、その年間平均日数は17.8日などとなっています。小学生においては「利用していない」が97.5%を占めています。

<就学前児童>



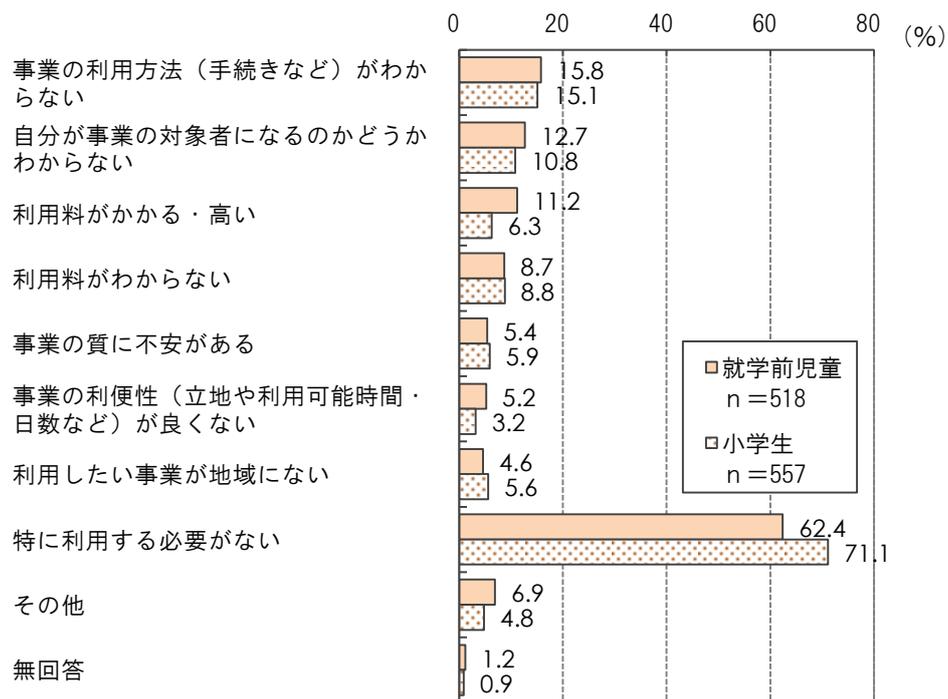
<小学生>



利用していない理由については、就学前児童において「事業の利用方法（手続きなど）がわからない」が15.8%と最も多く、次いで「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が12.7%、「利用料がかかる・高い」が11.2%などとなっています。一方、「特に利用する必要がない」は62.4%となります。

小学生においては「事業の利用方法（手続きなど）がわからない」が15.1%と最も多く、次いで「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が10.8%、「利用料がわからない」が8.8%などとなっています。一方、「特に利用する必要がない」は71.1%となります。

<利用していない理由>



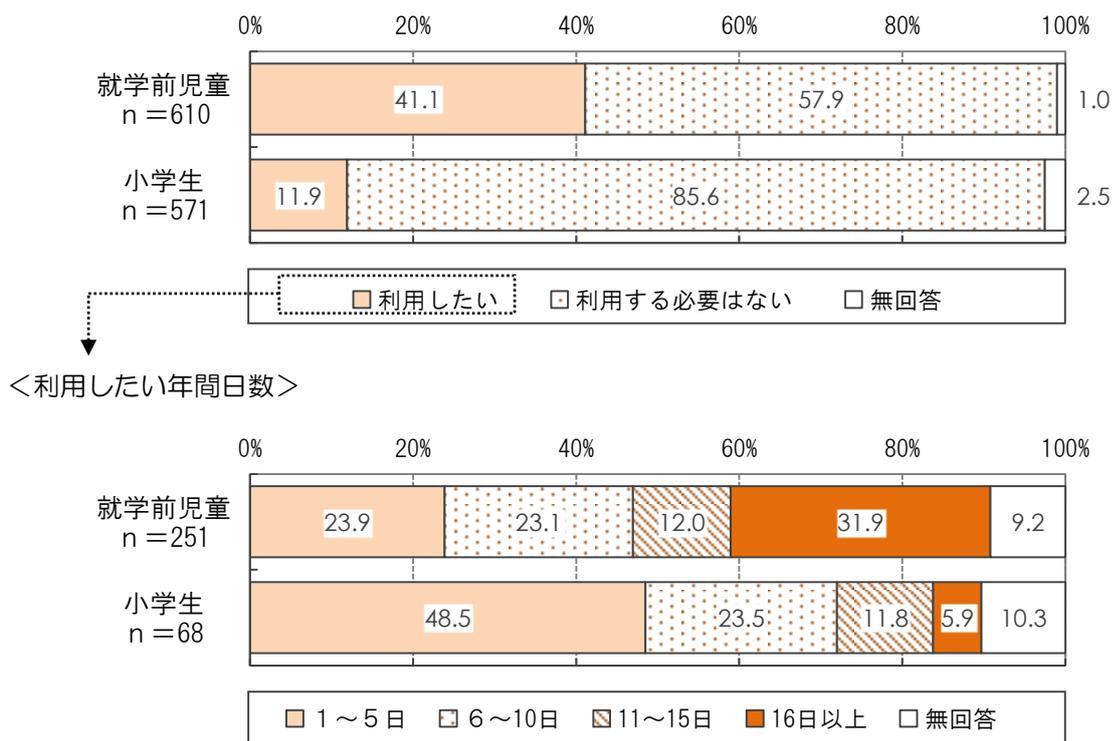
8-2 不定期での教育・保育事業の利用意向（単数回答）、目的（複数回答可）
及び、希望する事業形態（複数回答可）

【就学前：問 24・問 24-1・問 24-2、小学生：問 18・問 18-1・問 18-2】

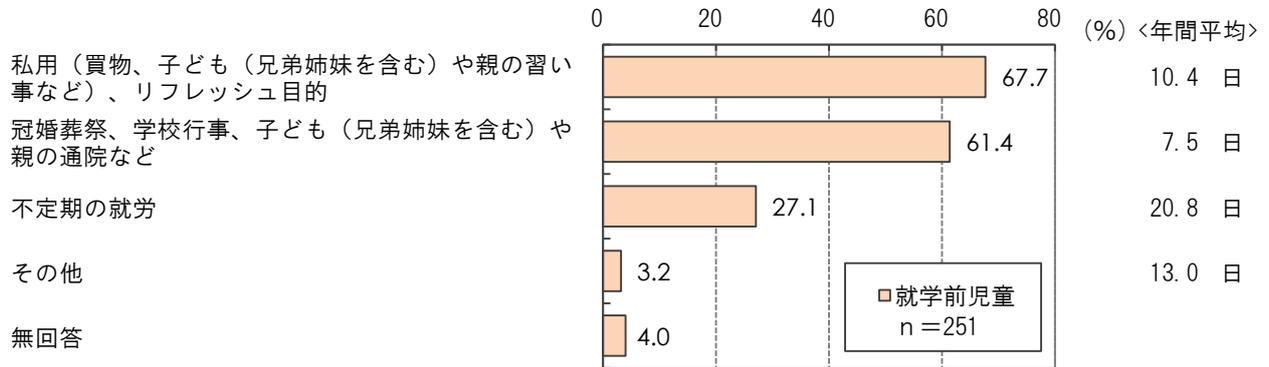
不定期での教育・保育事業の利用意向については、就学前児童において「利用したい」が41.1%、「利用する必要はない」が57.9%となっています。小学生においては「利用する必要はない」が85.6%を占めています。

利用意向のある人の利用目的については、就学前児童において「私用、リフレッシュ目的」が67.7%と最も多く、その年間平均日数は10.4日、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が61.4%で、その年間平均日数は7.5日などとなっています。小学生においては「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が60.3%と最も多く、その年間平均日数は4.3日、次いで「私用、リフレッシュ目的」が51.5%で、その年間平均日数は6.0日などとなっています。

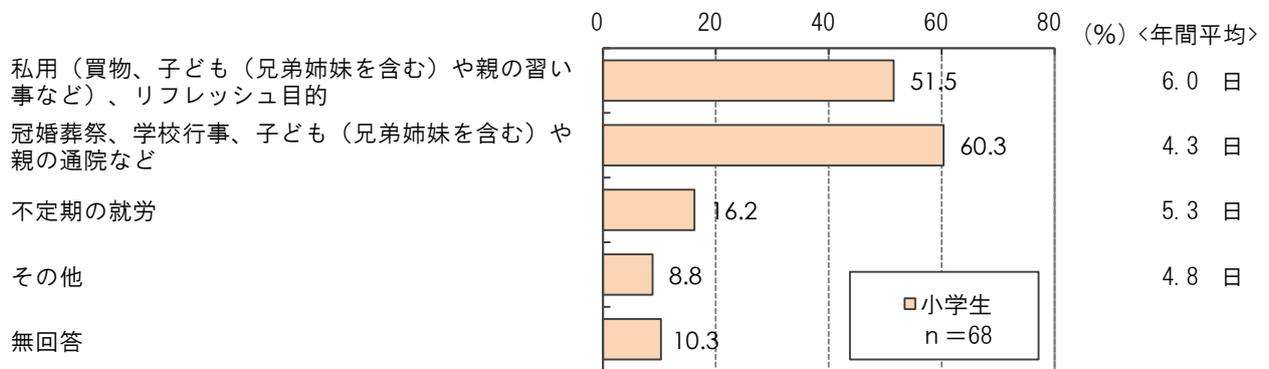
利用意向のある人の希望する事業形態については、就学前児童において「一時預かり」が65.7%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が32.3%、「ファミリー・サポート・センター」が14.7%などとなっています。小学生においては「ファミリー・サポート・センター」が57.4%と最も多く、次いで「小学生一時預かり事業」が42.6%などとなっています。



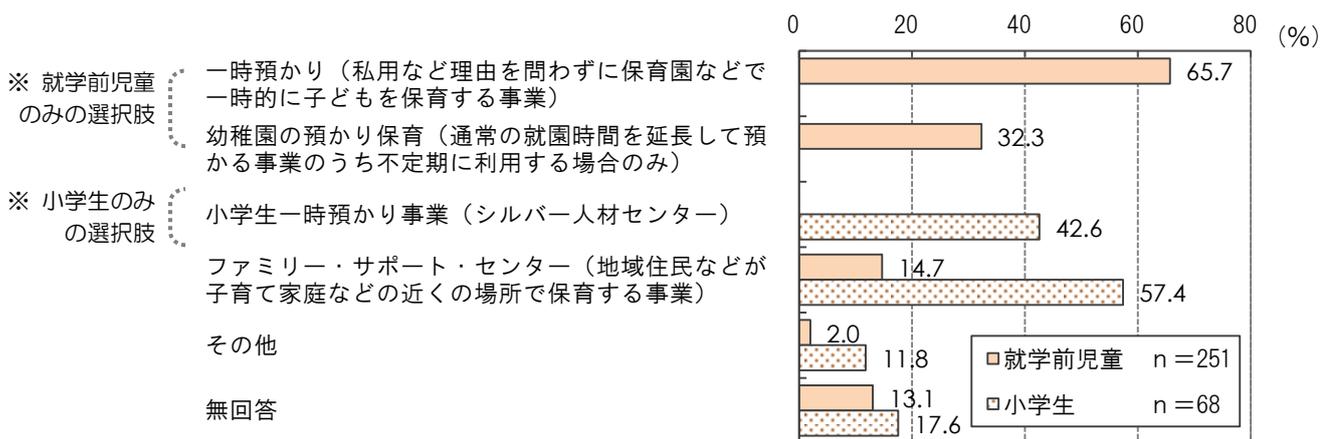
<就学前児童 利用目的・年間平均日数>



<小学生 利用目的・年間平均日数>



<希望する事業形態>



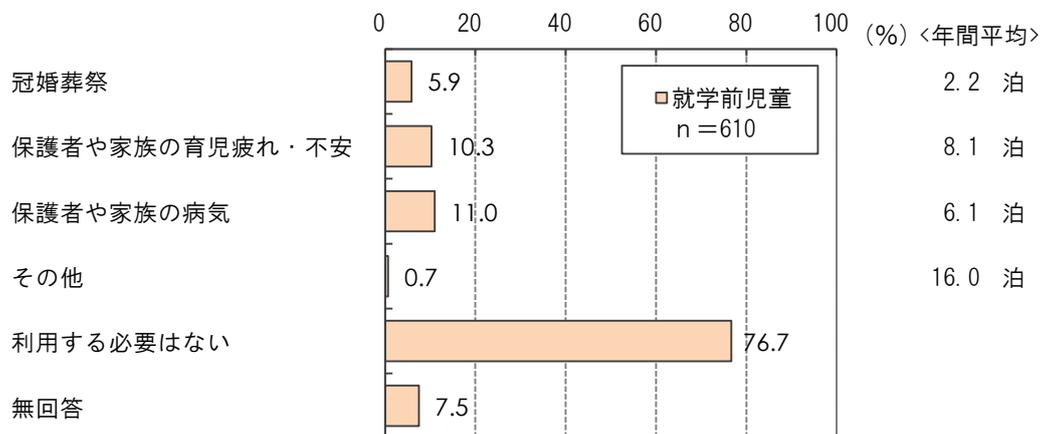
8-3 保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」へ預ける際の目的（複数回答可）、及びその日数（複数回答可）

【就学前：問 25、小学生：問 19】

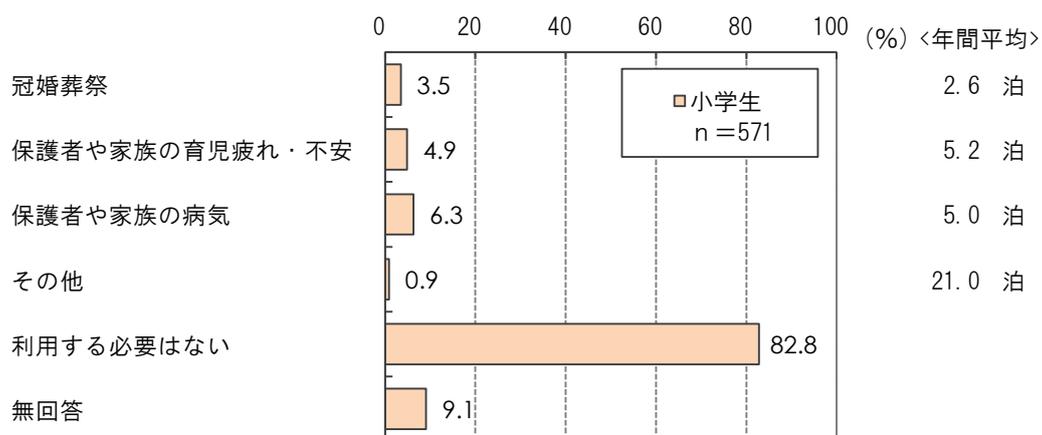
保護者の用事などにより、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」へ預ける際の目的については、就学前児童において「保護者や家族の病気」が 11.0%と最も多く、その年間平均泊数は 6.1 泊、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 10.3%で、その年間平均泊数は 8.1 泊、「冠婚葬祭」が 5.9%で、その年間平均泊数は 2.2 泊などとなっています。一方、「利用する必要はない」は 76.7%となります。

小学生においては「保護者や家族の病気」が 6.3%と最も多く、その年間平均泊数は 5.0 泊、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 4.9%で、その年間平均泊数は 5.2 泊、「冠婚葬祭」が 3.5%で、その年間平均泊数は 2.6 泊などとなっています。一方、「利用する必要はない」は 82.8%となります。

<就学前児童・年間平均泊数>



<小学生・年間平均泊数>



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

※対象の子どもが来年度小学校に入学する回答者の方のみ

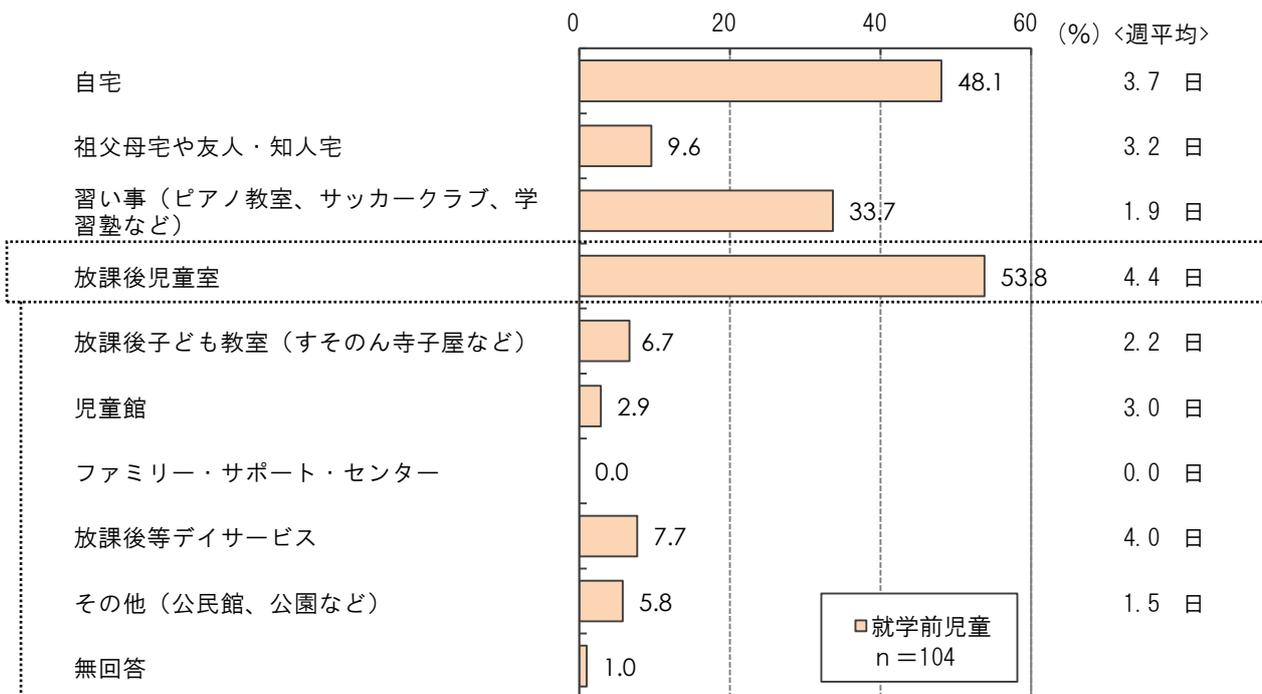
9-1 小学校低学年時及び高学年時の放課後の過ごし方の希望（複数回答可）

【就学前：問26・問27】

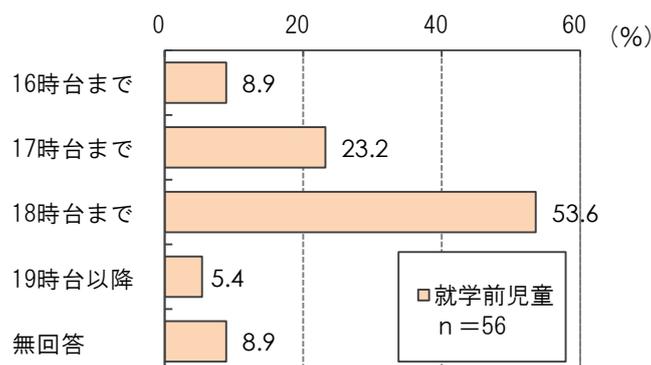
放課後の過ごし方の希望については、小学校低学年時において「放課後児童室」が53.8%と最も多く、次いで「自宅」が48.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が33.7%などとなっています。小学校高学年時においては「自宅」が66.3%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が49.0%、「放課後児童室」が30.8%などとなっています。

小学校低学年時の「放課後児童室」に預けたい時間については、「18時台まで」が53.6%と最も多くなっています。小学校高学年時の「放課後児童室」に預けたい時間についても、「18時台まで」が53.1%と最も多くなっています。

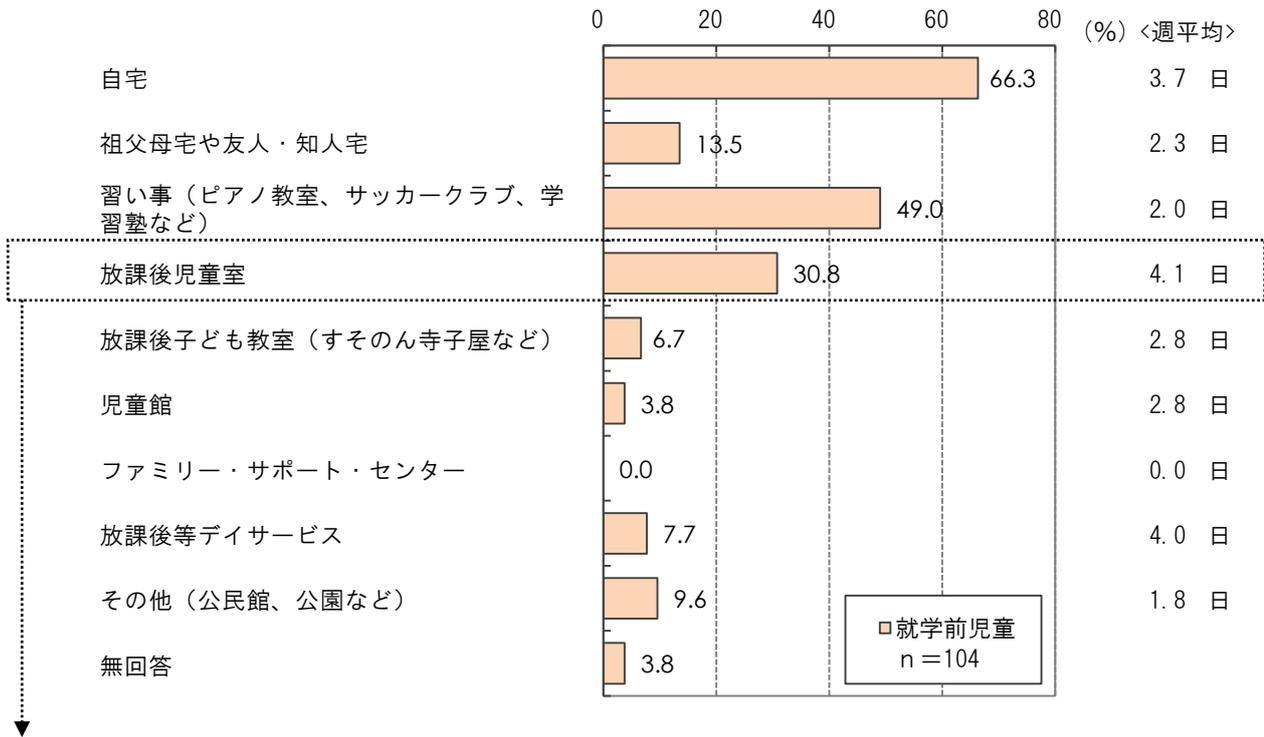
<低学年時の放課後の過ごし方の希望>



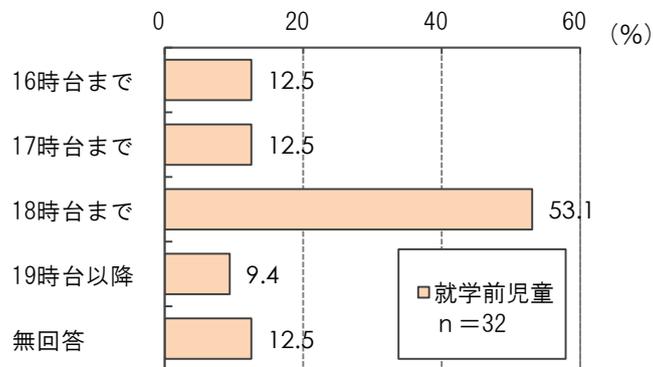
<放課後児童室の希望利用終了時刻>



<高学年時の放課後の過ごし方の希望>



<放課後児童室の希望利用終了時刻>



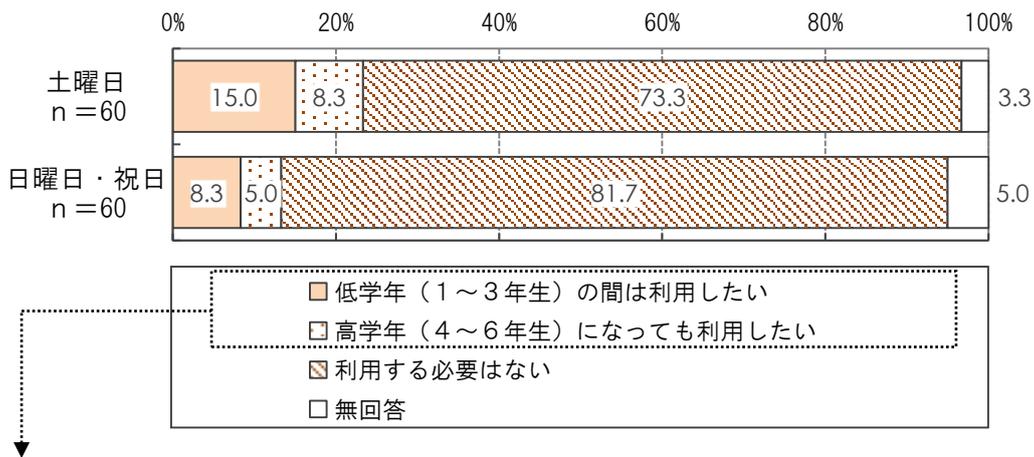
9-2 9-1で「放課後児童室」と回答した方のみ

土曜日の放課後児童室の利用意向（単数回答）

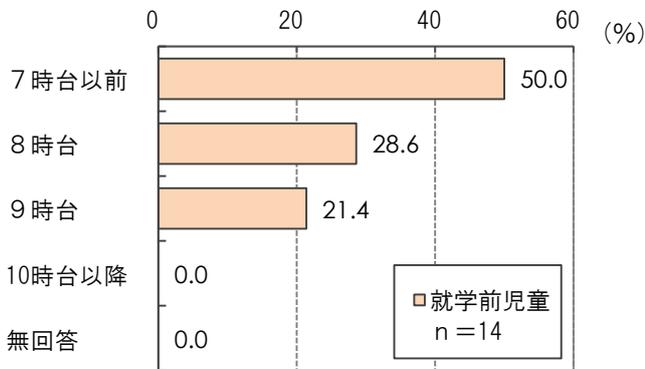
及び、日曜日・祝日の放課後児童室の利用意向（単数回答）

【就学前：問28（1）・問28（2）】

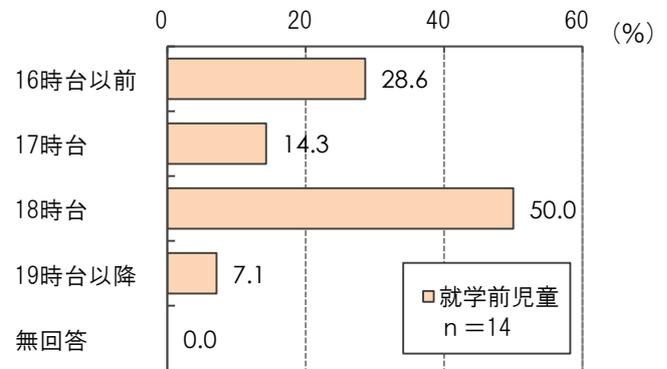
放課後児童室の利用意向については、土曜日において「利用する必要はない」が73.3%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が15.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が8.3%となっています。日曜日・祝日においても「利用する必要はない」が81.7%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が8.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が5.0%となっています。



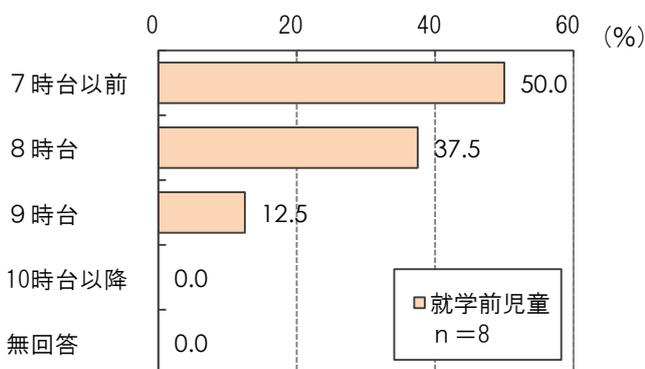
<土曜日の希望利用開始時刻>



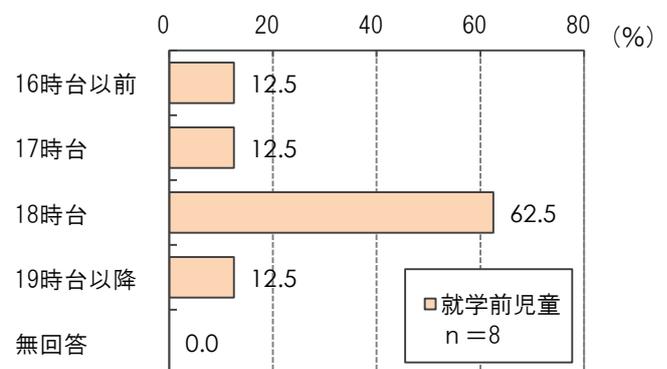
<土曜日の希望利用終了時刻>



<日曜日・祝日の希望利用開始時刻>



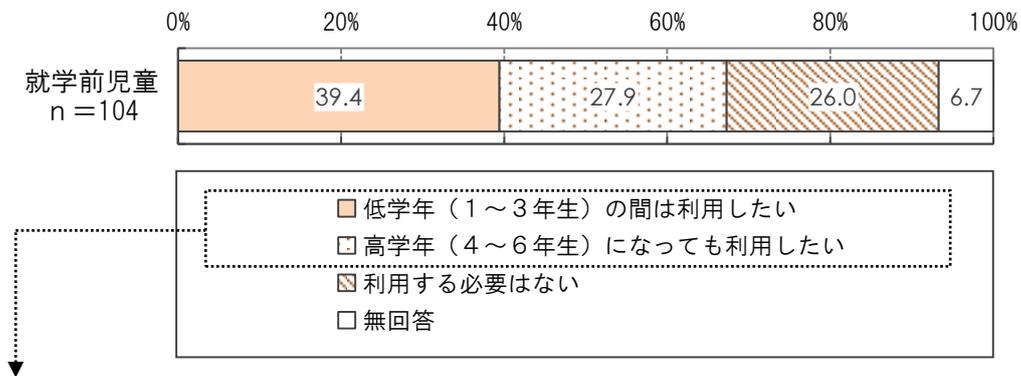
<日曜日・祝日の希望利用終了時刻>



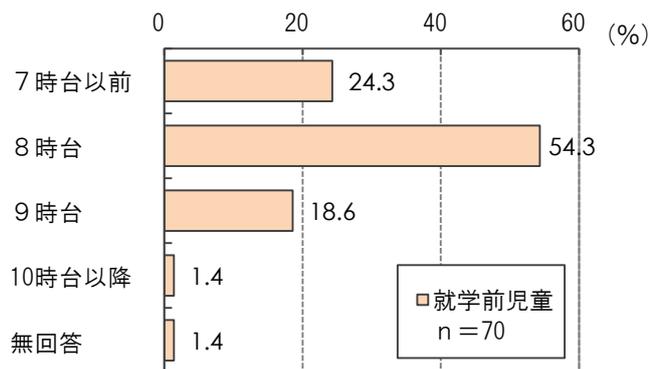
9-3 長期休暇の期間中の放課後児童室の利用意向（単数回答）

【就学前：問 29】

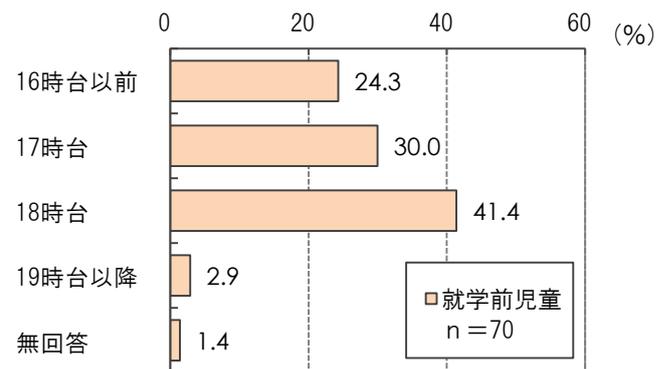
長期休暇の期間中の放課後児童室の利用意向については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が39.4%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が27.9%、「利用する必要はない」が26.0%などとなっています。



<長期休暇時の希望利用開始時刻>



<長期休暇時の希望利用終了時刻>



10. 放課後児童室の利用状況・利用意向について

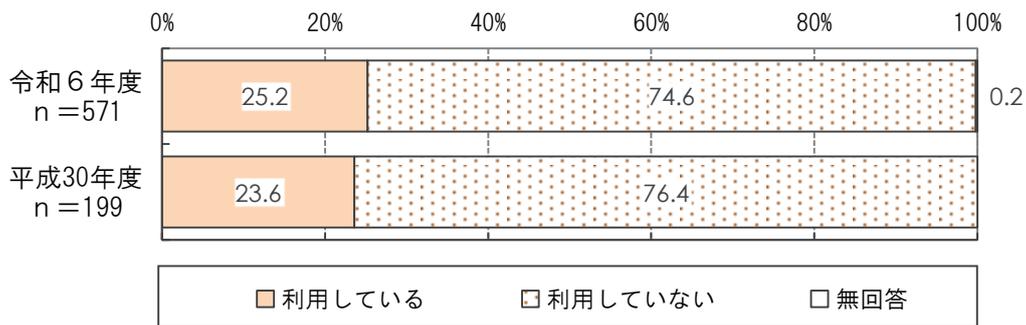
10-1 放課後児童室の利用状況（単数回答）

放課後児童室の平日・土曜日別の利用状況（単数回答）

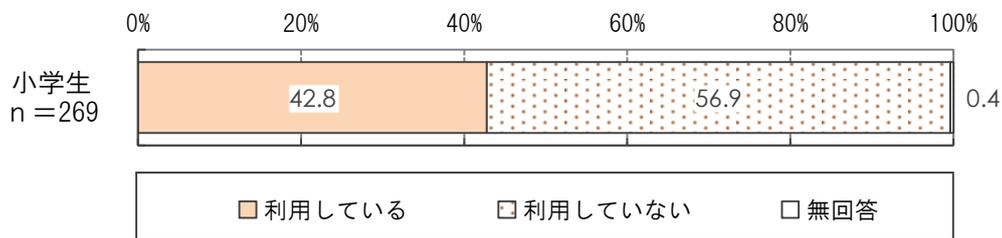
【小学生：問14・問14-1】

放課後児童室の利用状況は、「利用している」が25.2%、「利用していない」が74.6%となっています。

小学1～3年生のみに限定して平成30年度調査と比較すると、「利用している」が19.2ポイント増加しています。



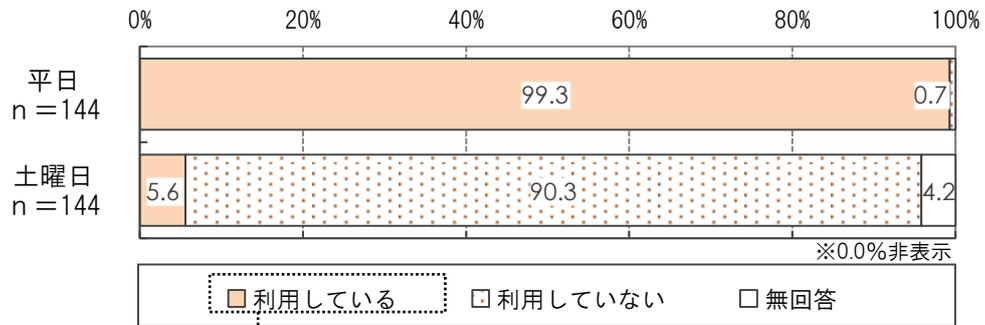
※令和6年度の回答のうち、小学1～3年生のみを集計した結果



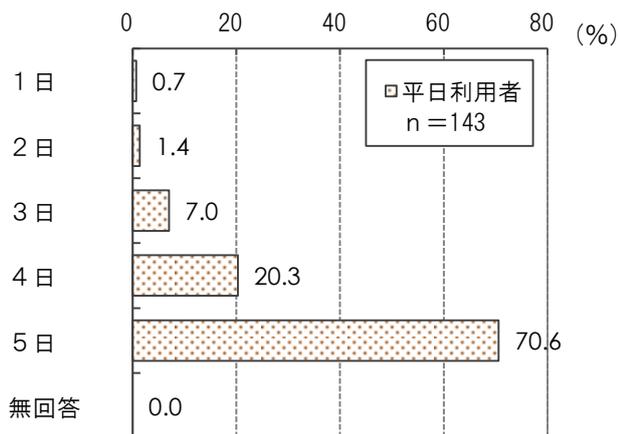
利用している方のうち、平日の利用状況については、「利用している」が99.3%を占めています。土曜日については「利用していない」が90.3%を占めています。

平日の1週あたりの利用日数については、「5日」が70.6%と最も多くなっています。

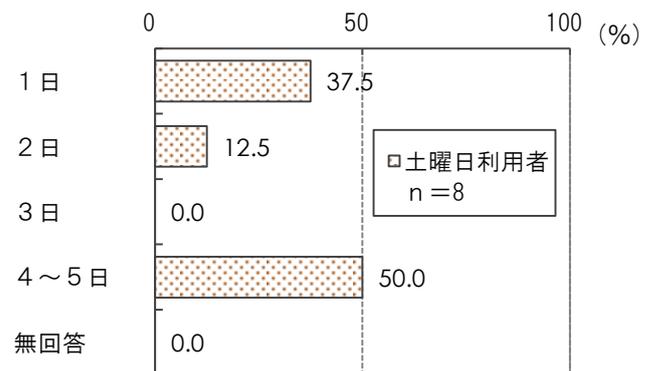
<放課後児童室の平日・土曜日別の利用状況>



<平日の1週あたりの利用日数>



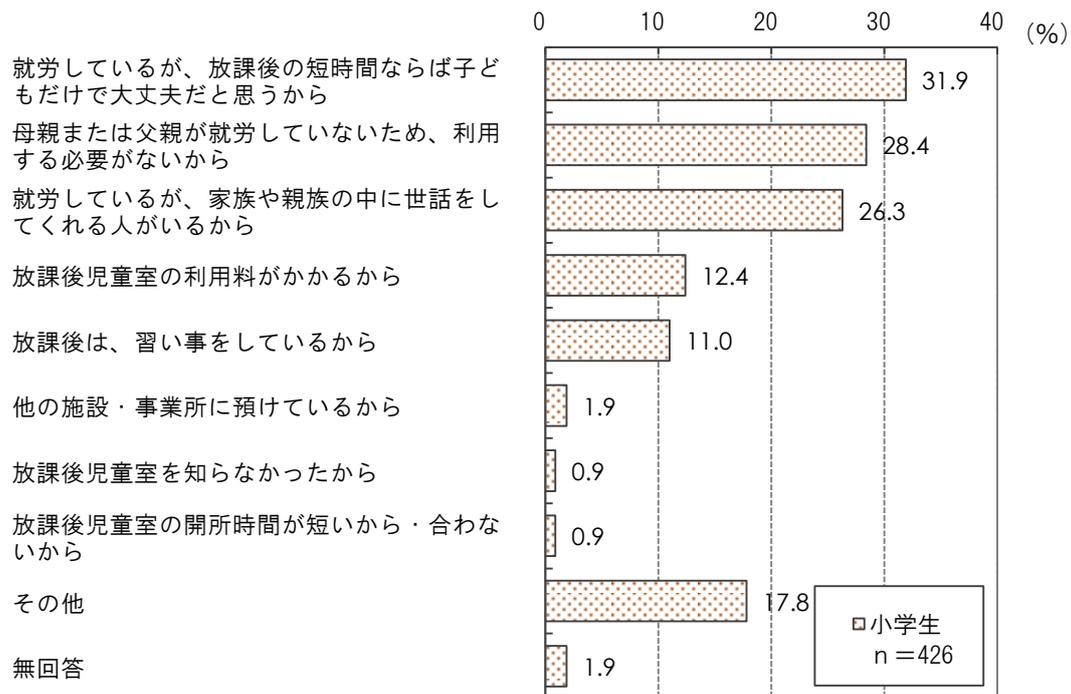
<土曜日の1か月あたりの利用日数>



10-2 10-1で「利用していない」と回答した方のみ
放課後児童室を利用していない理由（複数回答可）

【小学生：問14-2】

放課後児童室を利用していない理由については、「就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけで大丈夫だと思うから」が31.9%と最も多く、次いで「母親または父親が就労していないため、利用する必要がないから」が28.4%、「就労しているが、家族や親族の中に世話をしてくれる人があるから」が26.3%などとなっています。

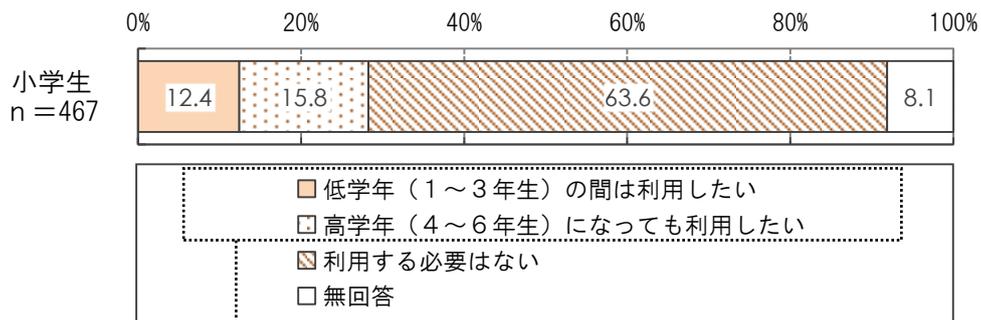


10-3 来年度以降の平日における放課後児童室の利用意向（単数回答）

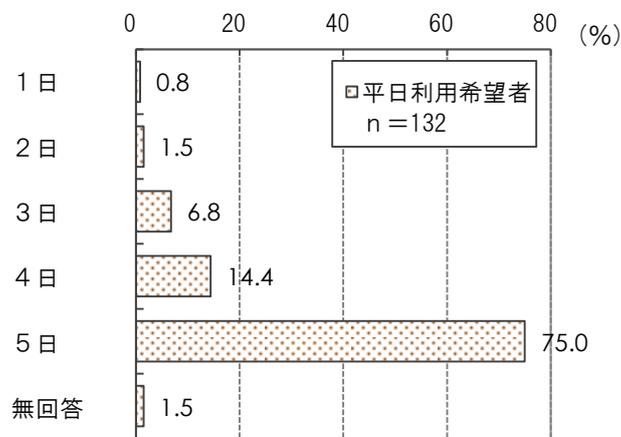
【小学生：問15（1）】

来年度以降の平日における放課後児童室の利用意向については、「利用する必要はない」が63.6%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が15.8%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が12.4%となっています。

『利用したい』と回答した方のうち、来年度以降の平日の1週あたりの希望利用日数については、「5日」が75.0%と最も多くなっています。



<平日の1週あたりの希望利用日数>

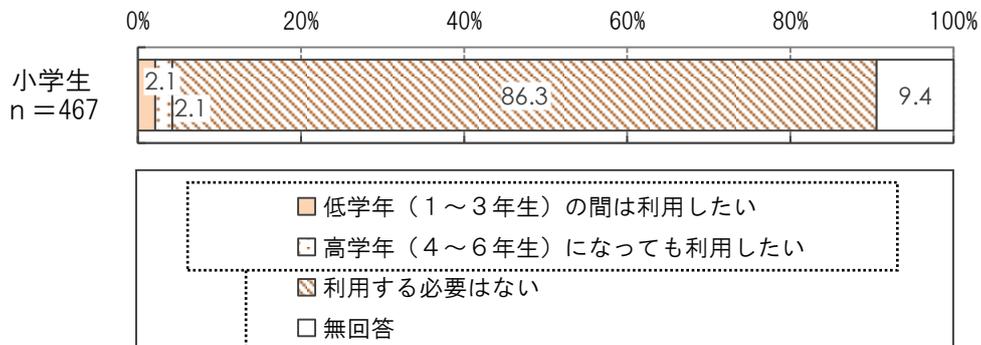


10-4 来年度以降の土曜日における放課後児童室の利用意向（単数回答）

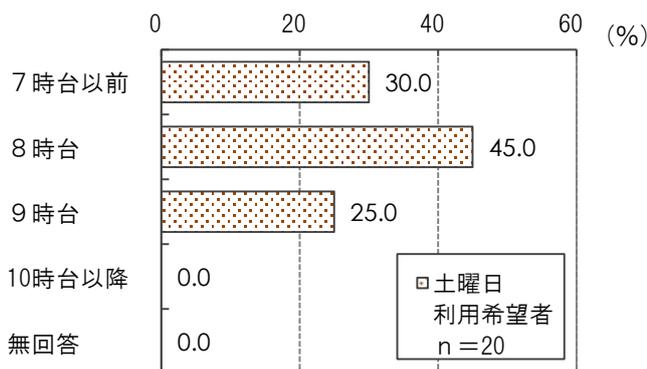
【小学生：問15（2）】

来年度以降の土曜日における放課後児童室の利用意向については、「利用する必要はない」が86.3%を占めています。

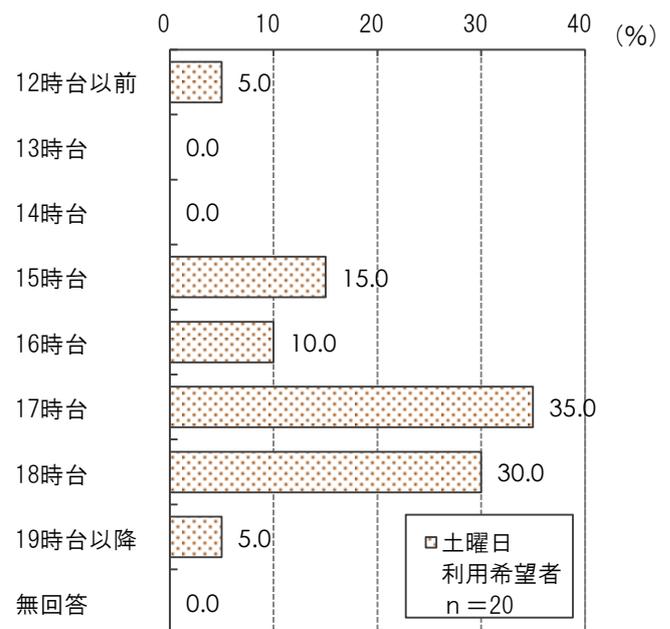
利用意向のある方をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」がいずれも2.1%となっています。



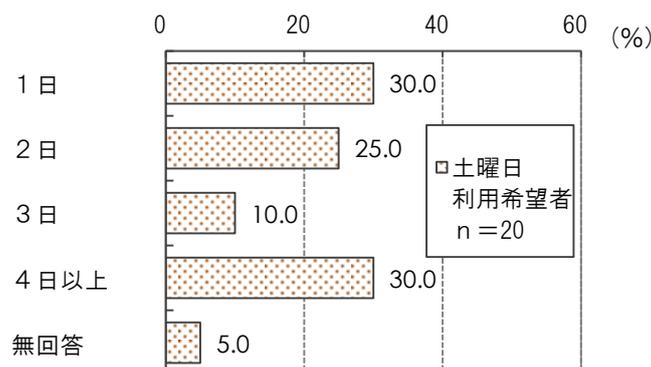
<土曜日の希望利用開始時刻>



<土曜日の希望利用終了時刻>



<土曜日の1か月あたりの希望利用日数>

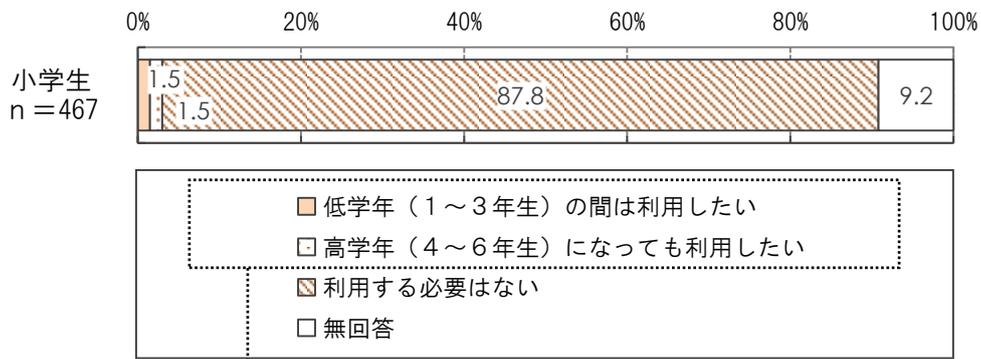


10-5 来年度以降の日曜日・祝日における放課後児童室の利用意向（単数回答）

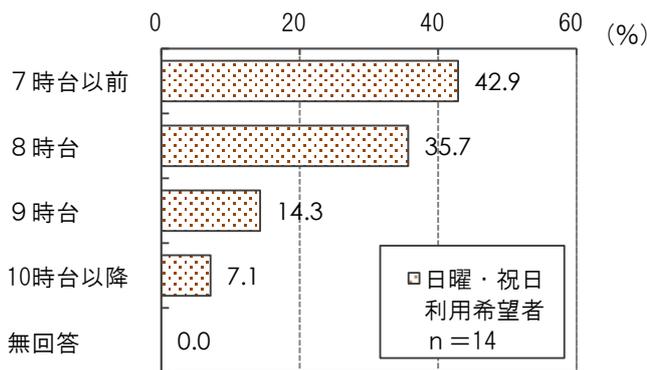
【小学生：問15（3）】

来年度以降の日曜日・祝日における放課後児童室の利用意向については、「利用する必要はない」が87.8%を占めています。

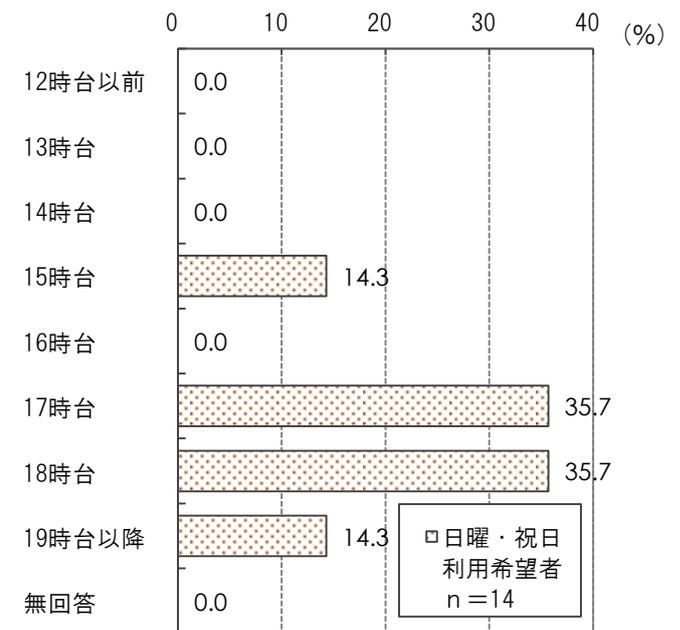
利用意向のある方をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」がいずれも1.5%となっています。



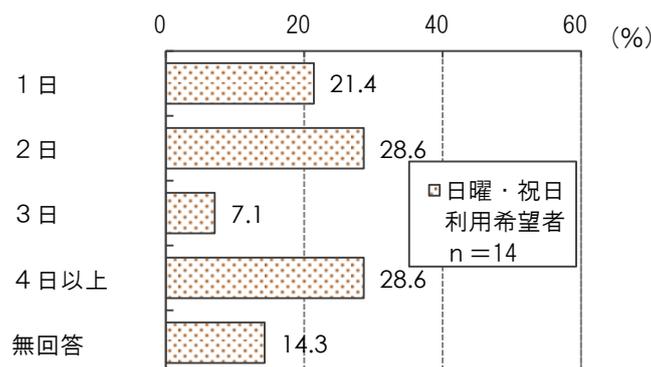
<日曜日・祝日の希望利用開始時刻>



<日曜日・祝日の希望利用終了時刻>



<日曜日・祝日の1か月あたりの希望利用日数>



10-6 来年度以降の長期休暇中における放課後児童室の利用意向（単数回答）

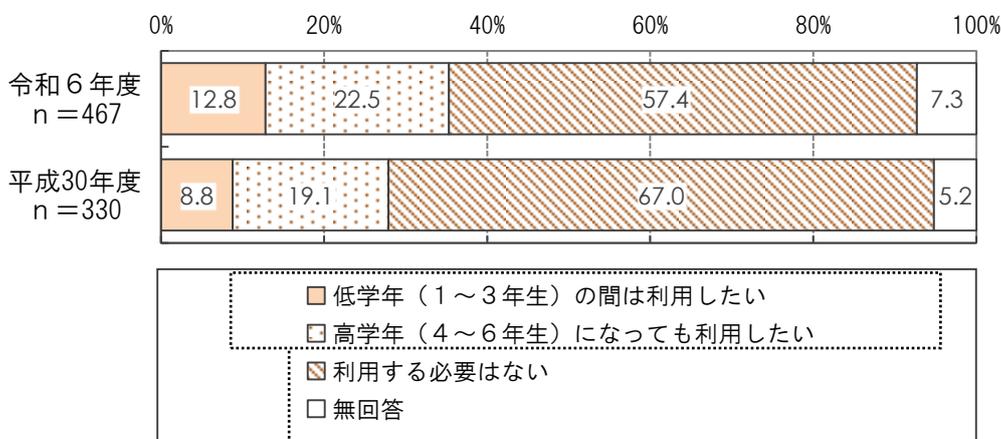
【小学生：問15（4）】

来年度以降の長期休暇中における放課後児童室の利用意向については、「利用する必要はない」が57.4%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が22.5%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が12.8%となっています。

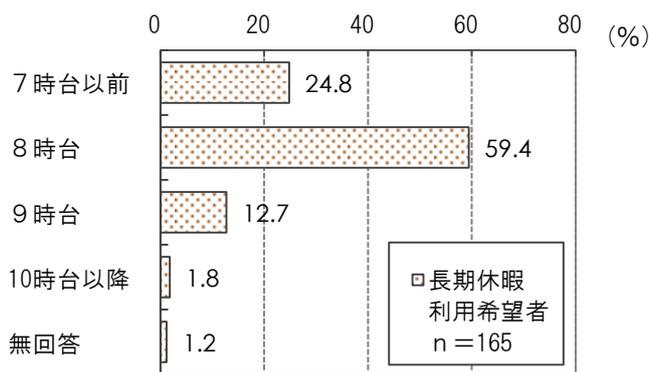
長期休暇期間中の利用希望終了時刻については、「18時台」が35.8%と最も多く、次いで「17時台」が31.5%、「16時台」が17.0%となっています。

平成30年度と比較すると、平成30年度においては16時台以降を選択する回答が大幅に増加し、14時台以前を選択する回答が大幅に減少しています。

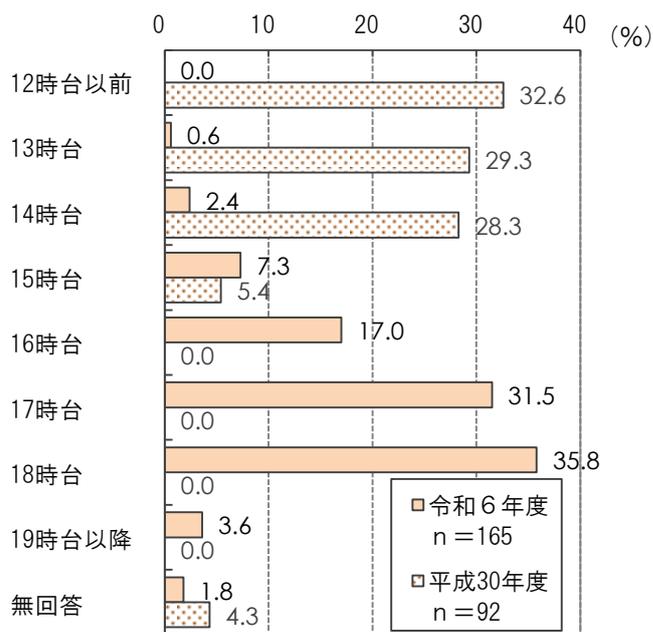
来年度以降の各長期休暇中における利用希望日数は、夏休みにおいて「15日以上」が64.8%、冬休みにおいては「5日以上」が63.6%、春休みにおいては「11日以上」が35.2%とそれぞれ最も多くなっています。



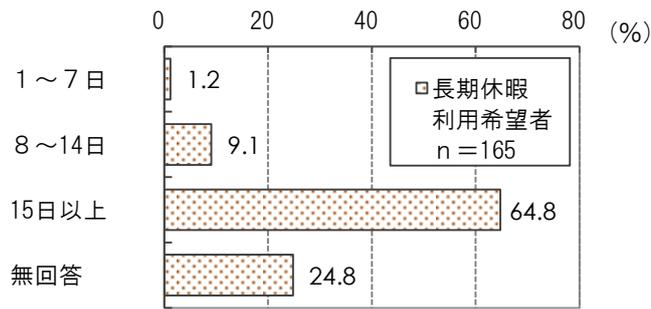
<長期休暇中の希望利用開始時刻>



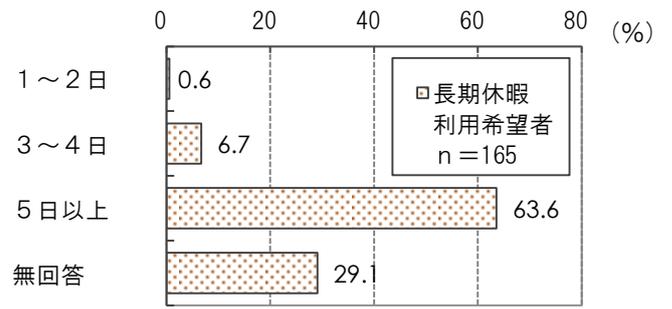
<長期休暇中の希望利用終了時刻>



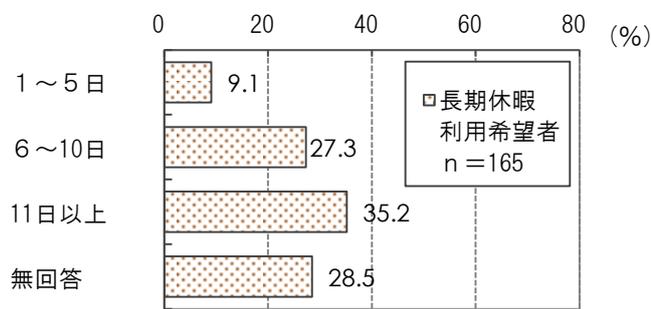
＜夏休み期間中の希望利用日数＞



＜冬休み期間中の希望利用日数＞



＜春休み期間中の希望利用日数＞



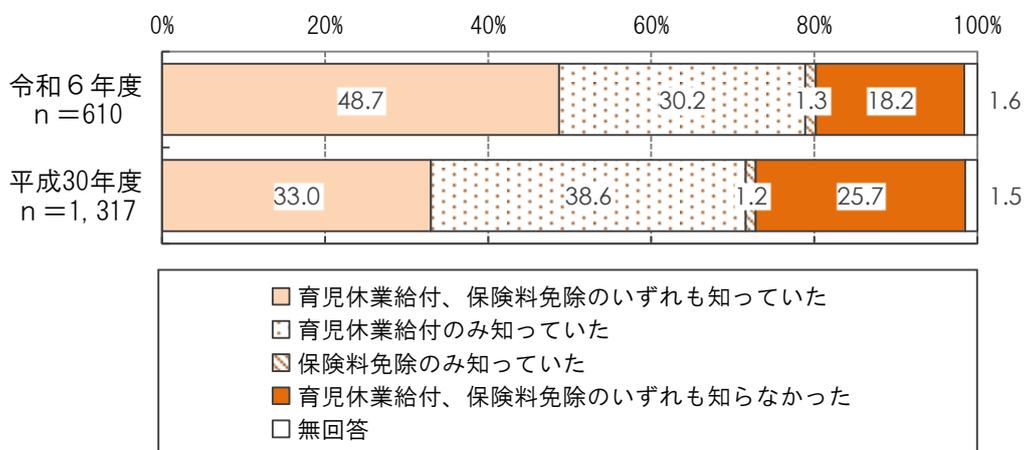
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

11-1 育児休業給付、保険料免除の認知度（単数回答）

【就学前：問 30】

育児休業給付、保険料免除の認知度については、就学前児童において「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 48.7%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が 30.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 18.2%などとなっています。

平成 30 年度と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 15.7 ポイント増加し、「育児休業給付のみ知っていた」「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」がそれぞれ 5.0 ポイント以上減少しています。



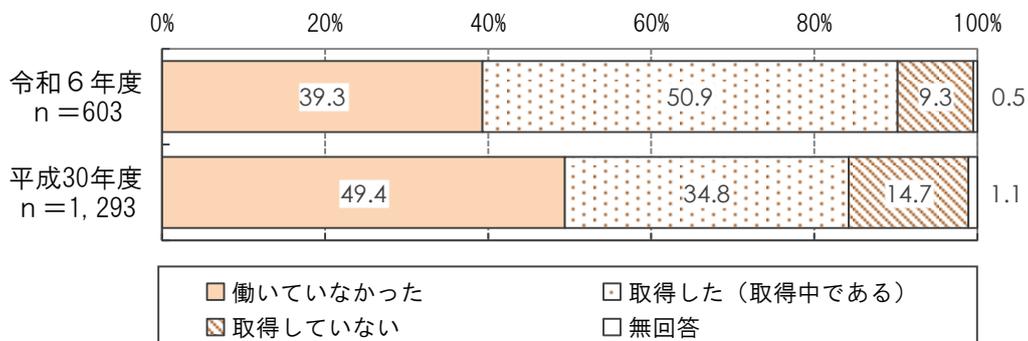
11-2 育児休業の取得状況（単数回答）・育児休業を取得していない理由（複数回答可）

【就学前：問31】

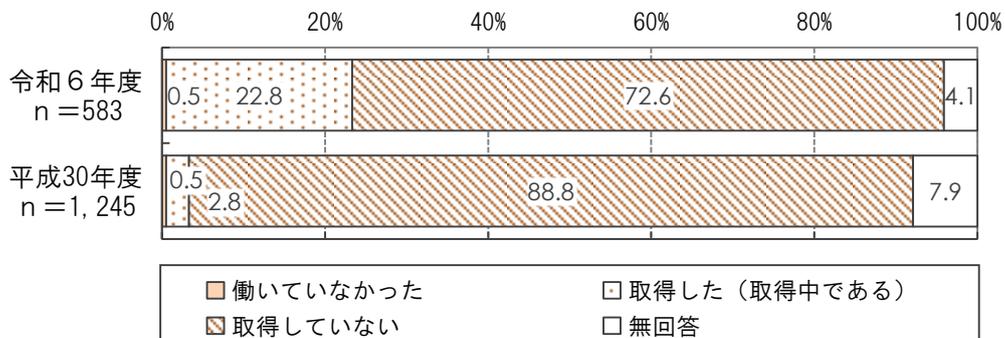
育児休業の取得状況については、母親において「取得した（取得中である）」が50.9%と最も多く、次いで「働いていなかった」が39.3%、「取得していない」が9.3%となっています。父親においては「取得していない」が72.6%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が22.8%などとなっています。

平成30年度と比較すると、母親において「取得した（取得中である）」が16.1ポイント増加し、「働いていなかった」「取得していない」がそれぞれ5.0ポイント上減少しています。父親においては、「取得した（取得中である）」が20.0ポイント増加し、「取得していない」が16.2ポイント減少しています。

<母親>



<父親>



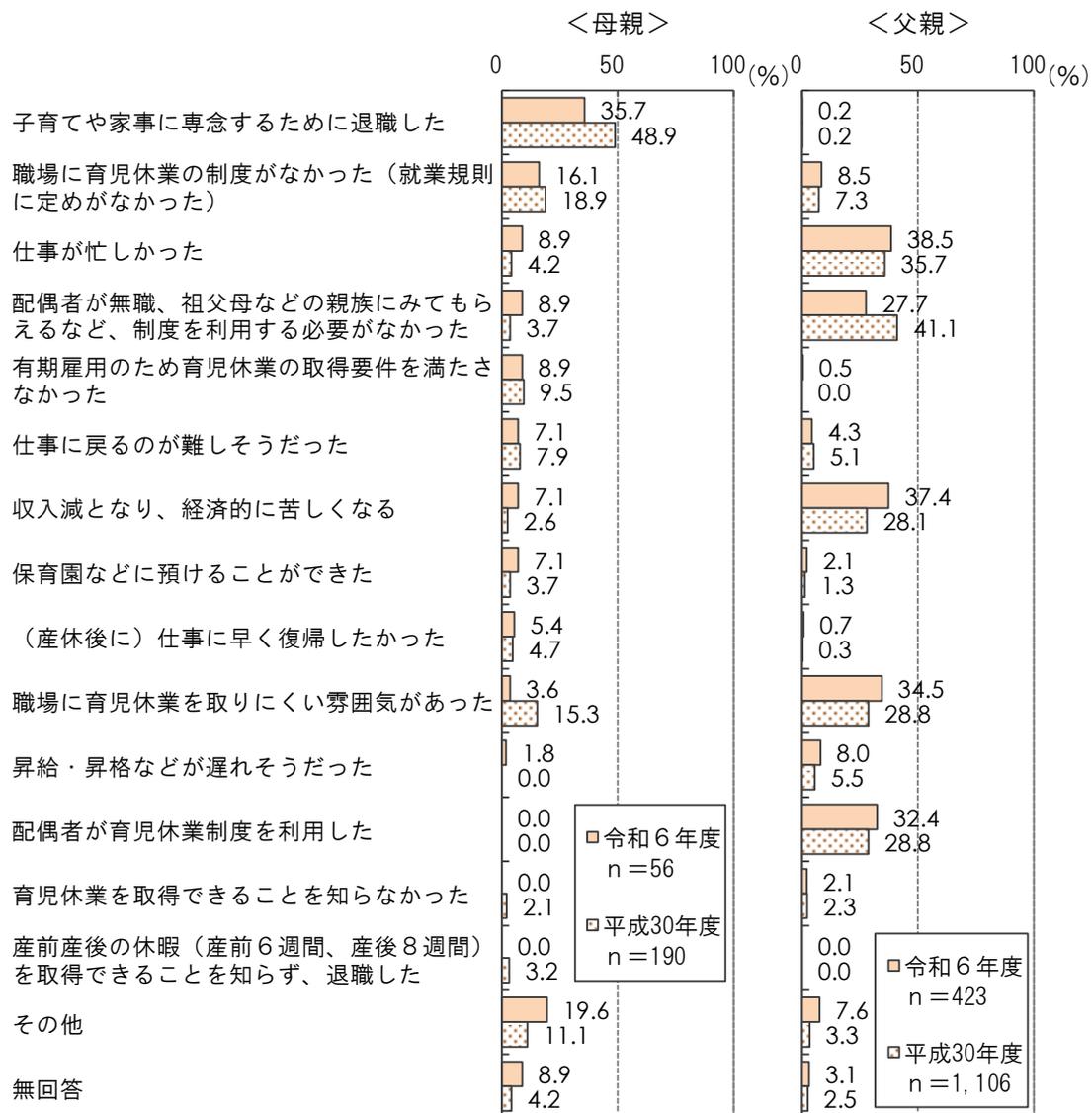
※「問31 保護者の育休取得状況」の回答対象者は下記設問の回答をもとに分類しているため、「問7 父母との同居状況」の回答数とは一致しない。

家族類型	問4 調査の回答者	問5 回答者の配偶関係
両親のいる世帯 ⇒	母親および父親	配偶者がいる
母親のみひとり親世帯 ⇒	母親	配偶者がいない
父親のみひとり親世帯 ⇒	父親	配偶者がいない
回答者その他のため不明 ⇒	その他	-

育児休業を取得していない理由については、母親において「子育てや家事に専念するために退職した」が35.7%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が16.1%、「仕事が忙しかった」「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がいずれも8.9%などとなっています。父親においては「仕事が忙しかった」が38.5%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が37.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が34.5%などとなっています。

平成30年度と比較すると、母親において「子育てや家事に専念するために退職した」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が10.0ポイント以上減少しています。父親においては、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が13.4ポイント減少し、「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」がそれぞれ5.0ポイント以上増加しています。

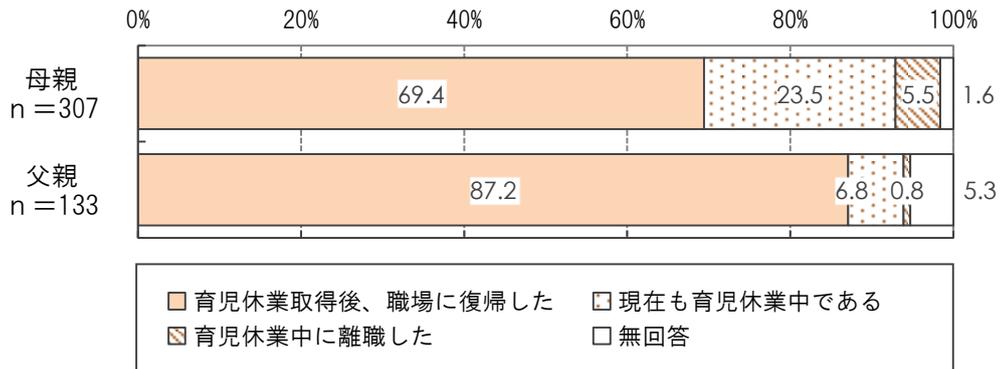
<育児休業を取得していない理由>



11-3 11-2で「取得した（取得中である）」と回答した方のみ
 育児休業取得後の職場復帰の状況（単数回答）

【就学前：問31-1】

育児休業取得後の職場復帰の状況については、母親において「育児休業取得後、職場に復帰した」が69.4%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が23.5%、「育児休業中に離職した」が5.5%となっています。父親においては「育児休業取得後、職場に復帰した」が87.2%を占めています。



11-4 11-3で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

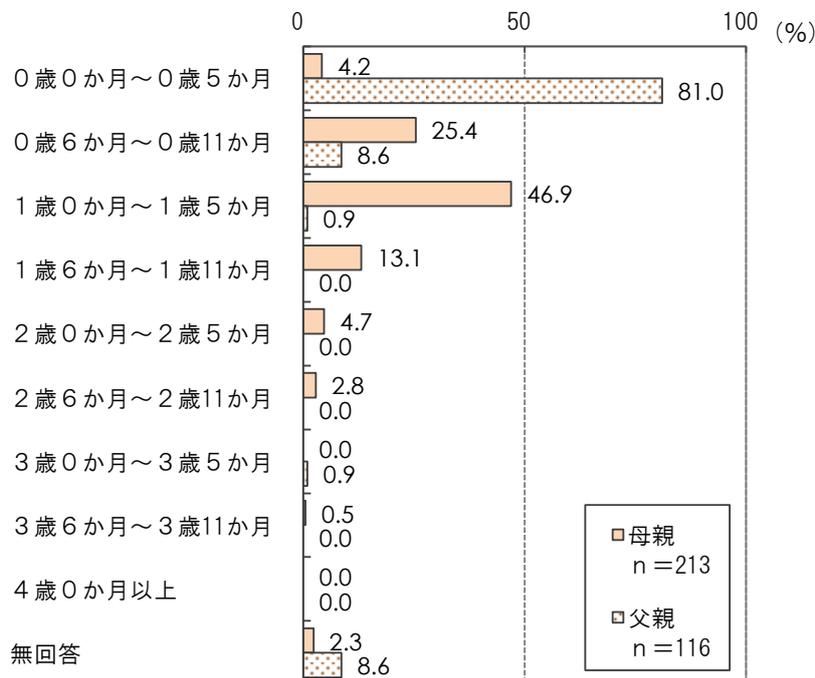
職場復帰をした時の子どもの年齢・月齢と、希望していた復帰時期の子どもの年齢・月齢

【就学前：問31-2】

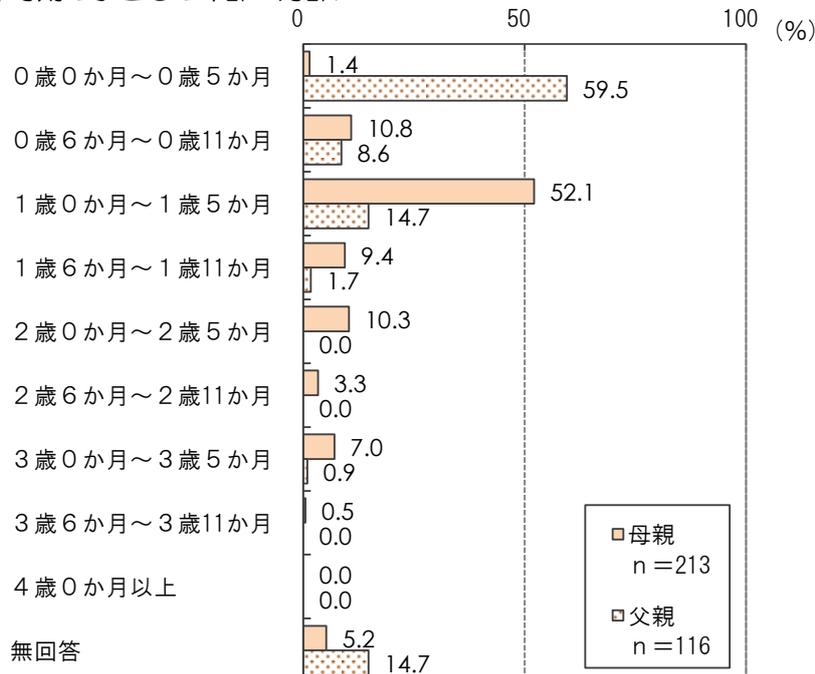
職場復帰をした時の子どもの年齢・月齢については、母親において「1歳0か月～1歳5か月」が46.9%と最も多く、次いで「0歳6か月～0歳11か月」が25.4%、「1歳6か月～1歳11か月」が13.1%などとなっています。父親においては、「0歳0か月～0歳5か月」が81.0%と最も多く、次いで「0歳6か月～0歳11か月」が8.6%などとなっています。

希望していた職場復帰の時期の子どもの年齢・月齢については、母親において「1歳0か月～1歳5か月」が52.1%と最も多く、次いで「0歳6か月～0歳11か月」が10.8%、「2歳0か月～2歳5か月」が10.3%などとなっています。父親においては、「0歳0か月～0歳5か月」が59.5%と最も多く、次いで「1歳0か月～1歳5か月」が14.7%、「0歳6か月～0歳11か月」が8.6%などとなっています。

<実際に職場復帰した時の子どもの年齢・月齢>

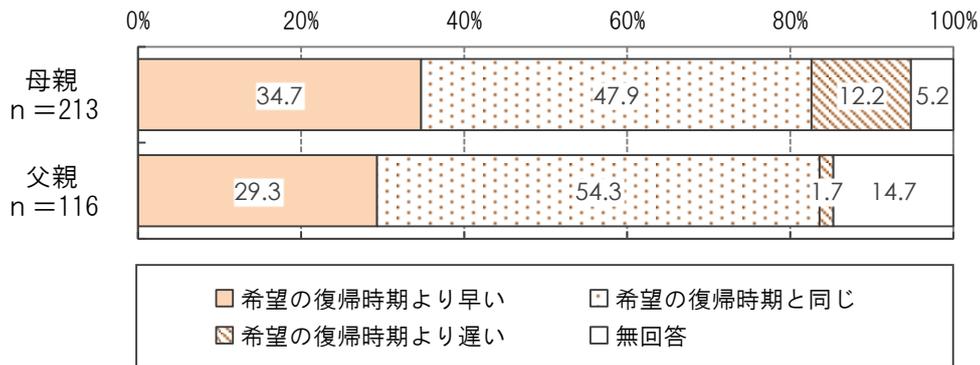


<希望していた復帰時期の子どもの年齢・月齢>



実際の職場復帰時期・希望していた職場復帰時期の比較については、母親において「希望の復帰時期と同じ」が47.9%と最も多く、次いで「希望の復帰時期より早い」が34.7%、「希望の復帰時期より遅い」が12.2%となっています。父親においても「希望の復帰時期と同じ」が54.3%と最も多く、次いで「希望の復帰時期より早い」が29.3%、「希望の復帰時期より遅い」が1.7%となっています。

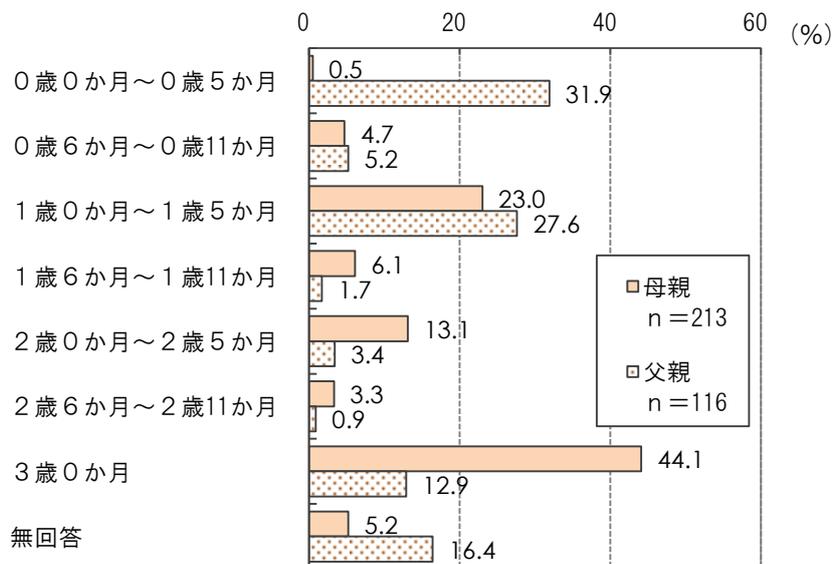
<職場復帰時期の比較>



11-5 11-3で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ
3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望取得期間

【就学前：問31-3】

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望取得期間については、母親において「3歳0か月」が44.1%と最も多く、次いで「1歳0か月～1歳5か月」が23.0%、「2歳0か月～2歳5か月」が13.1%などとなっています。父親においては、「0歳0か月～0歳5か月」が31.9%と最も多く、次いで「1歳0か月～1歳5か月」が27.6%、「3歳0か月」が12.9%などとなっています。



11-6 11-4で実際の復帰と希望が異なる方のみ

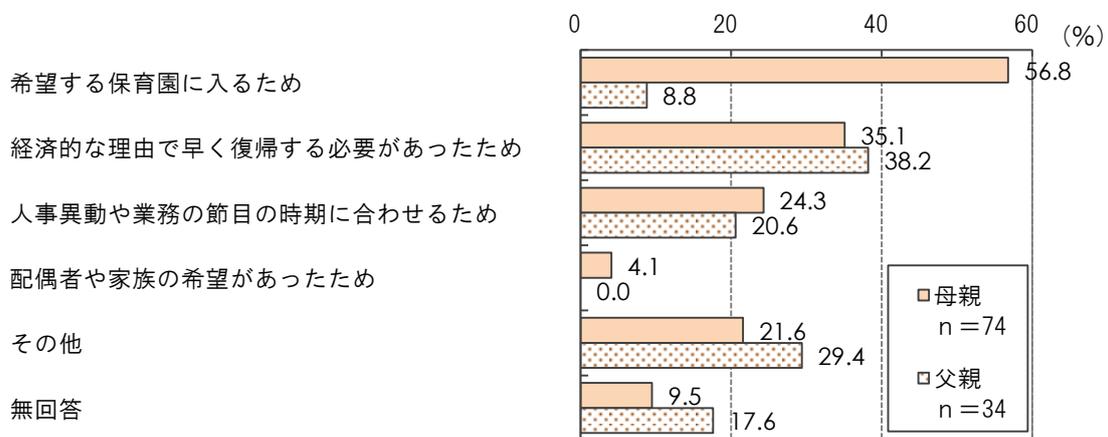
希望の時期に職場復帰しなかった理由（複数回答可）

【就学前：問31-5】

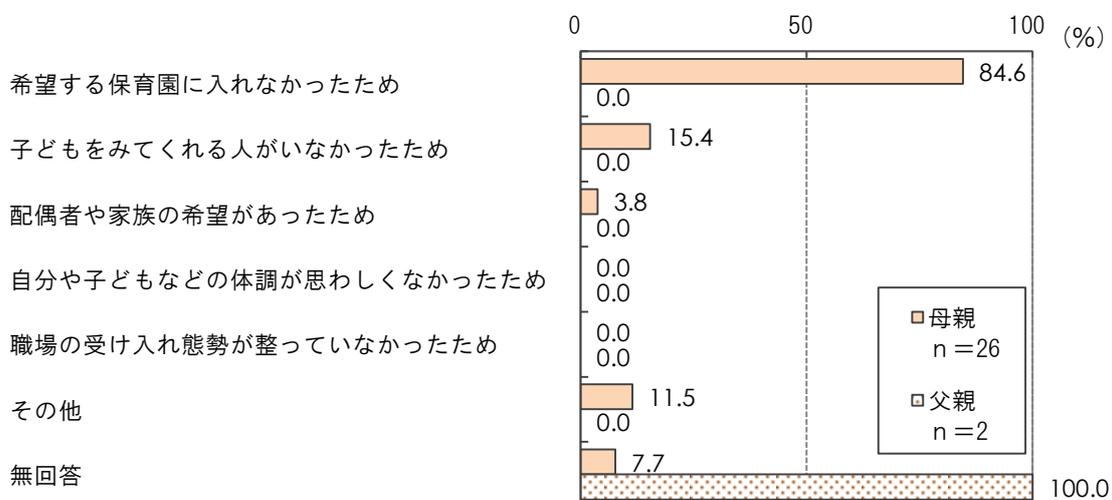
希望の時期より早く職場復帰した理由については、母親において「希望する保育園に入るため」が56.8%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が35.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が24.3%などとなっています。父親においては「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が38.2%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が20.6%、「希望する保育園に入るため」が8.8%などとなっています。

希望の時期より遅く職場復帰した理由については、母親において「希望する保育園に入れなかったため」が84.6%と最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が15.4%、「配偶者や家族の希望があったため」が3.8%などとなっています。

<希望より早く職場復帰した理由>



<希望より遅く職場復帰した理由>



11-7 11-3で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

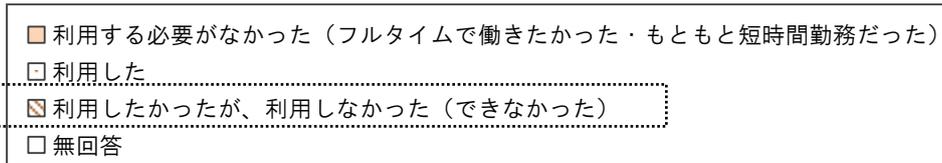
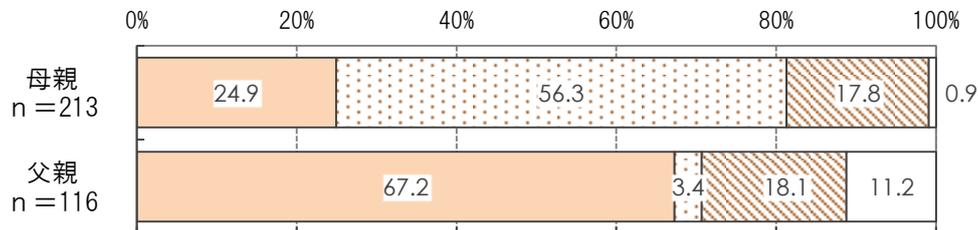
職場復帰後の短時間勤務制度の利用状況（単数回答）

及び、短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由（複数回答可）

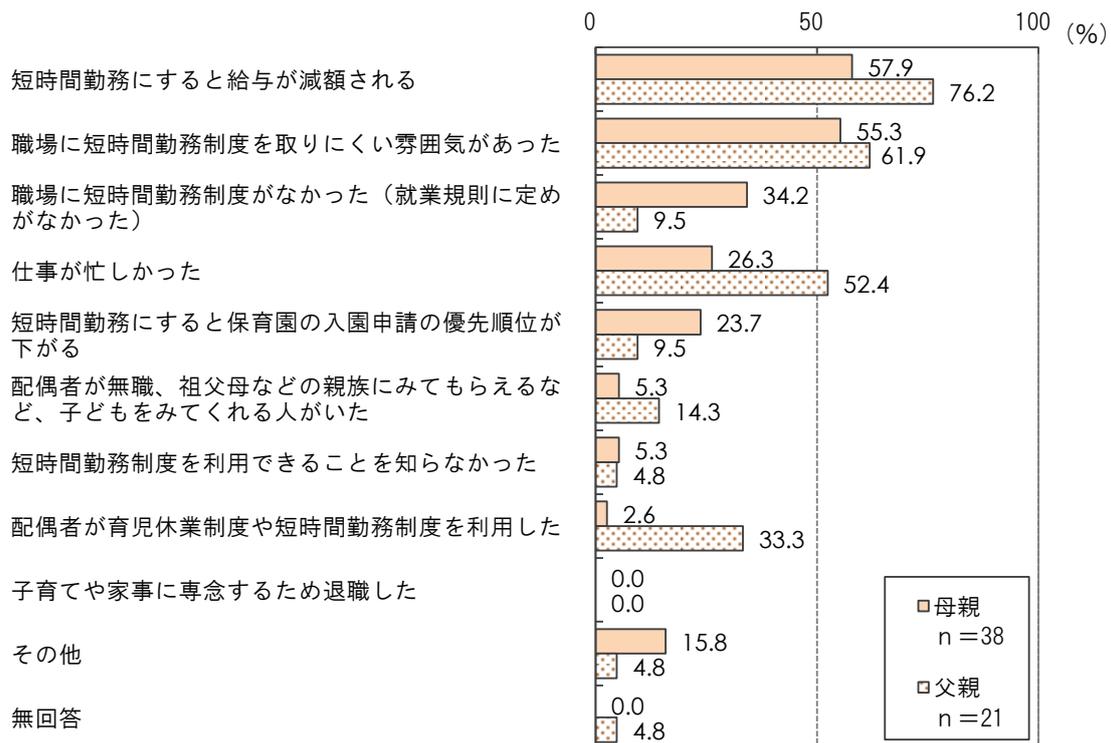
【就学前：問31-4・問31-6】

職場復帰後の短時間勤務制度の利用状況については、母親において「利用した」が56.3%と最も多く、次いで「利用する必要がなかった」が24.9%、「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」が17.8%となっています。父親においては、「利用する必要がなかった」が67.2%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」が18.1%、「利用した」が3.4%となっています。

短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由については、母親において「短時間勤務にすると給与が減額される」が57.9%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が55.3%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が34.2%などとなっています。父親においては、「短時間勤務にすると給与が減額される」が76.2%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が61.9%、「仕事が忙しかった」が52.4%などとなっています。



<短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由>



12. 裾野市の子育てに関する一般的な事項について

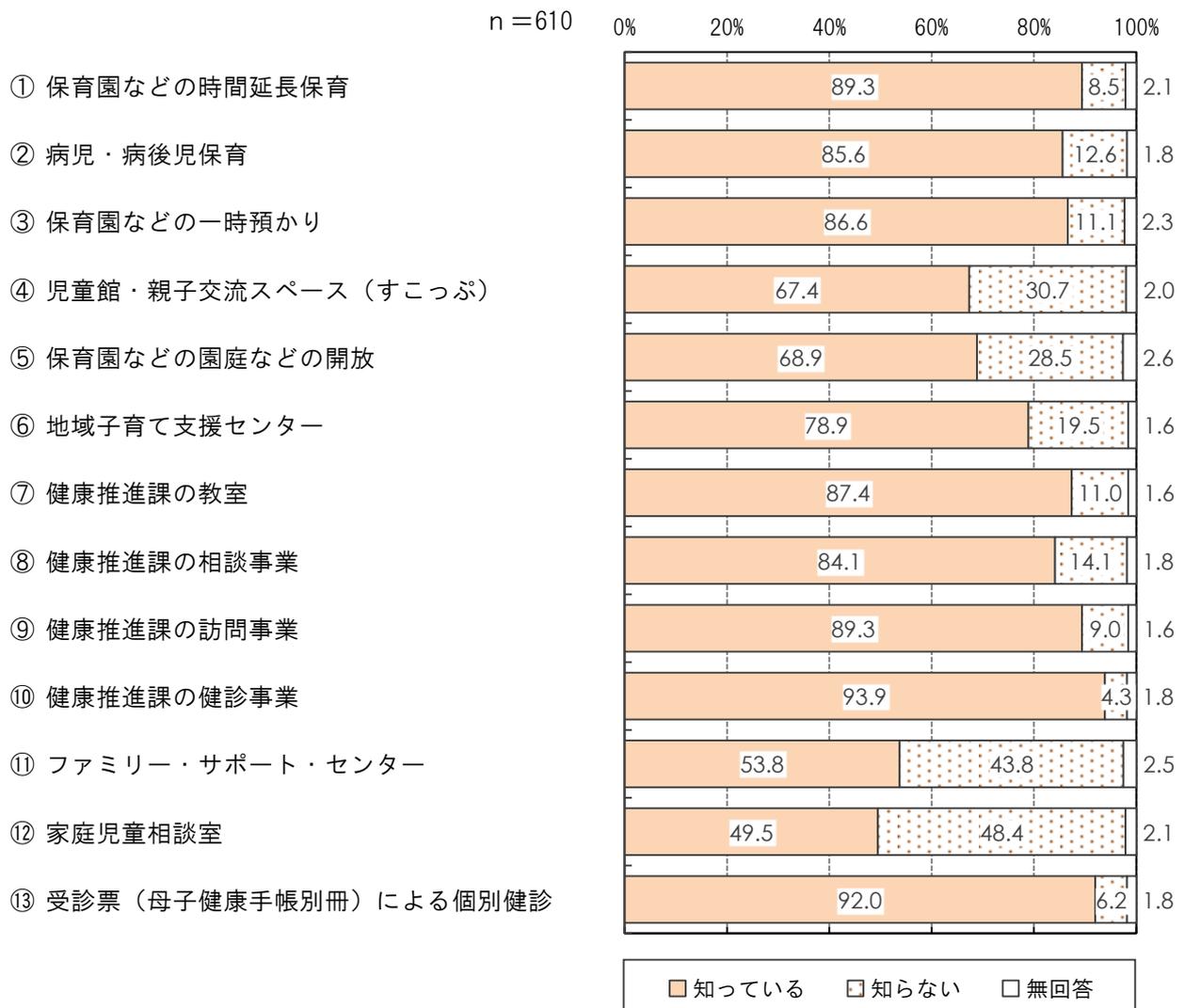
12-1 裾野市で実施している事業の認知度、利用経験及び満足度、今後の利用意向（単数回答）

【就学前：問 32、小学生：問 20】

（１）認知度

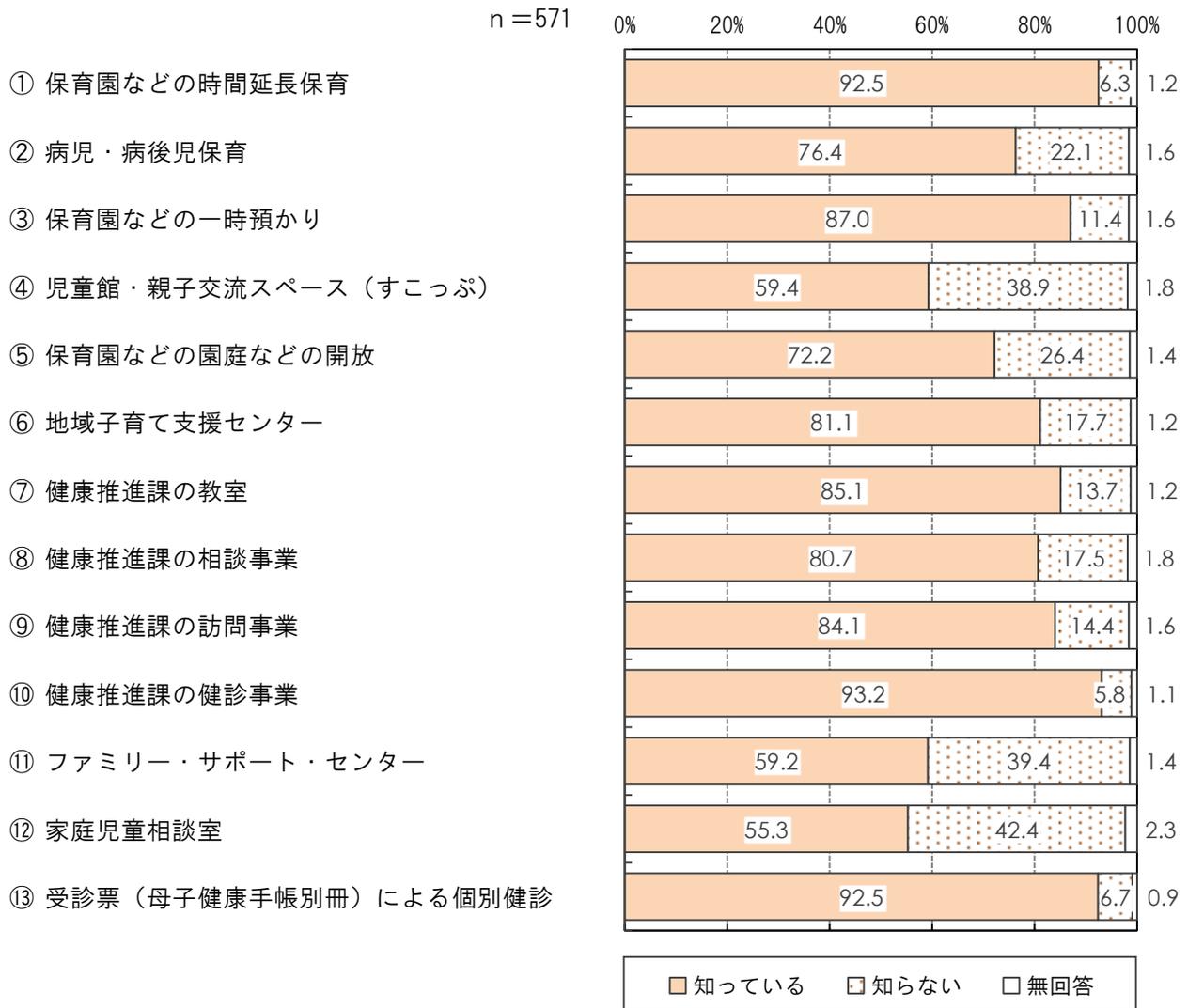
裾野市で実施している事業の認知度については、就学前児童において「知っている」が多いものの上位3項目は、【⑩健康推進課の健診事業】が93.9%、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が92.0%、【①保育園などの時間延長保育】、【⑨健康推進課の訪問事業】がともに89.3%の順となっています。一方、「知っている」が少ないものは、【⑫家庭児童相談室】が49.5%、【⑪ファミリー・サポート・センター】が53.8%、【④児童館・親子交流スペース（すこっぷ）】が67.4%の順となっています。

<就学前児童>



小学生において「知っている」が多いものの上位3項目は、【⑩健康推進課の健診事業】が93.2%、【①保育園などの時間延長保育】、【⑬受診票(母子健康手帳別冊)による個別健診】がともに92.5%、【③保育園などの一時預かり】が87.0%の順となっています。一方、「知っている」が少ないものは、【⑫家庭児童相談室】が55.3%、【⑪ファミリー・サポート・センター】が59.2%、【④児童館・親子交流スペース(すこっぷ)】が59.4%の順となっています。

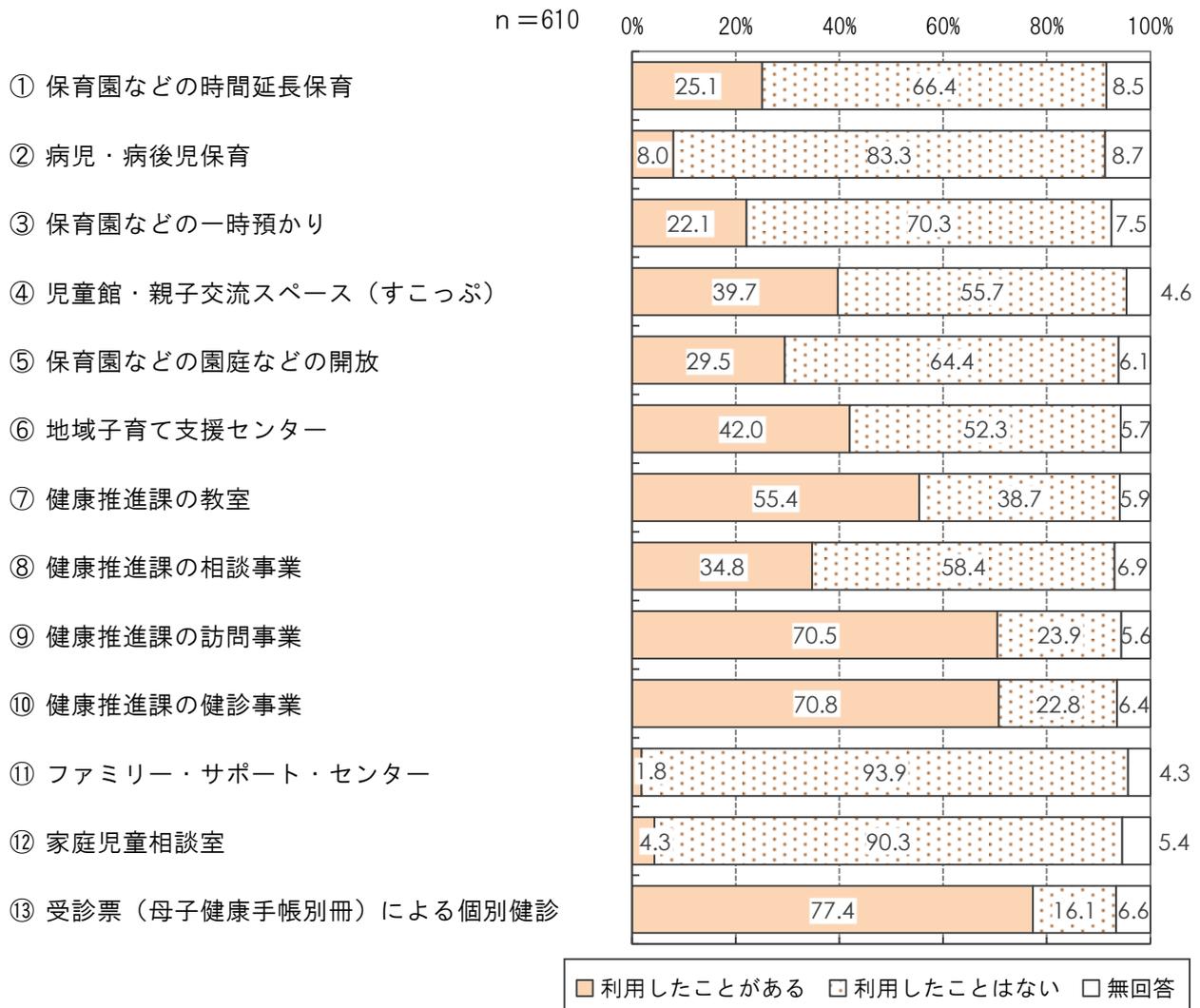
<小学生>



12-1 (2) 利用経験

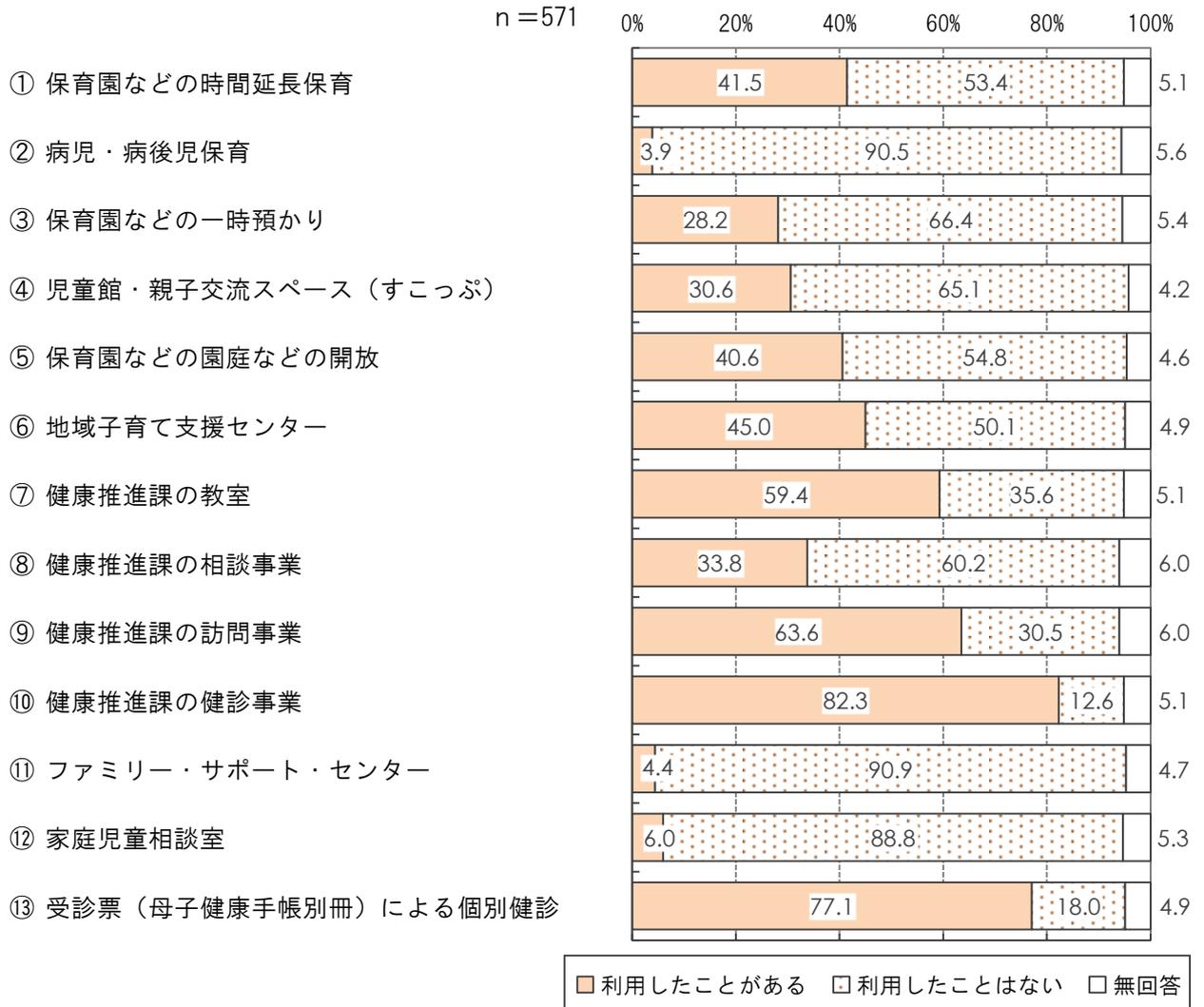
利用経験については、就学前児童において「利用したことがある」が多いものの上位3項目は、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が77.4%、【⑩健康推進課の健診事業】が70.8%、【⑨健康推進課の訪問事業】が70.5%の順となっています。一方、「利用したことがある」が少ないものは、【⑪ファミリー・サポート・センター】が1.8%、【⑫家庭児童相談室】が4.3%、【②病児・病後児保育】が8.0%の順となっています。

<就学前児童>



小学生において「利用したことがある」が多いものの上位3項目は、【⑩健康推進課の健診事業】が82.3%、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が77.1%、【⑨健康推進課の訪問事業】が63.6%の順となっています。一方、「利用したことがある」が少ないものは、【②病児・病後児保育】が3.9%、【⑪ファミリー・サポート・センター】が4.4%、【⑫家庭児童相談室】が6.0%の順となっています。

<小学生>

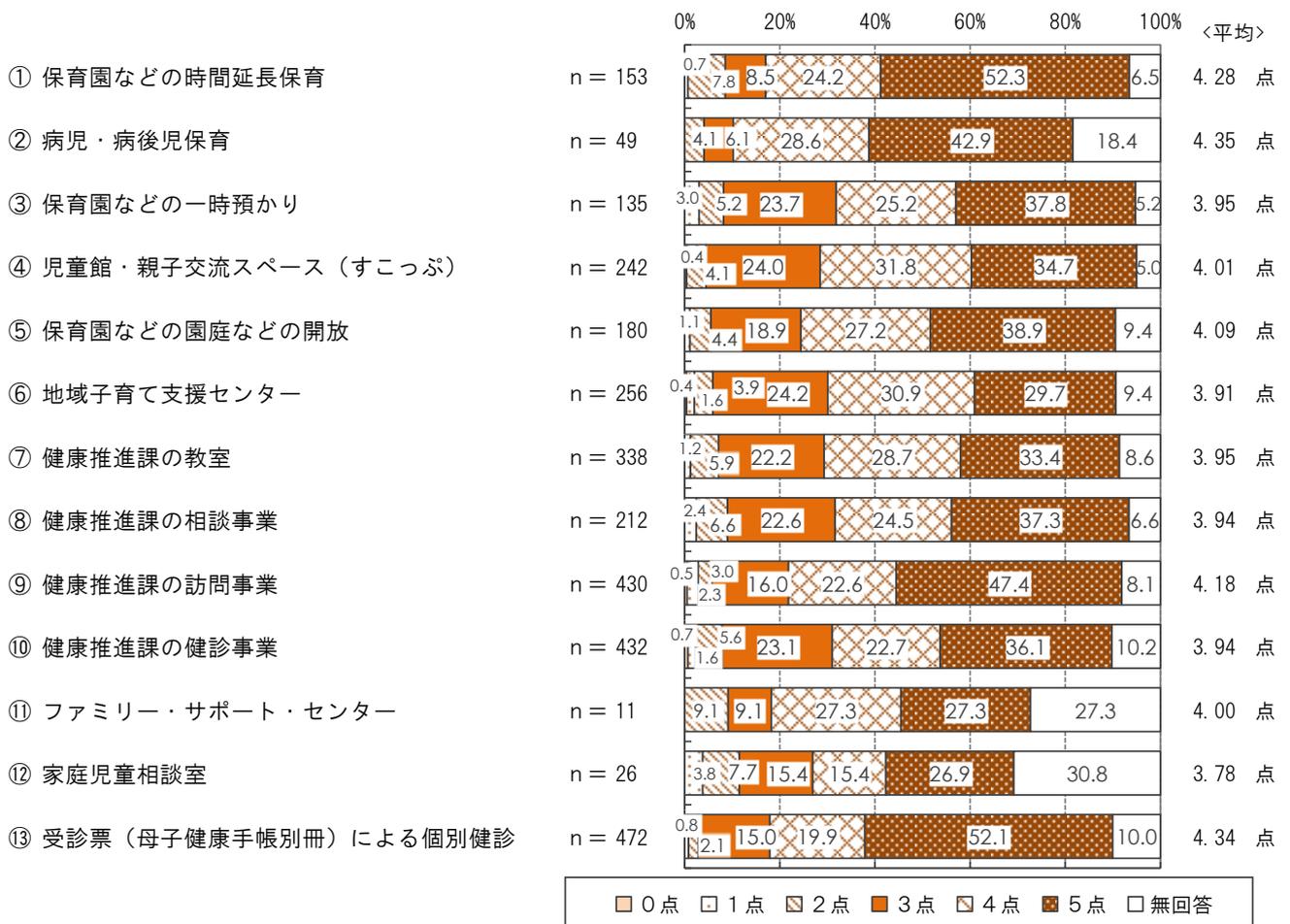


12-1 (2) で「利用したことがある」と回答した方のみ

12-1 (3) 利用した事業の満足度

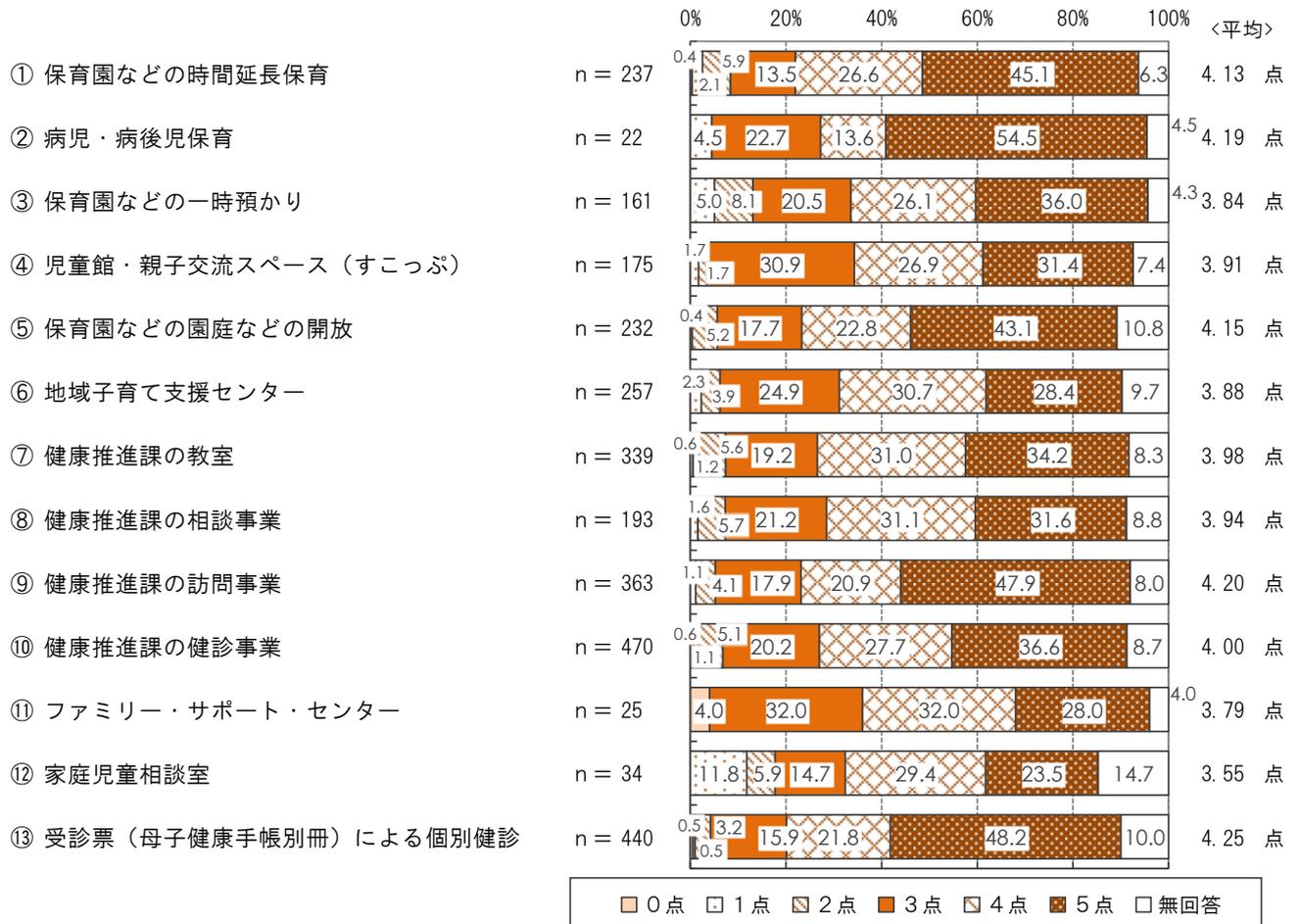
利用した事業の満足度については、就学前児童において平均点が高いものの上位3項目は、【②病児・病後児保育】が4.35点、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が4.34点、【①保育園などの時間延長保育】が4.28点の順となっています。一方、平均点が低いものは、【⑫家庭児童相談室】が3.78点、【⑥地域子育て支援センター】が3.91点、【⑧健康推進課の相談事業】、【⑩健康推進課の健診事業】がともに3.94点の順となっています。

<就学前児童>



小学生において平均点が高いものの上位3項目は、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】が4.25点、【⑨健康推進課の訪問事業】が4.20点、【②病児・病後児保育】が4.19点の順となっています。一方、平均点が低いものは、【⑫家庭児童相談室】が3.55点、【⑪ファミリー・サポート・センター】が3.79点、【③保育園などの一時預かり】が3.84点の順となっています。

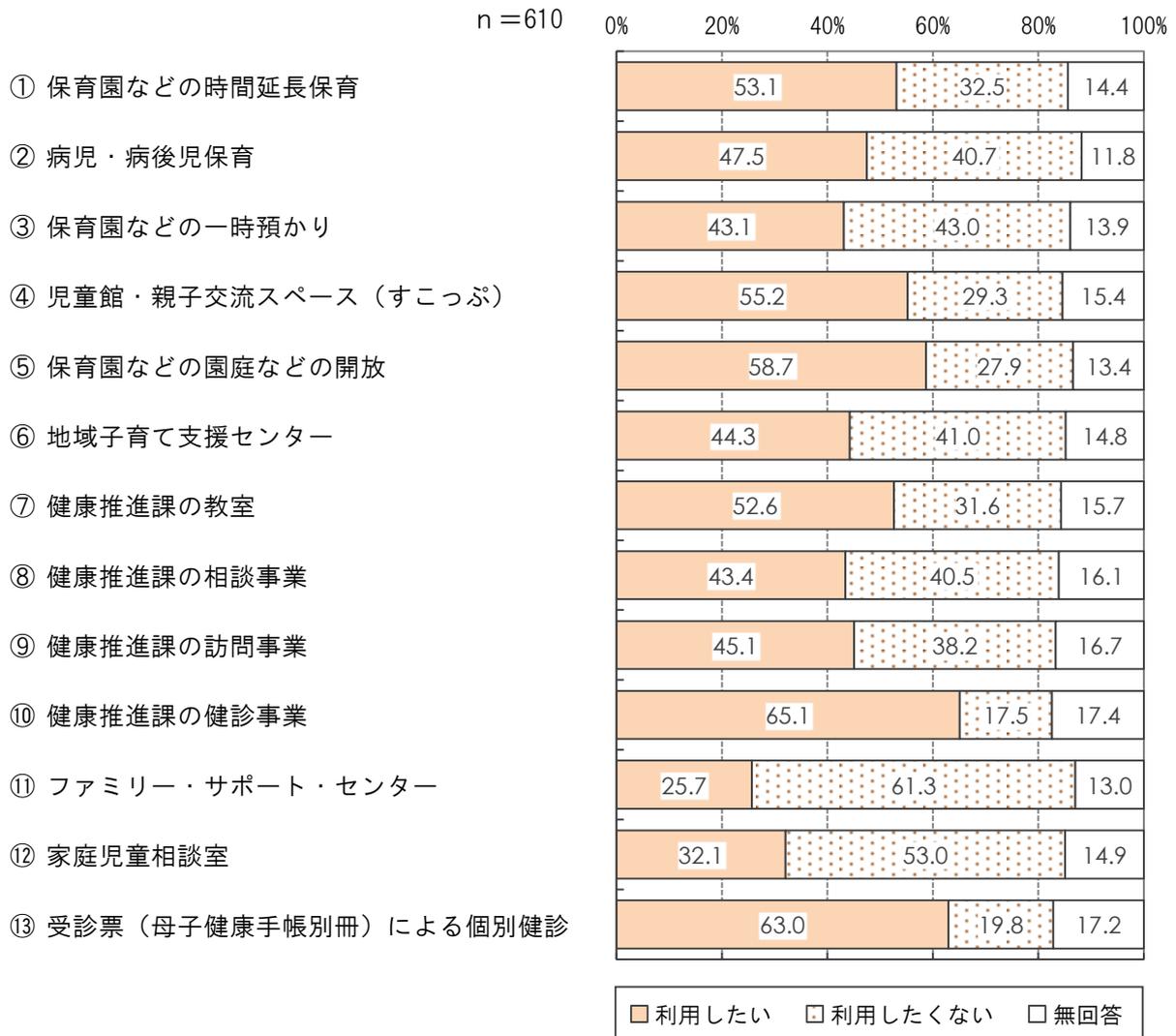
<小学生>



12-1 (4) 今後の利用意向

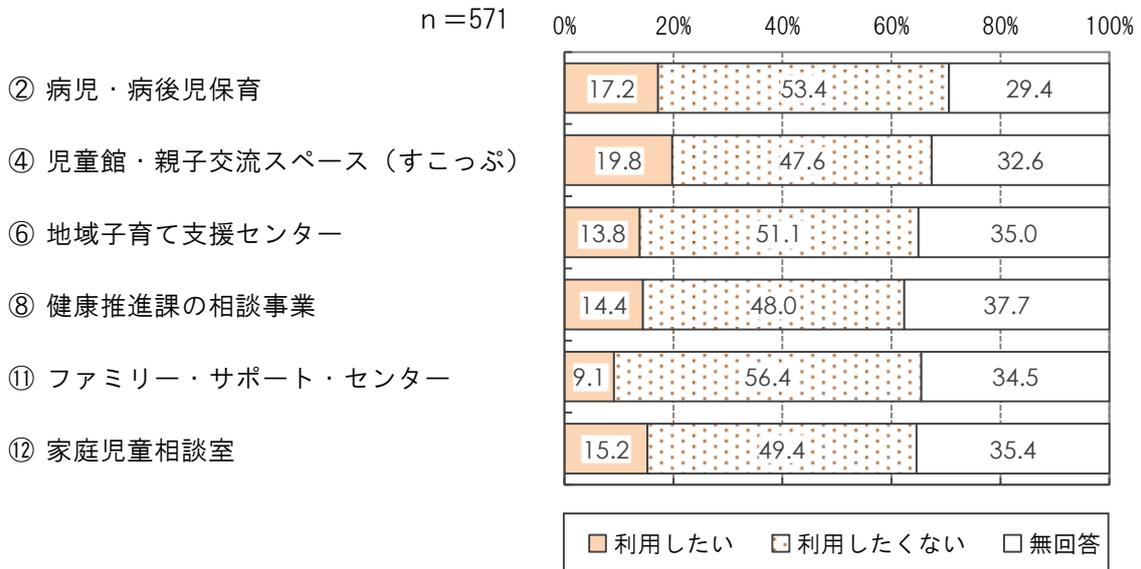
今後の利用意向については、就学前児童において「利用したい」が多いものの上位3項目は、【⑩健康推進課の健診事業】が65.1%、【⑬受診票（母子健康手帳別冊）による個別健診】63.0%、【⑤保育園などの園庭などの開放】が58.7%の順となっています。一方、「利用したい」が少ないものは、【⑪ファミリー・サポート・センター】が25.7%、【⑫家庭児童相談室】が32.1%、【③保育園などの一時預かり】が43.1%の順となっています。

<就学前児童>



小学生において「利用したい」が多いものの上位3項目は、【④児童館・親子交流スペース（すこっぷ）】が19.8%、【②病児・病後児保育】が17.2%、【⑫家庭児童相談室】が15.2%の順となっています。

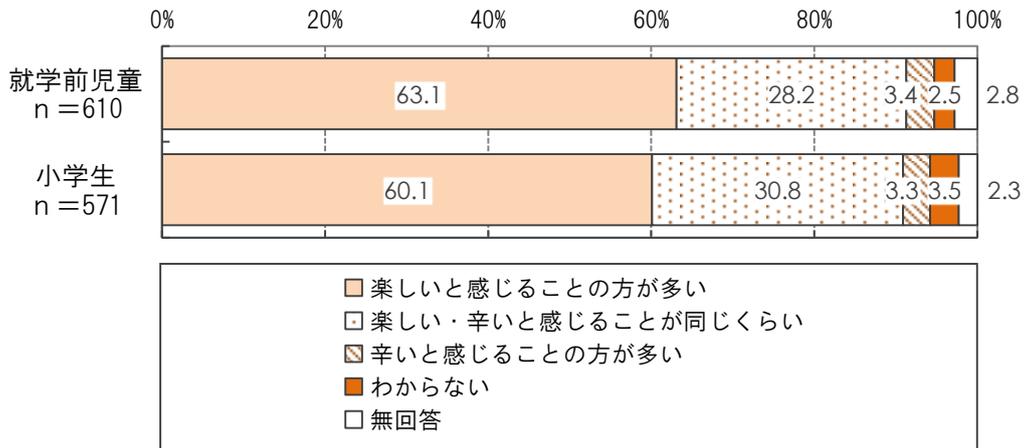
<小学生>



12-2 裾野市での子育ては楽しいか（単数回答）

【就学前：問 33、小学生：問 21】

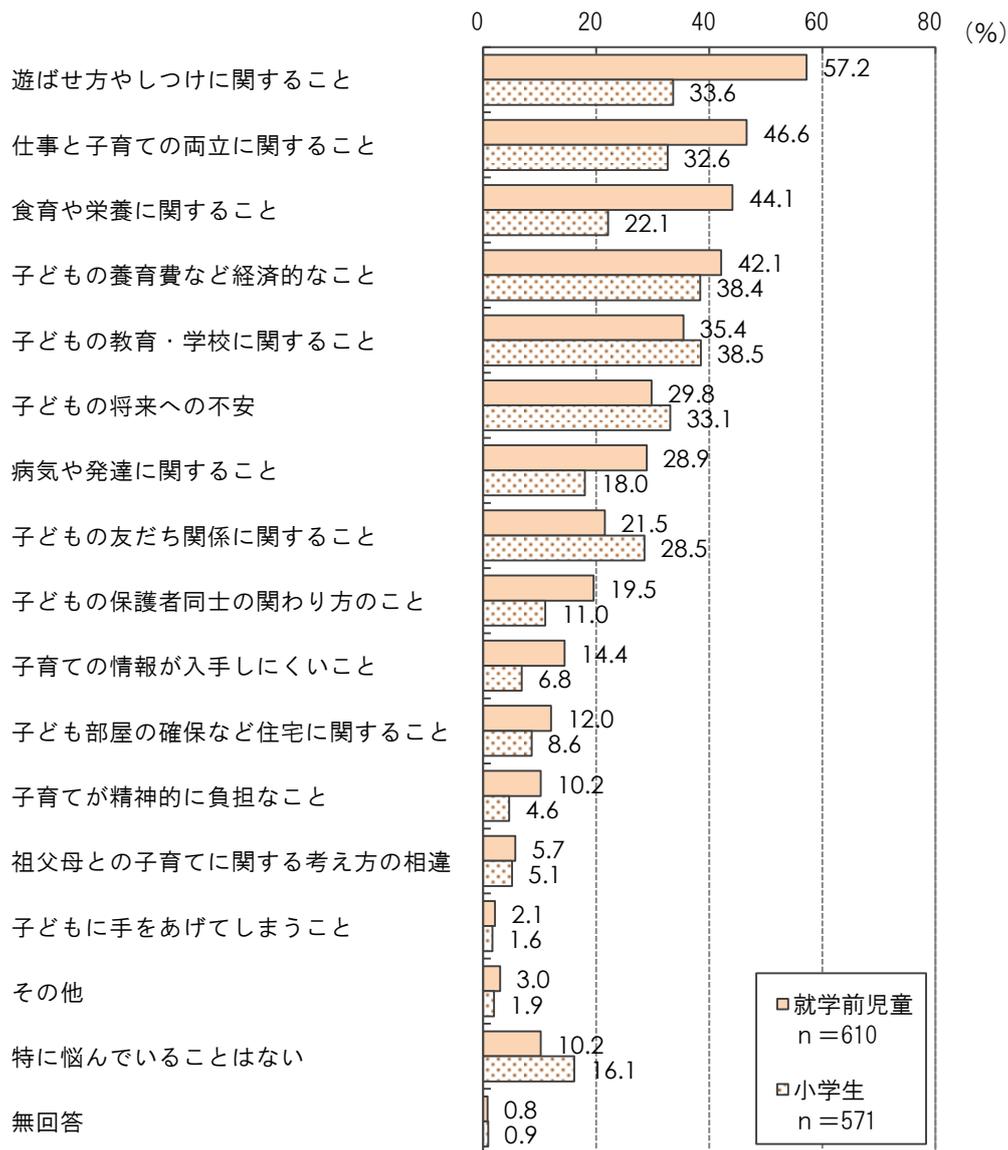
裾野市での子育てが楽しいかについては、就学前児童において「楽しいと感じることの方が多い」が63.1%と最も多く、次いで「楽しい・辛いと感じることが同じくらい」が28.2%、「辛いと感じることの方が多い」が3.4%などとなっています。小学生においても「楽しいと感じることの方が多い」が60.1%と最も多く、次いで「楽しい・辛いと感じることが同じくらい」が30.8%、「辛いと感じることの方が多い」が3.3%などとなっています。



12-3 子育てにおいて悩んでいること（複数回答可）

【就学前：問 34、小学生：問 22】

子育てにおいて悩んでいることについては、就学前児童において「遊ばせ方やしつけに関すること」が 57.2%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立に関すること」が 46.6%、「食育や栄養に関すること」が 44.1%などとなっています。小学生においては「子どもの教育・学校に関すること」が 38.5%と最も多く、次いで「子どもの養育費など経済的なこと」が 38.4%、「遊ばせ方やしつけに関すること」が 33.6%などとなっています。



12-4 裾野市は子育てしやすいまちだと思うか（単数回答）

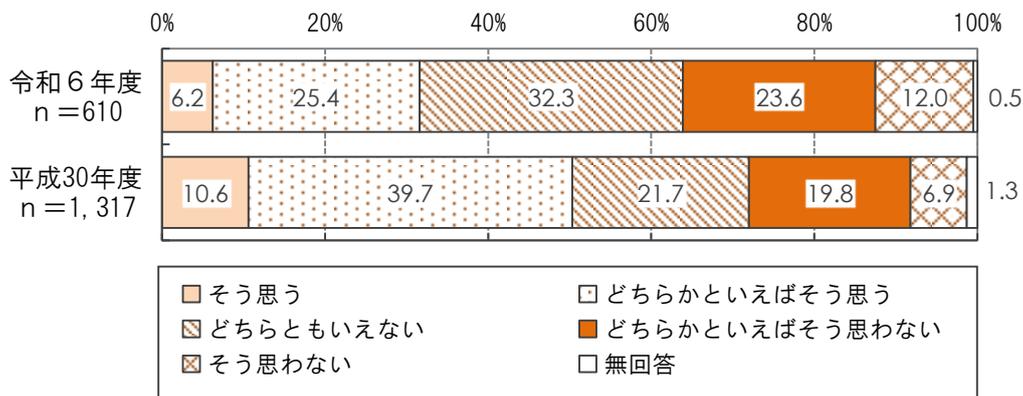
【就学前：問 35、小学生：問 23】

裾野市は子育てしやすいまちだと思うかについては、就学前児童において「どちらともいえない」が 32.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.4%、「どちらかといえばそう思わない」が 23.6%などとなっています。また、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は 31.6%、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）は 35.6%となります。

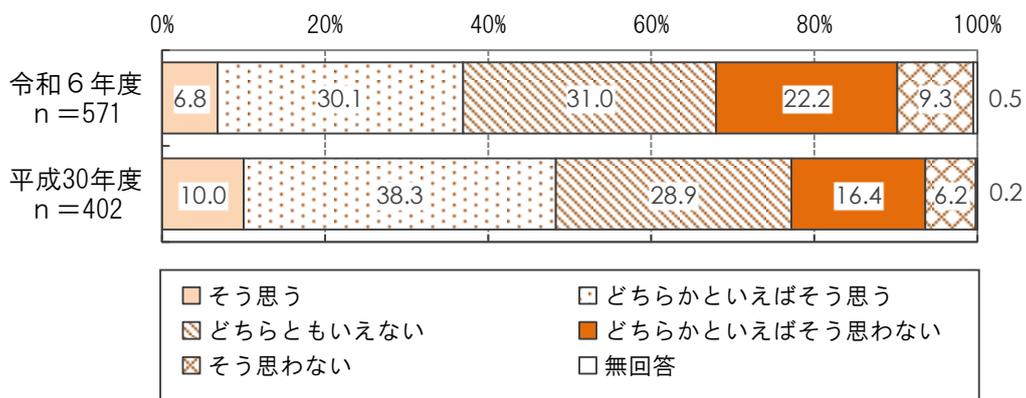
小学生においては「どちらともいえない」が 31.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.1%、「どちらかといえばそう思わない」が 22.2%などとなっています。また、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）は 37.0%、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）は 31.5%となります。

平成 30 年度調査と比較すると、就学前児童において『そう思う』が 18.7 ポイント、小学生においても『そう思う』が 11.3 ポイント減少しています。

<就学前児童>



<小学生>



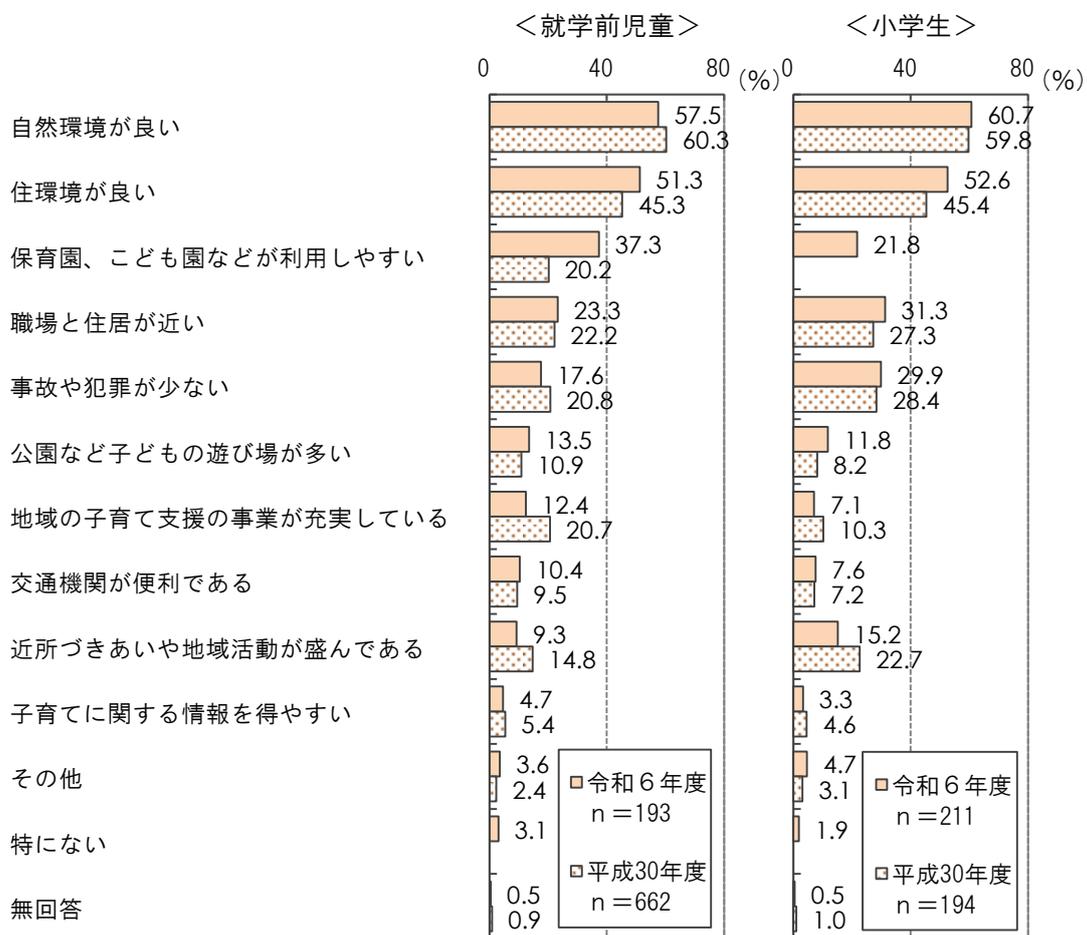
12-5 12-4で『そう思う』と回答した方のみ

子育てしやすいまちだと思ふ理由（複数回答可）

【就学前：問 36、小学生：問 24】

子育てしやすいまちだと思ふ理由については、就学前児童において「自然環境が良い」が57.5%と最も多く、次いで「住環境が良い」が51.3%、「保育園、こども園などが利用しやすい」が37.3%などとなっています。小学生においては「自然環境が良い」が60.7%と最も多く、次いで「住環境が良い」が52.6%、「職場と住居が近い」が31.3%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童において「保育園、こども園などが利用しやすい」「住環境が良い」が5.0ポイント以上増加、「地域の子育て支援の事業が充実している」「近所づきあいや地域活動が盛んである」が5.0ポイント以上減少しています。小学生においては「住環境が良い」が7.2ポイント増加、「近所づきあいや地域活動が盛んである」が7.5ポイント減少しています。



【平成30年度調査における各選択肢について】

※就学前児童・小学生について、「特になし」は選択肢として設けられていなかった。

※小学生について、「保育園、こども園などが利用しやすい」は選択肢として設けられていなかった。

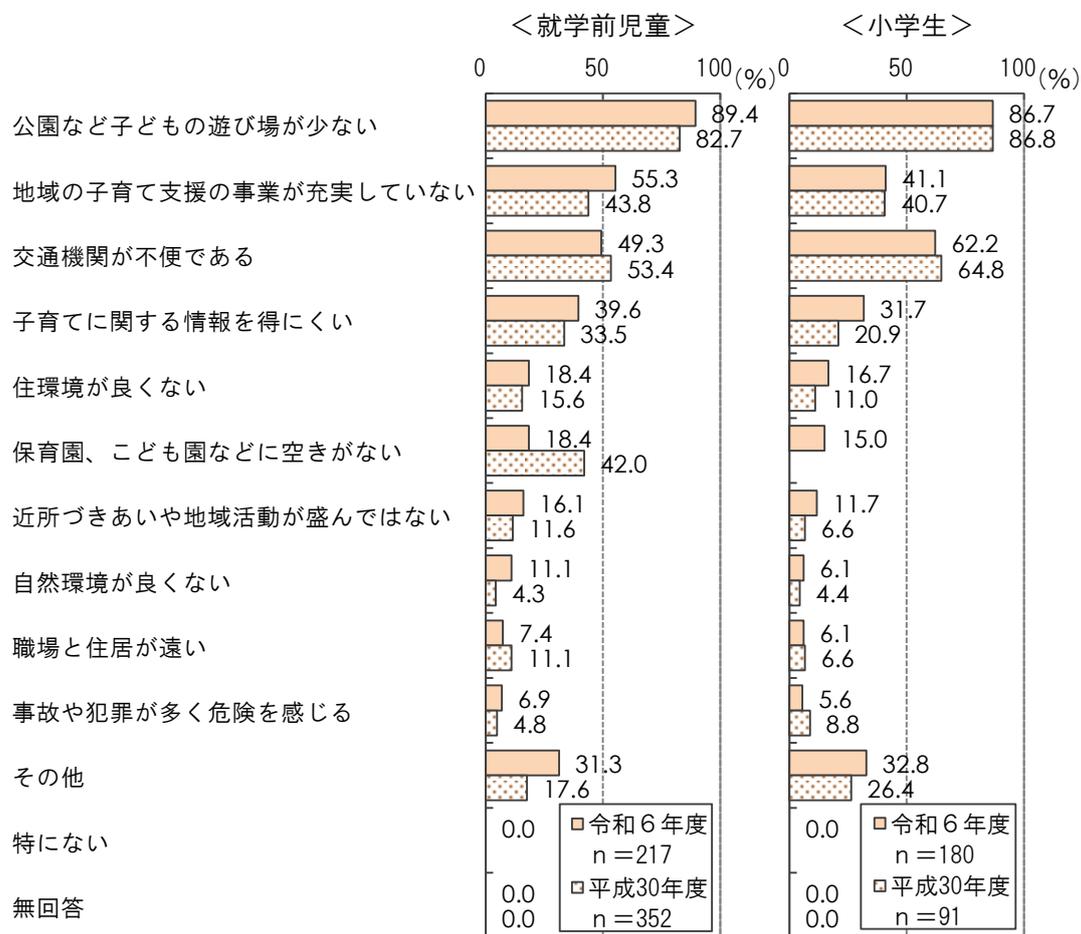
12-6 12-4で『そう思わない』と回答した方のみ

子育てしやすいまちだと思わない理由（複数回答可）

【就学前：問 37、小学生：問 25】

子育てしやすいまちだと思わない理由については、就学前児童において「公園など子どもの遊び場が少ない」が89.4%と最も多く、次いで「地域の子育て支援の事業が充実していない」が55.3%、「交通機関が不便である」が49.3%などとなっています。小学生においては「公園など子どもの遊び場が少ない」が86.7%と最も多く、次いで「交通機関が不便である」が62.2%、「地域の子育て支援の事業が充実していない」が41.1%などとなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、就学前児童において「地域の子育て支援の事業が充実していない」「自然環境が良くない」「公園など子どもの遊び場が少ない」などが 5.0 ポイント以上増加し、「保育園、こども園などに空きがない」が 23.6 ポイント減少しています。小学生においては「子育てに関する情報を得にくい」「住環境が良くない」「近所づきあいや地域活動が盛んではない」が 5.0 ポイント以上増加しています。



【平成 30 年度調査における各選択肢について】

※就学前児童・小学生について、「特になし」は選択肢として設けられていなかった。

※小学生について、「保育園、こども園などに空きがない」は選択肢として設けられていなかった。

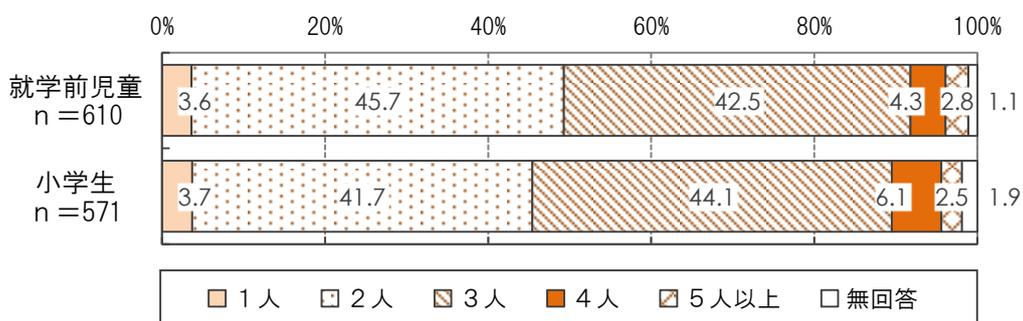
12-7 理想の子ども的人数と現実的に子育て可能な子ども的人数

【就学前：問 38、小学生：問 26】

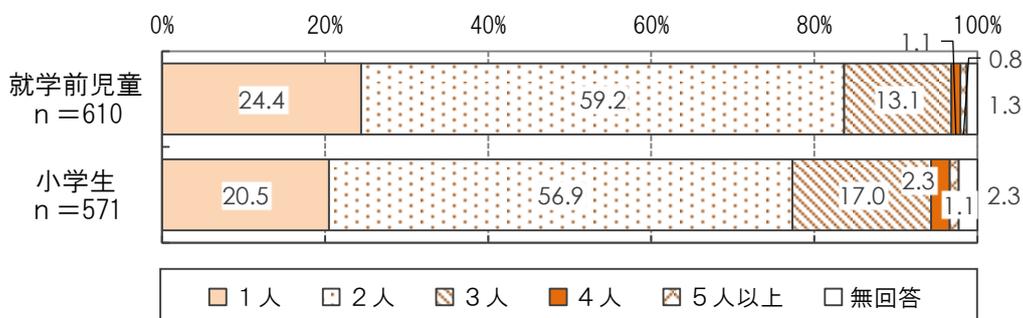
理想の子ども的人数については、就学前児童において「2人」が45.7%と最も多く、次いで「3人」が42.5%、「4人」が4.3%などとなっています。小学生においては「3人」が44.1%と最も多く、次いで「2人」が41.7%、「4人」が6.1%などとなっています。

現実的に子育て可能な子ども的人数については、就学前児童において「2人」が59.2%と最も多く、次いで「1人」が24.4%、「3人」が13.1%などとなっています。小学生においても「2人」が56.9%と最も多く、次いで「1人」が20.5%、「3人」が17.0%などとなっています。

<理想の子ども的人数>



<現実的に子育て可能な子ども的人数>

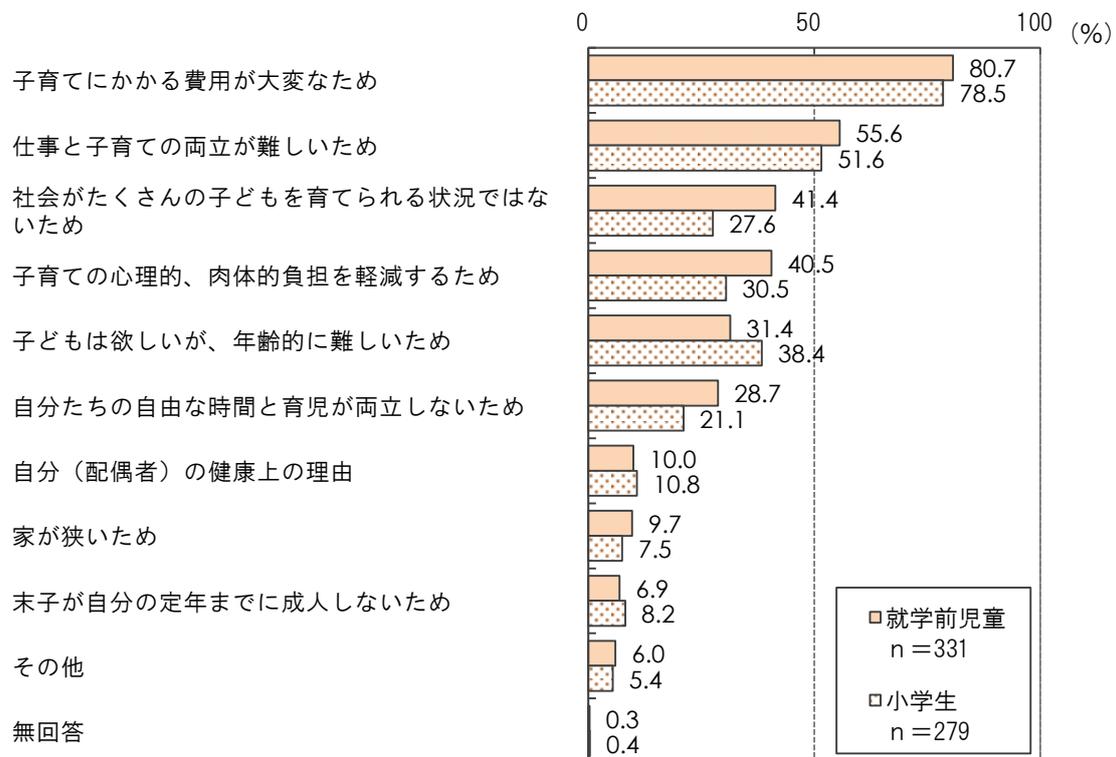


12-8 12-7で理想の子ども的人数よりも現実的に子育て可能な子ども的人数が少ないと回答した方のみ

理想の子ども的人数よりも、現実的に子育て可能な子ども的人数が少ない理由（複数回答可）

【就学前：問 38-1、小学生：問 26-1】

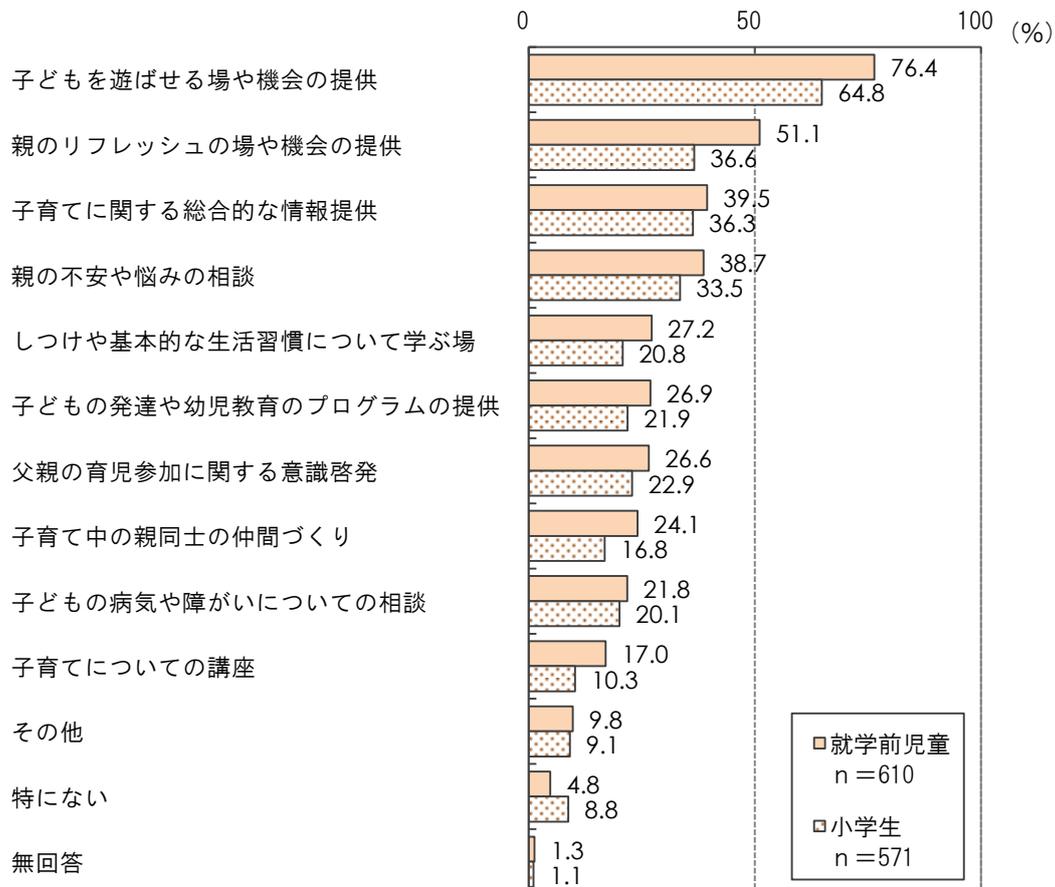
理想の子ども的人数よりも、現実的に子育て可能な子ども的人数が少ない理由については、就学前児童において「子育てにかかる費用が大変なため」が80.7%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいため」が55.6%、「社会がたくさんの子どもを育てられる状況ではないため」が41.4%などとなっています。小学生においては「子育てにかかる費用が大変なため」が78.5%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいため」が51.6%、「子どもは欲しいが、年齢的に難しいため」が38.4%などとなっています。



12-9 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービス（複数回答可）

【就学前：問 39、小学生：問 27】

日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスについては、就学前児童において「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が76.4%と最も多く、次いで「親のリフレッシュの場や機会の提供」が51.1%、「子育てに関する総合的な情報提供」が39.5%などとなっています。小学生においても「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が64.8%と最も多く、次いで「親のリフレッシュの場や機会の提供」が36.6%、「子育てに関する総合的な情報提供」が36.3%などとなっています。



12-10 現在の子育て環境などを踏まえた裾野市の子育て支援施策に対する満足度・重要度(単数回答)

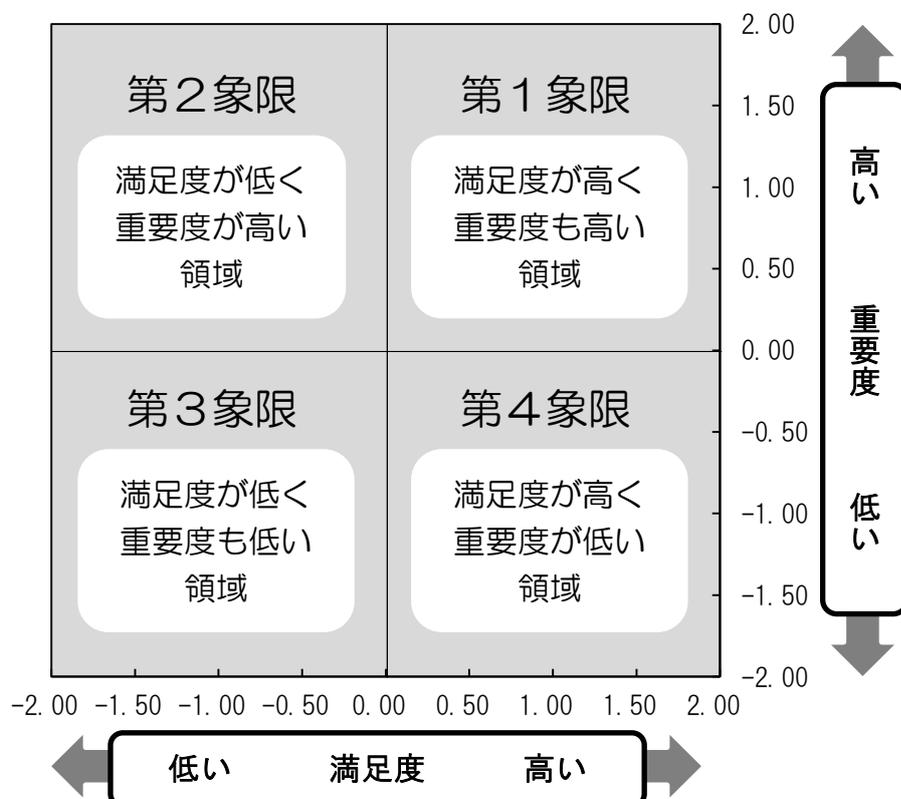
【就学前：問 40、小学生：問 28】

《満足度と重要度による評価点の算出方法》

「満足」、「重要」と回答した人を+2点、「まあ満足」、「まあ重要」と回答した人を+1点、「やや不満」、「あまり重要でない」と回答した人を-1点、「不満」、「重要でない」と回答した人を-2点として算出した値を、回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割って算出しています。評価点は、プラスの大きい項目は評価が高く、マイナスの大きいものは評価が低いことを表しています。

また、各取組について満足度・重要度の評価点を散布図にて表した場合、下記のように4つの象限に評価をみることができます。

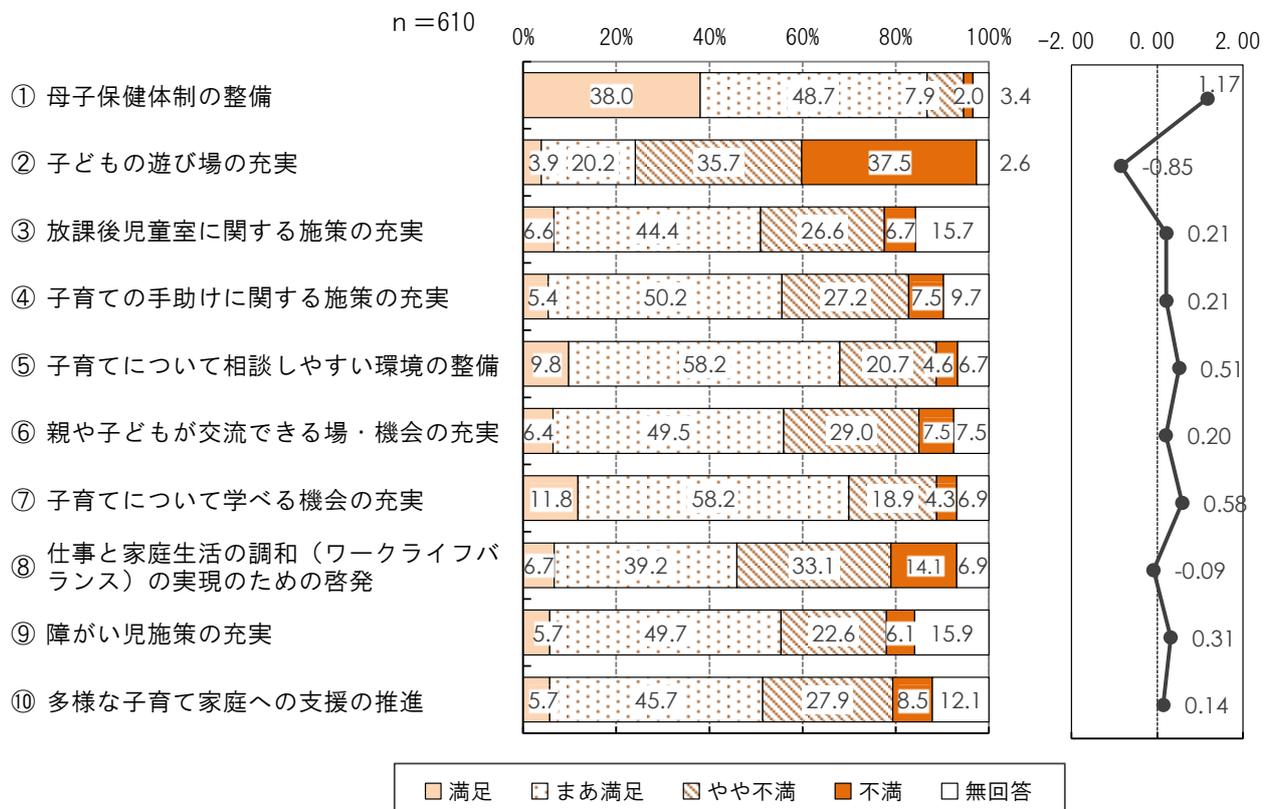
満足度	重要度	点数
「満足」	「重要」	+2点
「まあ満足」	「まあ重要」	+1点
「やや不満」	「あまり重要でない」	-1点
「不満」	「重要でない」	-2点
「無回答」	「無回答」	点数加算なし・回答者数にも含まない



裾野市の子育て支援施策について、満足度が最も高い項目は、就学前児童において【①母子保健体制の整備】で、『満足』（「満足」＋「まあ満足」）が86.7%、評価点が1.17点となっています。次に満足度が高いのは【⑦子育てについて学べる機会の充実】が70.0%（0.58点）、【⑤子育てについて相談しやすい環境の整備】が68.0%（0.51点）の順となっています。

満足度が最も低い項目は【②子どもの遊び場の充実】で、『不満』（「不満」＋「やや不満」）が73.3%、評価点が-0.85点となっています。次に満足度が低いのは【⑧仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）の実現のための啓発】が47.2%（-0.09点）、【⑩多様な子育て家庭への支援の推進】が36.4%（0.14点）の順となっています。

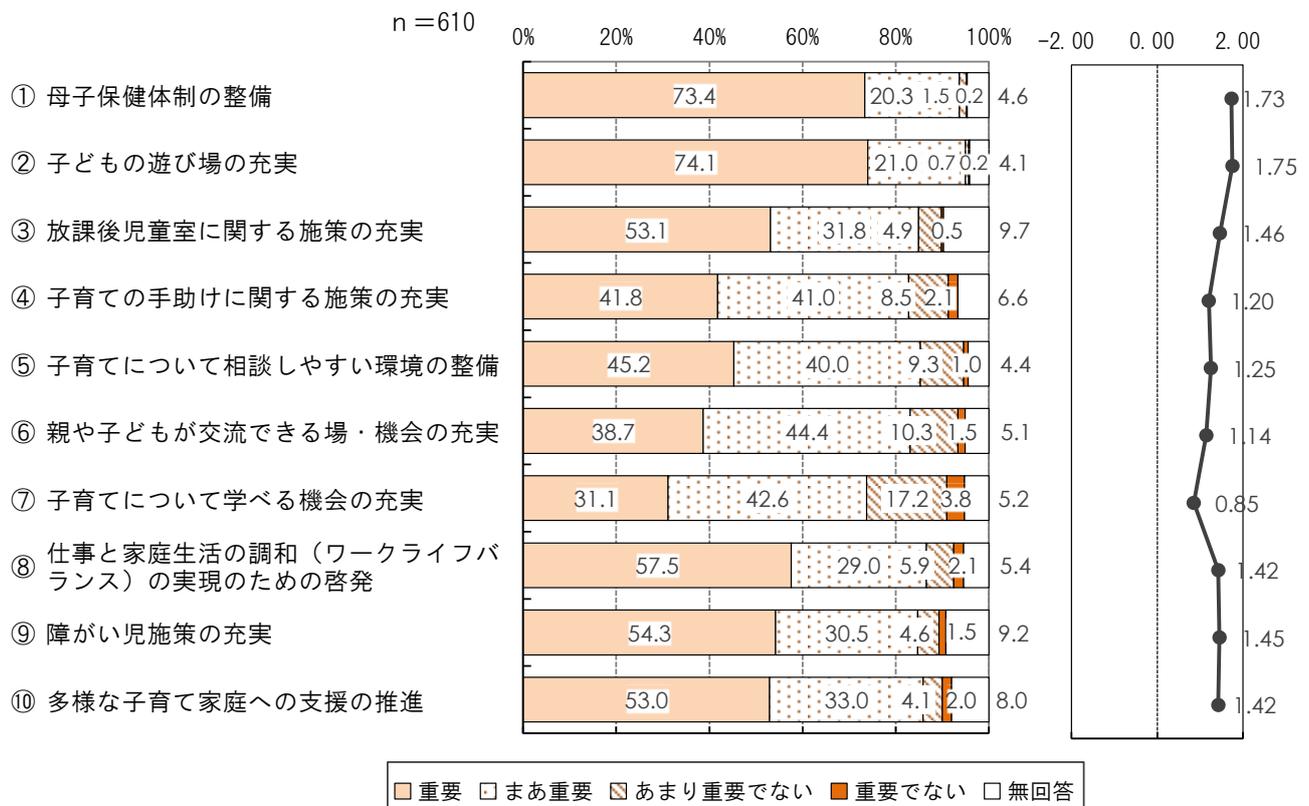
<就学前児童 満足度>



裾野市の子育て支援施策について、重要度が最も高い項目は、就学前児童において【②子どもの遊び場の充実】で、『重要』（「重要」＋「まあ重要」）が95.1%、評価点が1.75点となっています。次に重要度が高いのは【①母子保健体制の整備】が93.8%（1.73点）、【③放課後児童室に関する施策の充実】が84.9%（1.46点）の順となっています。

重要度が最も低い項目は【⑦子育てについて学べる機会の充実】で、『重要でない』（「重要でない」＋「あまり重要でない」）が21.0%、評価点が0.85点となっています。次に重要度が低いのは【⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実】が11.8%（1.14点）、【④子育ての手助けに関する施策の充実】が10.7%（1.20点）の順となっています。

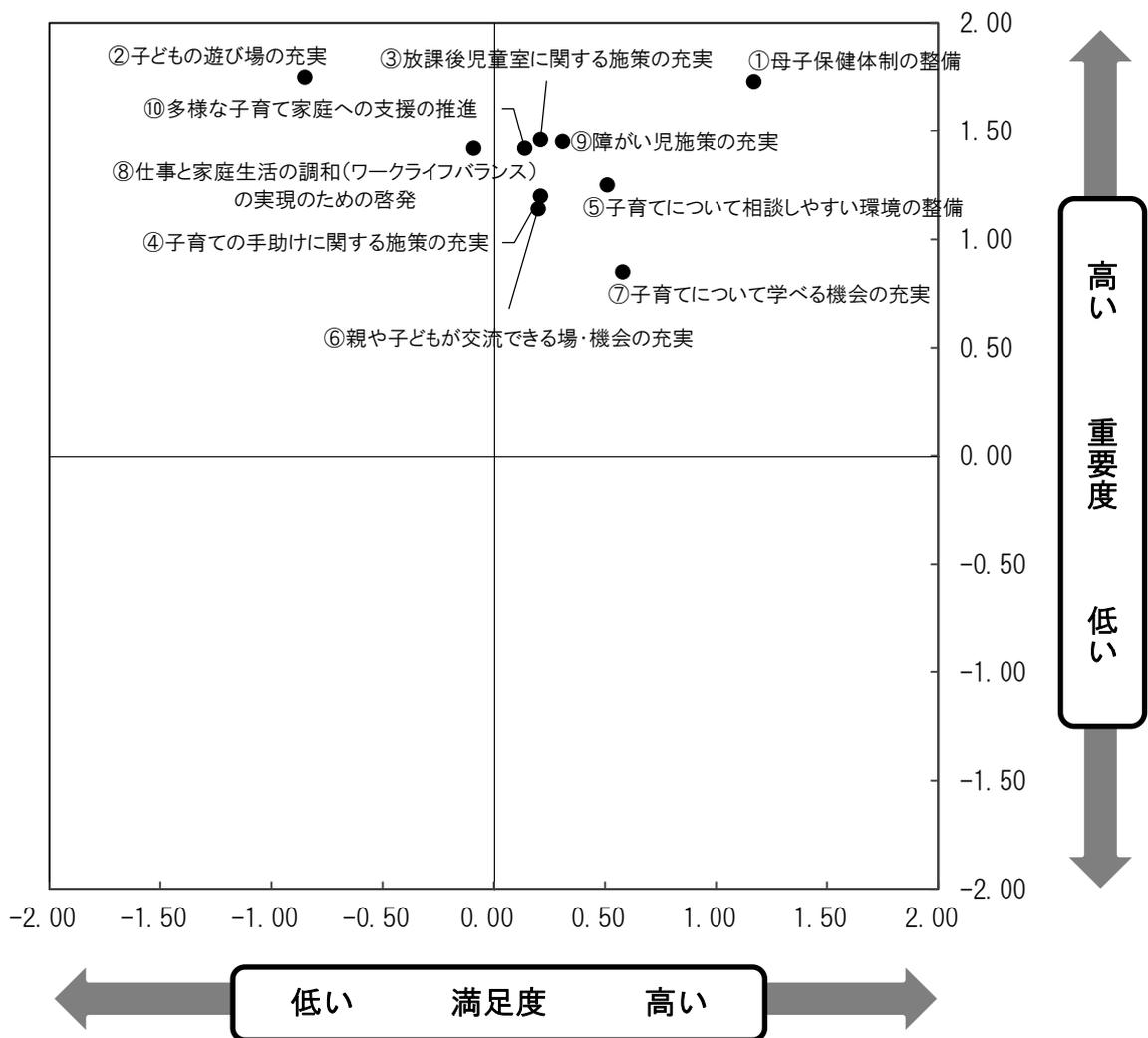
<就学前児童 重要度>



散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。そのうち、【①母子保健体制の整備】は満足度が最も高くなっています。一方、【②子どもの遊び場の充実】は、重要度は高いものの、満足度は最も低くなっています。

項目	満足度	重要度
①母子保健体制の整備	1.17	1.73
②子どもの遊び場の充実	-0.85	1.75
③放課後児童室に関する施策の充実	0.21	1.46
④子育ての手助けに関する施策の充実	0.21	1.20
⑤子育てについて相談しやすい環境の整備	0.51	1.25
⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実	0.20	1.14
⑦子育てについて学べる機会の充実	0.58	0.85
⑧仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）の実現のための啓発	-0.09	1.42
⑨障がい児施策の充実	0.31	1.45
⑩多様な子育て家庭への支援の推進	0.14	1.42

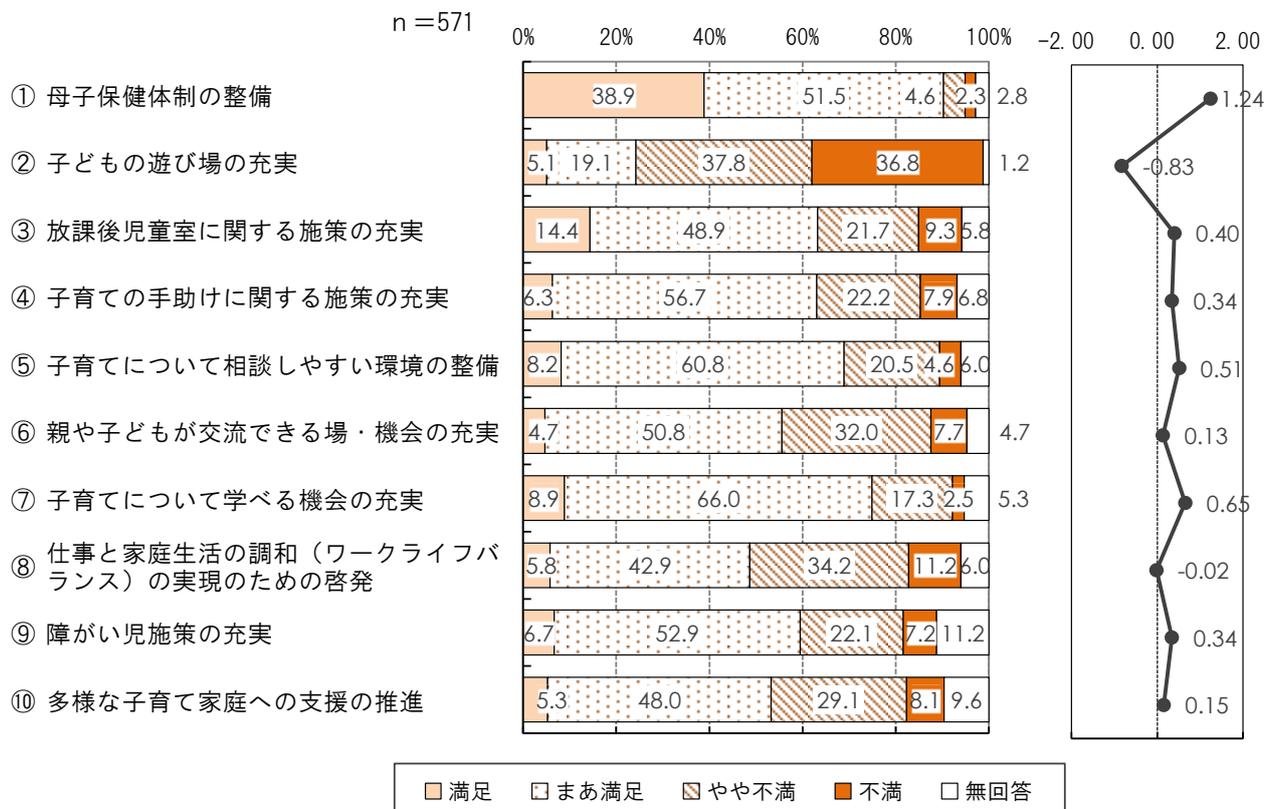
<就学前児童 評価点による散布図>



裾野市の子育て支援施策について、満足度が最も高い項目は、小学生において【①母子保健体制の整備】で、『満足』（「満足」＋「まあ満足」）が90.4%、評価点が1.24点となっています。次に満足度が高いのは【⑦子育てについて学べる機会の充実】が75.0%（0.65点）、【⑤子育てについて相談しやすい環境の整備】が69.0%（0.51点）の順となっています。

満足度が最も低い項目は【②子どもの遊び場の充実】で、『不満』（「不満」＋「やや不満」）が74.6%、評価点が-0.83点となっています。次に満足度が低いのは【⑧仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）の実現のための啓発】が45.4%（-0.02点）、【⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実】が39.8%（0.13点）の順となっています。

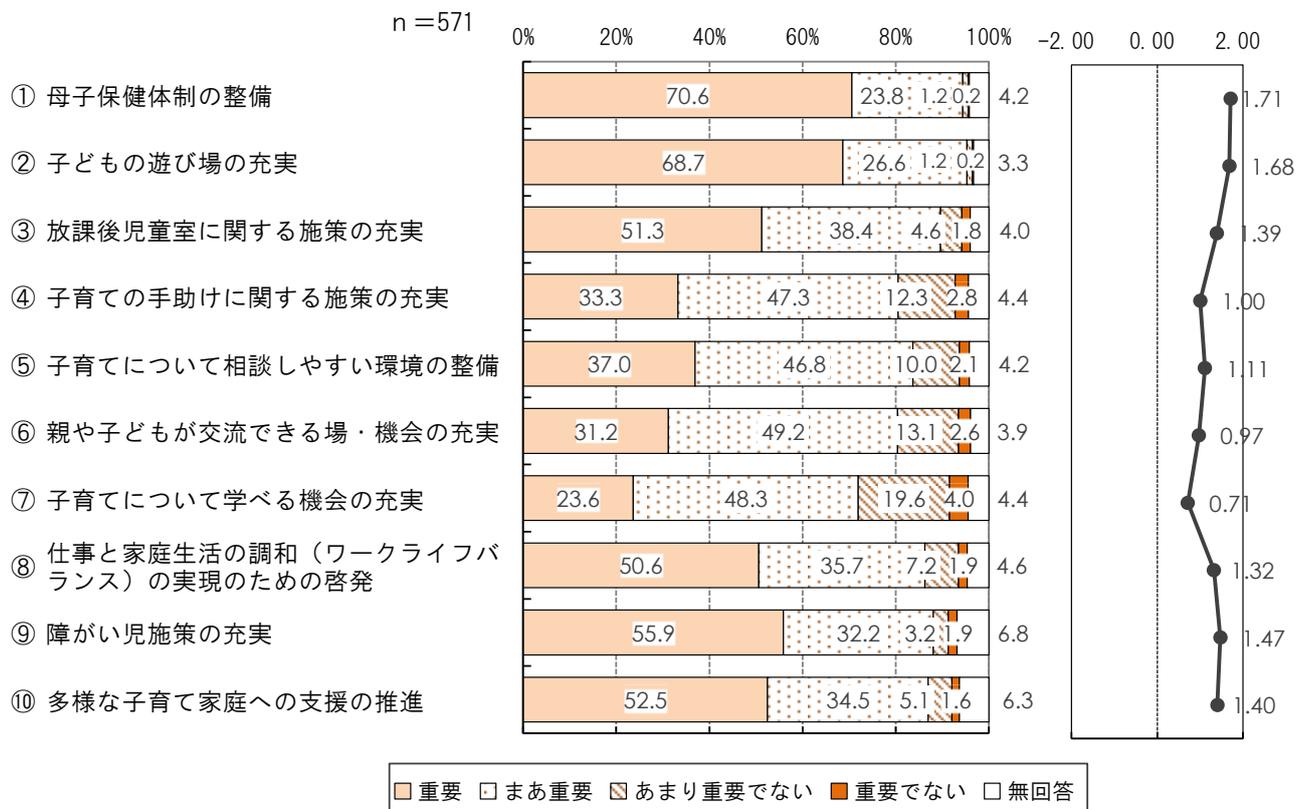
<小学生 満足度>



裾野市の子育て支援施策について、重要度が最も高い項目は、小学生において【①母子保健体制の整備】で、『重要』（「重要」＋「まあ重要」）が94.4%、評価点が1.71点となっています。次に重要度が高いのは【②子どもの遊び場の充実】が95.3%（1.68点）、【⑨障がい児施策の充実】が88.1%（1.47点）の順となっています。

重要度が最も低い項目は【⑦子育てについて学べる機会の充実】で、『重要でない』（「重要でない」＋「あまり重要でない」）が23.6%、評価点が0.71点となっています。次に重要度が低いのは【⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実】が15.8%（0.97点）、【④子育ての手助けに関する施策の充実】が15.1%（1.00点）の順となっています。

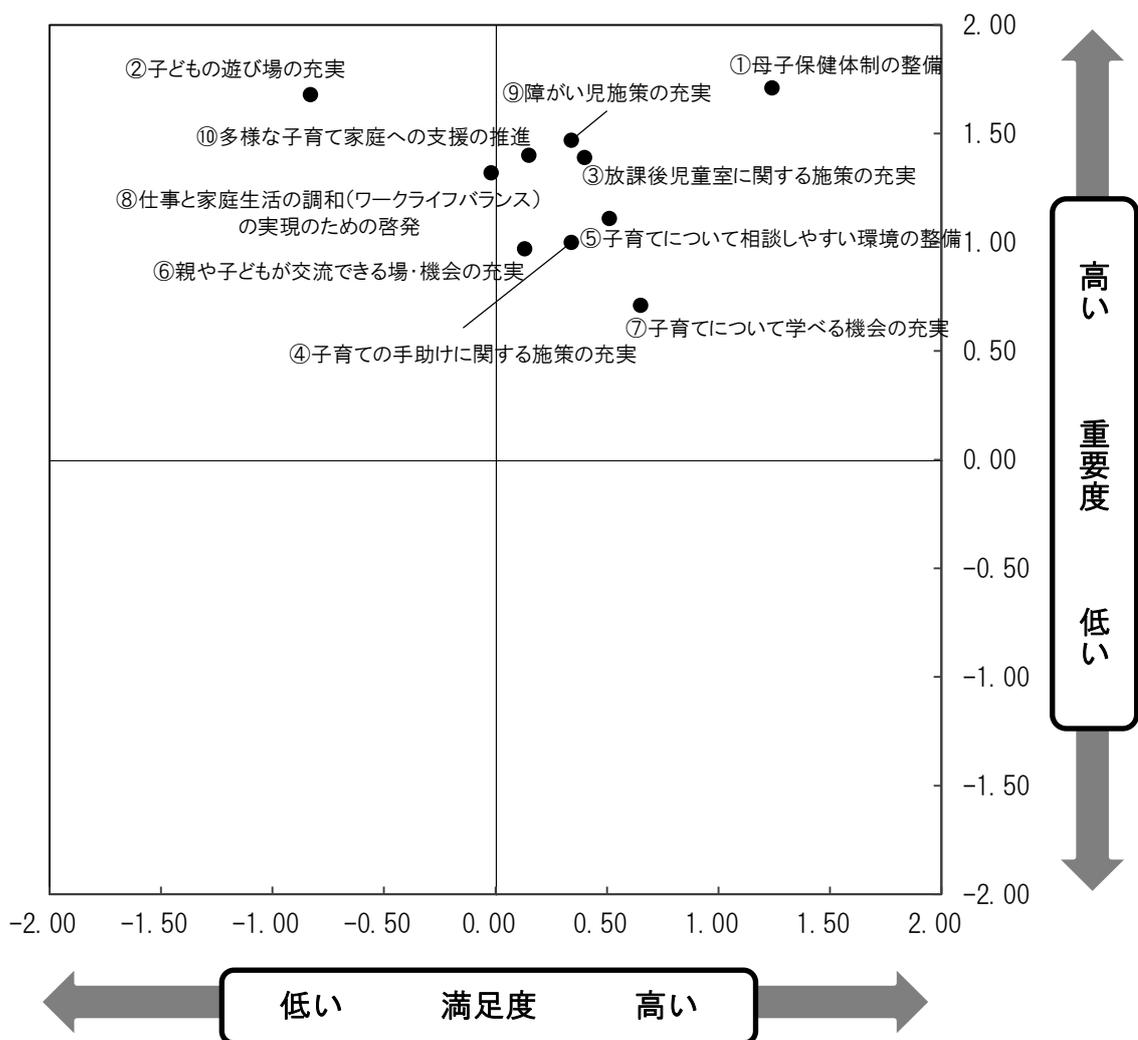
<小学生 重要度>



散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。そのうち、【①母子保健体制の整備】は満足度が最も高くなっています。一方、【②子どもの遊び場の充実】は、重要度は高いものの、満足度は最も低くなっています。

項目	満足度	重要度
①母子保健体制の整備	1.24	1.71
②子どもの遊び場の充実	-0.83	1.68
③放課後児童室に関する施策の充実	0.40	1.39
④子育ての手助けに関する施策の充実	0.34	1.00
⑤子育てについて相談しやすい環境の整備	0.51	1.11
⑥親や子どもが交流できる場・機会の充実	0.13	0.97
⑦子育てについて学べる機会の充実	0.65	0.71
⑧仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）の実現のための啓発	-0.02	1.32
⑨障がい児施策の充実	0.34	1.47
⑩多様な子育て家庭への支援の推進	0.15	1.40

<小学生 評価点による散布図>

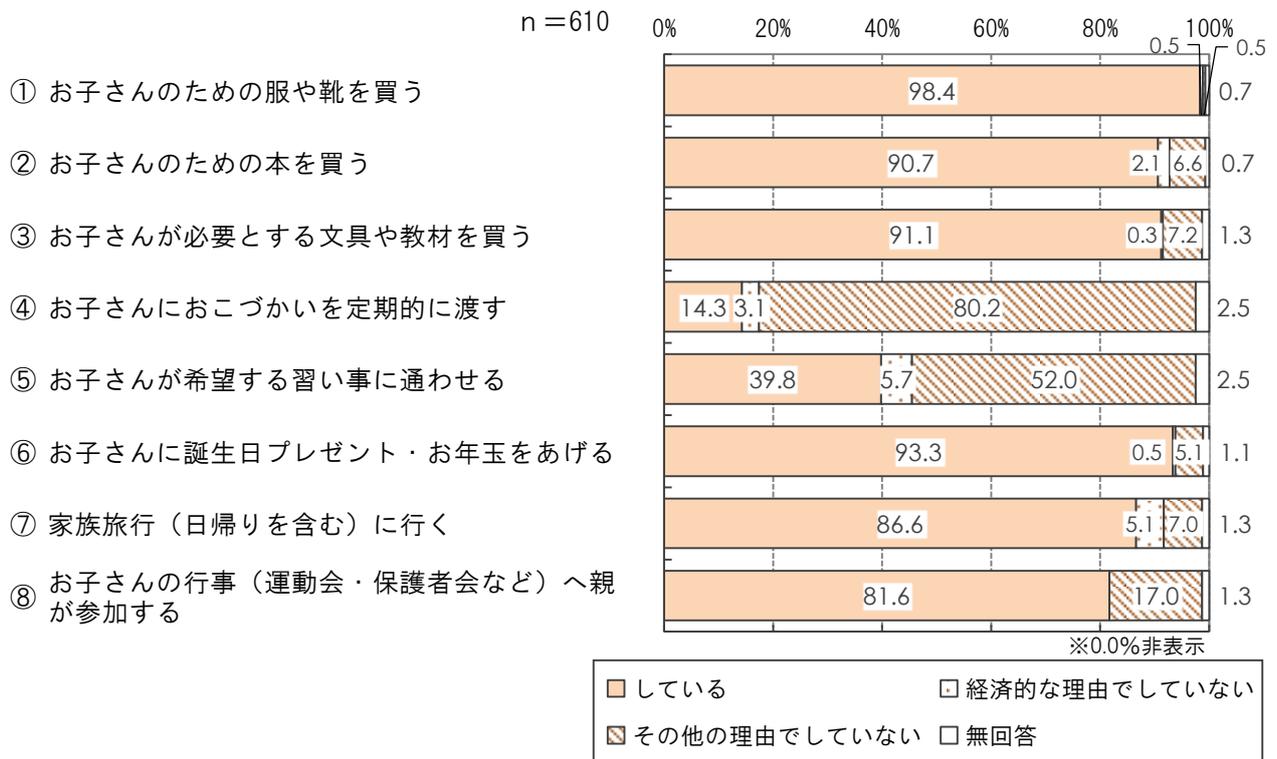


12-11 家庭において子どもに対し行っていること（単数回答）

【就学前：問 41、小学生：問 29】

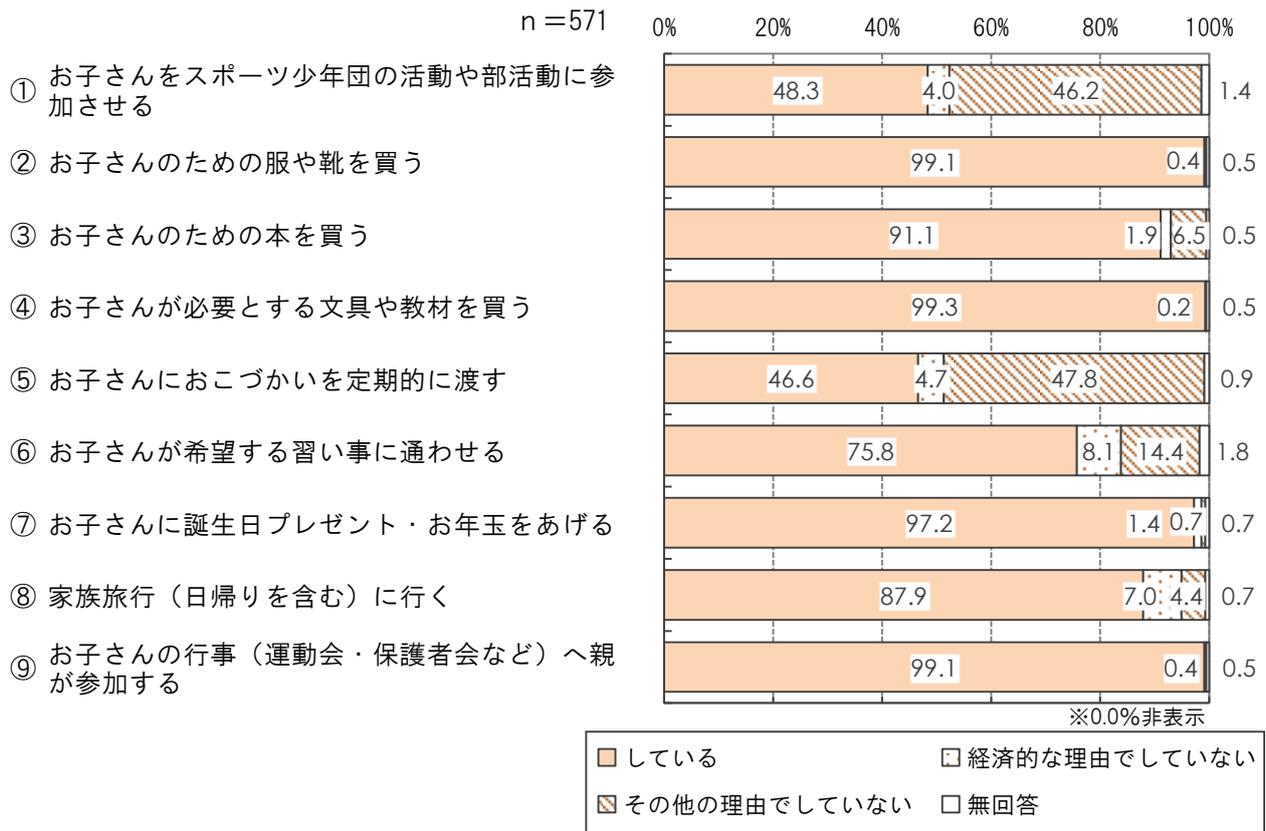
家庭において子どもに対し行っていることについては、就学前児童において「している」が多いものの上位3項目は、【①お子さんのための服や靴を買う】が98.4%、【⑥お子さんに誕生日プレゼント・お年玉をあげる】が93.3%、【③お子さんが必要とする文具や教材を買う】が91.1%の順となっています。一方、「経済的な理由でしていない」が多いものは、【⑤お子さんが希望する習い事に通わせる】が5.7%、【⑦家族旅行（日帰りを含む）に行く】が5.1%、【④お子さんにおこづかいを定期的に渡す】が3.1%の順となっています。

<就学前児童>



小学生においては「している」が多いものの上位3項目は、【④お子さんが必要とする文具や教材を買う】が99.3%、【②お子さんのための服や靴を買う】、【⑨お子さんの行事（運動会・保護者会など）へ親が参加する】が99.1%、【⑦お子さんに誕生日プレゼント・お年玉をあげる】が97.2%の順となっています。一方、「経済的な理由でしていない」が多いものは、【⑥お子さんが希望する習い事に通わせる】が8.1%、【⑧家族旅行（日帰りを含む）に行く】が7.0%、【⑤お子さんにおこづかいを定期的に渡す】が4.7%の順となっています。

<小学生>



Ⅲ 自由意見（抜粋）

1. 就学前児童保護者

（1）保育園等の入園について

- ・親が希望するタイミングで入園・就労を始めるにあたり、もっと市内保育園の空き状況や入園要件などを開示し、わかりやすくしてほしい。
- ・保育園の情報をもっと充実させてほしい。裾野市内に友人・知人がいない親からすると、やや不親切と感じる。
- ・幼稚園、保育園、こども園等の情報を、ある程度は市のホームページだけで得られるようにしてほしい。市内に友人がいない身なので情報取得が困難。

（2）保育園等について

- ・保育園の預かり時間等をもう少し柔軟に設定してほしい。
- ・保育園の先生の増加、配置の改善等、保育園の教育環境をもっと充実させてほしい。
- ・幼稚園の先生に助けられています。自分では色々分からないのでありがたい。

（3）病児保育・一時預かり等の保育事業について

- ・病児保育施設は、もう少し利用しやすいよう、預かり可能な時間の幅を広げてほしい。
- ・一時預かりについて、希望する日時に定員がいっぱいのため預かりができないと言われたことがある。
- ・ファミリー・サポート・センター事業について、会員減少により利用しづらい。
- ・夜間の預かりサポートがあると良い。他県のように、ベビーシッター利用券の配布もしてほしい。
- ・児童手当の上限撤廃をしてほしい。
- ・専業主婦でも誰でも通わせられて、モンテッソーリ教育やインターナショナルな教育が充実した保育園があると良い。
- ・土日に参加できる行事や図書館の本を宅配サービスしてくれるサービスがあると良い。

（4）子どもの居場所（公園・広場等）について

- ・裾野市内には公園が少ない。遊ばせやすい広い公園がない。
- ・0～2歳くらいや歩き始めの子どもが安心して遊べるような設備の整った公園を増やしてほしい。
- ・公園の遊具が汚れていたり、老朽化していたりする。もう少し点検・整備を行ってほしい。
- ・市内の公園を整備する必要がある。木や草の手入れはもちろんだが、トイレを洋式できれいなものにしたたり、遊具をきれいにしたたり、利用したくなるようにするべき。増やすのではなく、今ある場をより良い環境へと行ってほしい。

（５）子どもの居場所（子育て支援センター・児童館等）について

- ・子育て支援センターや児童館について、利用時間等をもう少し柔軟に設定してほしい。土日も利用できるようにしてほしい。
- ・子どもが遊べる大型の複合施設がほしい。子ども中心的な食べ物、無添加や栄養バランスやレジヤ、屋内施設等)。特に、安心、低価格な外食施設が少ない。

（６）子どもの居場所（放課後・その他）について

- ・子どもの遊ぶ場、習い事をする場の選択肢が少ない。放課後児童室も空きがなく、現状を危惧している。
- ・放課後児童室を 19 時まで行ってほしい。また、無償化は可能にならないのか。安心して子どもを預けられる環境を希望したい。

（７）子どもの発達・健診・医療等について

- ・発達支援の親子教室など、療育に関する施設を充実させてほしい。
- ・1歳6か月児健診や、3歳児健診など、健診の段取りをもう少し良くしてほしい。
- ・医療的ケア児のサポート体制をもっと整えて充実させてほしい。近所の児童館がなくなってしまったから、子どもを室内で遊ばせられる場所がなくなってしまったと強く感じる。
- ・保健センターがすごく暗いイメージなので、もう少し明るくしてほしい。3歳児健診などで子どもが怖がったりするため。

（８）学校・通学路等について

- ・自宅から小学校が遠いため、通学のためのスクールバス等があると安心。
- ・学校が統合になると困ります。スクールバスが出ても悪天候時、様々な理由で親が送迎することがあると思いますが、小学校、中学校の9年間は大変です。どうしても統合になるのであれば、学童だけでも是非残してください。長期休み等、お弁当である上に遠くなる学童への送迎は、仕事をしていると負担が大きく、就学時間を考えると現実的に難しく、この先どうしようかと考えています。

（９）経済的支援（保育料）について

- ・ひとり親家庭に対する経済的支援を充実させてほしい。
- ・昨今の物価高に加え、保育料が高くかなり負担となっている。特に2人目以降について、もう少し見直してほしい。

（10）経済的支援（給食費）について

- ・給食費を無償にしてほしい。
- ・給食費に対しての考え方が古過ぎる。他市のように給食費を第2子以降無料にすることや、出産時のお祝いについて、もっと充実させるべきだと思います。

(11) 経済的支援（その他）について

- ・子どもの医療費を無料にしてほしい。
- ・出産費用への経済的支援を充実させてほしい。
- ・子育てをする上で経済的に不安があります。児童手当の拡充を希望します。

(12) 情報発信について

- ・子育てに関する情報など、こちらから調べたり問い合わせたりしないと得られないものが多い。また、市のHPにて情報をまとめているページを確認しても、簡潔にまとまっていない。もう少しわかりやすくしてほしい。
- ・色々な支援に関して、こちらから調べたり問い合わせたりとアクションするものが多く感じます。他業務が多くあると思いますが、対象となる制度に関しては、市役所側から何かしらの案内があると助かります。

(13) イベント・交流機会等について

- ・親子参加の体験会やイベントをもう少し増やしてほしい。
- ・親同士の交流の場を増やしてほしい。
- ・自然体験ができる機会が減ってきていると思うので、子ども達が自然に触れて、思いきり遊べるようなイベント事があると嬉しいなと思います。今では自然体験にもお金がかかるので大変です。

(14) その他の子育て支援全般について

- ・子育て支援も含め、市全体を魅力的にしてほしい。
- ・移動手段が少ないこと等、生活するうえで不便な点が多い。もう少し改善してほしい。
- ・通園、通学、習い事、公園等、全てで送迎が必要で仕事を考えるのが難しい。市外の公園に連れて行くことが多く、必然と買い物も市外ですることになる。市外・県外からも来たいと思えるような大きい遊具が充実した公園や屋内遊び場があれば、住民や観光、レジャー客も増えるのでは。

(15) アンケートについて

- ・子育て家庭の意見を抽出してくれることはありがたいが、もう少し回答しやすくしてほしい。紙の調査票でなく、インターネットで調査を実施してほしい。

2. 小学生保護者

（1）保育園等の入園について

- ・市外からの保育園入園希望の条件をもう少し柔軟にしてほしい。
- ・兄弟姉妹で同じ保育園に通えるようにしてほしい。

（2）保育園等について

- ・幼稚園と保育園の保育内容や保育環境が違い過ぎると思う。
- ・公立保育園と私立保育園で施設整備に差異がありすぎる。

（3）病児保育・一時預かり等の保育事業について

- ・ファミリー・サポート・センターを充実させてほしい
- ・家庭の事情もさまざまであるため、利用条件をなんとかしてもらいたい。また、利用にかかる手続きももう少し簡略化してもらいたい。

（4）子どもの居場所（公園・広場等）について

- ・公園など子どもの遊び場を増やしてほしい。裾野市内にとにかく公園が少ない。どこにも遊ばせてあげられる場所がない。
- ・子どもと一緒に遊べる公園がない。あっても遊具等が少なく、設備が整っていない。子どもが遊べる公園を充実させてほしい。
- ・自然が多いのにその特性をうまく使っておらず、公園などが全然ない。子どもが楽しんで遊べる公園がない。

（5）子どもの居場所（子育て支援センター・児童館等）について

- ・雨の日でも遊ぶことができる施設を作してほしい。
- ・子どもの遊ぶ場所（児童館・市営プールなど）をこれ以上なくさないでほしい。

（6）子どもの居場所（放課後・その他）について

- ・他の市に比べ、学童の料金が高過ぎる。
- ・夏休みだけの学童利用をもっと使いやすくしてほしい。入りやすい環境をつくってほしい。経済的支援が必要。
- ・自宅から学校まで徒歩 30 分かかるため、放課後に友達と遊ぶ時間がとても少ない。下校に 30 分、遊ぶために学校や友達の家へ行くのに 30 分、帰りも 30 分かかるため、移動でほとんど時間がなくなってしまう。放課後一度家に帰らずに、1～2 時間学校で遊べるような制度を作ってもらいたい。

(7) 子どもの発達・健診・医療等について

- ・まだ子どもが小さい頃、健診で保健センターの方々の優しさに癒されました。今はかかりつけの病院の先生、ナースの声かけにこちらが元気をもらいます。優しい声かけって本当に大切だと思いました。そして、学童の先生方の笑顔、ホッとする環境に感謝。
- ・発達に特性がある子どもとその子を持つ親への支援・情報提供を、今以上に行っていただきたいと思います。
- ・発達障がい児への支援や情報が少なく、インターネットで調べてみても、近くに助けてもらえると思える場所が少なく、子どもが遊ぶ場所がない。他都県の方と話す機会が多く、話を聞いていると、裾野は子育てしづらいなと感じています。

(8) 学校・通学路等について

- ・通学路に不安がある。子どもが少ないこともあり、一緒に行く子がおらず、安全面で不安。
- ・通学路の車両について。子ども達の近くでスピードを出している車両、一時停止不足の車両等、安全でない時が多々ある。何度か報告しているが、改善されていない。安心安全に通学できるよう、子ども達が気をつけるのではなく、車両が気をつけるべきである。逆走もある。
- ・中学生の部活動を充実してほしい。
- ・給食が少なく感じる。質も良くない。物価が上がっているのに、給食費を上げて給食をもっと充実させてほしい。

(9) 経済的支援（保育料）について

- ・第2子以降（第3子以降）の保育料の無料化を検討いただきたいです。
- ・保育料の無償化を進めてほしいです。

(10) 経済的支援（給食費）について

- ・学校給食を無償化にしてほしい。
- ・子ども手当などの現金を配るのではなく、現在各学校で徴収されている給食費や学校運営費に充て、どの子どもも平等かつ支払いの負担不安などをなくすようにしてほしいと思います。特に、給食はもう少し何とかならないものかと思っています。

(11) 経済的支援（その他）について

- ・多くの市が高校まで医療費が無料なのに、裾野だけ払うことに市民がどれだけ不満か考えてください。かなりの負担です。月に2回以上行くことはほとんどなく月が変わってしまうので、毎回払っています。
- ・医療費が子どもは2回までかかるのを無料にしてもらえると、子育て世代としては裾野市に住みたいと思えると思います。

- ・ひとり親世帯ですが、支援が不十分過ぎます。実家ではなく、自分達だけで生活、養育費もなし。家賃を少しでも援助してくれる制度が、なぜ裾野市にはないのでしょうか。子どもの学校のことを考えると市営団地は無理でした。仕事を昼間も夜もかけ持ちして、子ども達と一緒にいられる時間が持てません。休みもありません。その家庭状況を把握した上で、どのような援助ができるか考えてほしいです。

(12) 情報発信について

- ・子どもがいる家庭に情報提供を強くした方が良い。
- ・今はまず知りたい情報はホームページや子育てアプリなどで見て、それから窓口に行く、相談するという流れが簡単で色々利用しやすいと思いますが、裾野市のホームページも子育てアプリも充実していないと思います。

(13) イベント・交流機会等について

- ・子育ての悩み相談は、幼稚園、学校の保護者同士であることが一番安心で、情報も多い。保護者の中で「ファミサポを利用したいが、うちの子はどうか聞きたい」と言っている人もいるが、園の先生、市役所、保健センターに行くと大ごとになってしまっただけではいけないからと、聞けないと思う人が多い。そういう悩みを話せる場としてこども家庭センターを利用して、大人が活用、意見交換できる場が増えると良いのではと思う。
- ・子ども自身の体験の機会を増やしてほしい。

(14) その他の子育て支援全般について

- ・子育てに関しての支援が、同居の祖父母ありのような状態が前提としてのサービスが多いように感じます。また、保健師さん等の職員の方のレベルが低く、こちらに相談するくらいならインターネットで検索した方がましだなと思うことが多々ありました。ざっくり計算した上で、人口に対しての職員の数は都市部より多いのに、どうしてこんなにもレベルが低いのでしょうか。
- ・両親共に働いている子ども、特別な事情な家庭のみが支援をされるのではなく、全ての子どもが同じように色々な支援をしてもらえよう社会であってほしい。と同時に、支援の場を整え過ぎて、子どもにとって本当に何が大切かを忘れないでほしいとも思う。親と共に過ごす時間、家庭での時間がいかに子どもを育てる上で重要かを、子ども側に立ち考えてみるのも必要。環境整備することで一番大切なことを忘れないで整備することが、子どもへの対応だと思う。教員の質もより上げてほしい。学校に安心して子どもを預けられないし、学校に期待は持てない。
- ・日常生活でも出費額が上がっている中、子どもの成長と共にかかるお金も増えて、本当に大変です。勉強など、できるだけことはしてあげたいと思いますが、子どもにかかるお金の心配ばかりしています。中学、高校、大学と不安しかありません。これから子どもを産む人のことも大切ですが、今子どもを育てている人にも目を向けてください。

(15) アンケートについて

- ・アンケートを紙ベースにする必要はあるのか。アプリなどで手間、お金などを省けたのではないですか。
- ・このアンケートが無駄にならず、裾野市の子育て環境がより良くなっていくことを望みます。

IV 調査結果からみる課題・考察

1. 育児休業の取得状況について

就学前児童において、子どもの父親の育休取得状況をみると、「取得した（取得中である）」が、母親は約半数、父親は約2割と差異が大きく、母親と比較し取得率が低くなっています。また、父親においては、育児休業を取得しなかった理由として、職場の雰囲気により取りづらかった・仕事が忙しかったという項目が約3～4割と多くなっています。このことから、育児休業の取りやすい職場環境の整備が求められていることがわかります。

2. 裾野市で実施している事業の認知度について

裾野市で実施している事業の認知度をみると、就学前児童・小学生ともに、裾野市で実施している事業のうち、ファミリー・サポート・センターや家庭児童相談室の認知度が他項目と比較しやや低くなっています。どちらの事業も、就学前児童は約半数、小学生は約半数～6割にとどまっている一方、他の健康推進課が実施する相談事業や訪問事業は、認知度が約8～9割と高くなっています。また、子育てに関する支援情報の入手先として、就学前児童・小学生ともにインターネットやSNSが活用されています。このことから、事業内容や利用方法などを、インターネットを含め、さまざまな方法で周知し、子育て家庭が入手しやすくすることが必要です。

3. 理想の子ども的人数より、現実的に子育て可能な子ども的人数が少ない理由について

理想の子ども的人数より、現実的に子育て可能な子ども的人数が少ない理由をみると、就学前児童・小学生ともに「子育てにかかる費用が大変なため」が約8割となっています。他項目より比較的多くなっていることから、年代にかかわらず、子育て家庭への経済的な支援の必要性がうかがえます。

4. 子育てしやすいまちだと思ふ具体的な理由について

裾野市が子育てしやすいまちだと思ふ理由をみると、就学前児童において保育園、こども園が利用しやすいという回答が約4割となり、平成30年度調査と比較すると17.1ポイント増加しています。また、裾野市が子育てしやすいまちだと思わない理由をみると、就学前児童において保育園、こども園などに空きがないという回答が18.4%と、平成30年度調査と比較すると23.6ポイント減少しています。現行計画に基づいて施設整備等の教育・保育環境整備を進めており、それらの取り組みによって、子どもを預ける環境がやや改善していることがうかがえます。

5. 子ども・子育て施策に対するニーズについて

裾野市が子育てしやすいまちだと思わない理由をみると、就学前児童・小学生ともに「公園など子どもの遊び場が少ない」が9割弱と最も多くなっています。また、日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスについて尋ねた結果、就学前児童・小学生ともに「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多くなっています。さらに、裾野市の子育て支援施策に対する満足度・重要度を尋ねた結果、「子どもの遊び場の充実」が最も満足度が低く、重要度が高いという結果になっています。以上の内容から、子ども・子育て家庭が利用できる遊び場の整備について、優先的に取り組む必要性があります。地域子育て支援センターや令和6年度に開設した「こども家庭センター」に併設されている親子交流スペースについて利用促進を図るとともに、ニーズを踏まえて新たな施設の整備を図ることが求められます。

資料 調査票

1. 就学前児童

就学前児童

裾野市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【調査ご協力のお願い】

皆様には日頃より裾野市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

裾野市では、“子育てによるこびを感じ、子どもたちの成長を通じ、親も、地域も共に育つまちづくり”を基本理念に掲げ、令和2年3月に「第2期裾野市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。このたび、計画の見直しにあたり、子どもたちが健やかに、心豊かに育つよう、お子さんがおられるご家庭の子育てに関するご意見やご要望をお聞かせいただくために、ニーズ調査を実施することといたしました。

この調査は、裾野市の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する“現在の利用状況”や“今後の利用希望”を把握し、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の“量の見込み”を算出するために実施するもので、市内にお住まいの、就学前のお子さんがいらっしゃる1,000世帯にご協力をお願いしています。

なお、ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は、全体の何%」といった形に整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。また、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものでもなく、今後、利用希望を変更していただいても構いません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年6月
裾野市長 **村田 悠**

記入にあたってのお願い

1. 特に指定がある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 数字（年齢や時間帯など）をうかがう質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、**時間については24時間制**でご記入ください。（例：午後1時 → 13時）
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
6. 保育サービスなどの子育て支援サービスについてうかがう質問がありますが、これらの質問はあくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件（例：保育園の入所要件など）を全て表現しているものではありません。実際のサービスの利用条件などについては、市担当課窓口にご相談ください。
7. 記入後は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、**6月24日（月）までに、**
投函してください。
8. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問合せ先】裾野市 幼稚園・保育園課（担当：川上） 電話：055-995-1822

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問1 あなたのお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)

- 1 東 (久根、稲荷、公文名、茶畑、平松、麦塚)
- 2 西 (石脇、佐野、大畑、二ツ屋、桃園、富沢、伊豆島田、水窪)
- 3 深良 (深良、岩波)
- 4 富岡 (御宿、葛山、上ヶ田、金沢、今里、下和田、呼子、千福、千福が丘)
- 5 須山 (須山)
- 6 わからない (具体的な地名をお書きください:)

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。(数字で記入)

西暦20 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、お子さんが2人以上いる場合、末子の方の生年月をご記入ください。(数字で記入)

お子さんは、合計 人
末子の生年月は、西暦20 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

- 1 母親
- 2 父親
- 3 その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

- 1 配偶者がいる
- 2 配偶者はいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

- 1 父母ともに
- 2 主に母親
- 3 主に父親
- 4 主に祖父母
- 5 その他 ()

問7 あて名のお子さんの、父母との同居状況についてお答えください。(〇は1つ)

- 1 父母同居
- 2 父のみ同居 (ひとり親家庭)
- 3 父のみ同居 (母親単身赴任など)
- 4 母のみ同居 (ひとり親家庭)
- 5 母のみ同居 (父親単身赴任など)
- 6 父母どちらとも同居していない

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 あて名のお子さんの子育て（教育・保育などを含む）に日常的に関わっている方はどなた（どの施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○はあてはまるものすべて）

- | | | |
|----------|--------|-------|
| 1 父母ともに | 2 母親 | 3 父親 |
| 4 祖父母 | 5 幼稚園 | 6 保育園 |
| 7 認定こども園 | 8 その他（ | ） |

問9 あて名のお子さんの子育て（教育・保育などを含む）に、最も影響すると思われる環境はどれですか。（○は1つ）

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 1 家庭 | 2 地域 | 3 幼稚園 |
| 4 保育園 | 5 認定こども園 | 6 習い事 |
| 7 その他（ | | ） |

問10 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（○はあてはまるものすべて）

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもない → 4ページの問11へ |

→ 問10で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。

問10-1 祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（○はあてはまるものすべて）

- | |
|---|
| 1 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2 祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3 祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他（ |
| ） |

→ 問10で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。

問10-2 友人や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（○はあてはまるものすべて）

- | |
|--|
| 1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他（ |
| ） |

問 11 あて名のお子さんの子育て(教育・保育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

1 いる/ある

2 いない/ない

▶ 問 11 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 11-1 お子さんの子育て(教育・保育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(〇はあてはまるものすべて)

1 祖父母などの親族

2 友人や知人

3 近所の人

4 子育て支援センター・NPO

5 県の保健所

6 市の保健師

7 保育士

8 幼稚園教諭

9 認定こども園教諭

10 家庭相談員

11 県の児童相談所

12 民生委員・児童委員

13 かかりつけの医師

14 自治体の子育て関連担当窓口

15 子育てサークル

16 その他 ()

問 12 お子さんの子育て(教育・保育を含む)に関する支援情報の入手先はどこですか。また、方法は何かですか。(〇はあてはまるものすべて)

1 市役所の窓口

2 保育園

3 幼稚園

4 認定こども園

5 知人・友人

6 子育てサークル

7 広報すその

8 テレビ

9 ラジオ

10 新聞・雑誌

11 インターネット

12 SNS

13 すその子育て応援アプリ

14 その他 ()

15 入手していない

3. 保護者の就労状況について

問 13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親【父子家庭の場合は記載不要です】

問 13 (1) 現在の就労状況（○は1つ）

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 4 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまで就労したことがない

→問 13 (1) で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (1) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む・休憩時間を除く）」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字で記入）

1週あたり 日 1日あたり 時間 分
 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

→問 13 (1) で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。（問 13 (1) -1 もお答えください）

問 13 (1) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

→問 13 (1) で「5」または「6」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (1) -3 就労したいという希望はありますか。（○は1つ）

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい ※年齢を記入してください
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→問 13 (1) -3 で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (1) -4 希望する就労形態はなんですか。（○は1つ）

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 パート・アルバイトなど ⇒ 1週あたり 日、1日あたり 時間

父親【母子家庭の場合は記載不要です】

問 13 (2) 現在の就労状況 (○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中でない
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中でない
- 4 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまで就労したことがない

→ 問 13 (2) で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (2) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む・休憩時間を除く)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字で記入)

1週あたり 日 1日あたり 時間 分
 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

→ 問 13 (2) で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。(問 13 (2) -1 もお答えください)

問 13 (2) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

→ 問 13 (2) で「5」または「6」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (2) -3 就労したいという希望はありますか。(○は1つ)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい ※年齢を記入してください
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 問 13 (2) -3 で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (2) -4 希望する就労形態はなんですか。(○は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 パート・アルバイトなど ⇒ 1週あたり 日、1日あたり 時間

全員の方にうかがいます。

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している問 14-1 の事業などを指します。

問 14 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(〇は1つ)

1 利用している

2 利用していない

8ページの間 14-5へ

→問 14 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 14-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 公立幼稚園【通常の就園時間の利用】(例：いずみ・西・深良・富岡第一・須山幼稚園)
- 2 私立幼稚園【通常の就園時間の利用】(例：裾野ひかり・千福が丘ひかり・裾野聖母幼稚園)
- 3 幼稚園の預かり保育【通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ】
- 4 公立認可保育園【国が定める最低基準に適合した施設で都道府県などの認可を受けた定員 20 人以上のもの】
(例：東・西・深良・富岡保育園)
- 5 私立認可保育園【国が定める最低基準に適合した施設で都道府県などの認可を受けた定員 20 人以上のもの】
(例：富岳南・さくら保育園)
- 6 公立認定こども園【幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設】
- 7 私立認定こども園【幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設】
(例：御宿台こども園、富岳キッズセンターあい、ぽんぽん石脇こども園)
- 8 小規模な保育施設【国が定める最低基準に適合した施設で自治体の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの】
(例：にこにこ園保育所、佐野かがやき保育園、ひだまり保育園 hagu、こごくら保育園)
- 9 家庭的保育(保育ママ)【保育者の家庭などで5人以下の子どもを保育する事業】
- 10 事業所内保育施設【企業が主に従業員用に運営する施設】
- 11 自治体の認証・認定保育施設【認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設】
- 12 児童発達支援施設
- 13 その他の認可外の保育施設 (例：矢崎グループ裾野保育園、東名裾野病院こひつじ保育園)
- 14 居宅訪問型保育【ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業】
- 15 ファミリー・サポート・センター【会員制による一時預かりを中心とした相互援助活動】
- 16 その他 ()

*裾野市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

→問 14 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)をお答えください。(数字で記入)

(1) 現在

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～ 時)

全員の方にかかいます。

問 15 現在、利用している、利用していないに関わらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(○はあてはまるものすべて)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。また、金額については、施設及び年齢によって異なることがあります。

- | |
|--|
| 1 公立幼稚園【通常の就園時間の利用】 |
| 2 私立幼稚園【通常の就園時間の利用】 |
| 3 幼稚園の預かり保育【通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ】 |
| 4 公立認可保育園【国が定める最低基準に適合した施設で都道府県などの認可を受けた定員20人以上のもの】 |
| 5 私立認可保育園【国が定める最低基準に適合した施設で都道府県などの認可を受けた定員20人以上のもの】 |
| 6 公立認定こども園【幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設】 |
| 7 私立認定こども園【幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設】 |
| 8 小規模な保育施設【国が定める最低基準に適合した施設で、自治体の認可を受けた定員概ね6～19人のもの】 |
| 9 家庭的保育（保育ママ）【保育者の家庭などで5人以下の子どもを保育する事業】 |
| 10 事業所内保育施設【企業が主に従業員用に運営する施設】 |
| 11 自治体の認証・認定保育施設【認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設】 |
| 12 児童発達支援施設 |
| 13 その他の認可外の保育施設 |
| 14 居宅訪問型保育【ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業】 |
| 15 ファミリー・サポート・センター【会員制による一時預かりを中心とした相互援助活動】 |
| 16 その他（ ） |

* 裾野市外で行われている教育・保育の事業も含まれています。

問 15で「1～3」を選び、かつ「4～16」も選ばれた方にかかいます。

問 15-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 はい（希望する） | 2 いいえ（希望しない） |
|------------|--------------|

全員の方にかかいます。

問 16 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-----------------------|
| 1 裾野市内 | 2 裾野市外（具体的な市町名：_____） |
|--------|-----------------------|

問 17 上記の教育・保育事業の施設を選ぶ際のポイントは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 自宅からの距離 | 2 職場からの距離（通勤経路上にあること） |
| 3 祖父母など親族宅から近い | 4 運営の方針内容 |
| 5 利用料が安い | 6 利用日や利用時間帯（延長や休日利用など） |
| 7 兄弟姉妹の在園の有無 | 8 施設職員の子どもへの接し方 |
| 9 施設の広さや設備の良さ | 10 給食の有無 |
| 11 通園バスの有無・コースの利便性 | 12 その他（_____） |

5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

（〇はあてはまるものすべて・数字で記入）

1	地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）	
	⇒ <u>1か月</u> あたり <input type="text"/> 回もしくは <u>1年</u> あたり <input type="text"/> 回程度	
2	児童館・親子交流スペース（すこっぷなど）が実施する各講座・教室	
	⇒ <u>1か月</u> あたり <input type="text"/> 回もしくは <u>1年</u> あたり <input type="text"/> 回程度	
3	裾野市健康推進課が実施する各教室・サークル	
	⇒ <u>1か月</u> あたり <input type="text"/> 回もしくは <u>1年</u> あたり <input type="text"/> 回程度	
4	その他の事業（具体名： <input type="text"/> ）	
	⇒ <u>1か月</u> あたり <input type="text"/> 回もしくは <u>1年</u> あたり <input type="text"/> 回程度	
5	利用していない	

問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（〇は1つ・数字で記入）

1	利用していないが、今後利用したい	
	⇒ <u>1週</u> あたり <input type="text"/> 回もしくは <u>1か月</u> あたり <input type="text"/> 回程度	
2	すでに利用しているが、今後は利用日数を増やしたい	
	⇒ <u>1週</u> あたり <input type="text"/> 回もしくは <u>1か月</u> あたり <input type="text"/> 回程度	
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 20 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（〇は（1）（2）で1つずつ・数字で記入）

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（1）土曜日

1	利用する必要はない	→ 11 ページの間 20(2)へ
2	ほぼ毎週利用したい	→ 利用したい時間帯 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで
3	月に1～2回は利用したい	

(2) 日曜日・祝日

1 利用する必要はない → 問 21 または 問 22 または 13 ページの問 23 へ

2 ほぼ毎週利用したい

3 月に1~2回は利用したい

→ 利用したい時間帯

□ □ 時から □ □ 時まで

「(公立・私立) 幼稚園」を利用している方にうかがいます。

問 21 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(○は1つ・数字で記入)

1 利用する必要はない → 問 22 へ

2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3 休みの期間中、週に数日利用したい

→ 利用したい時間帯

□ □ 時から □ □ 時まで

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

平日の定期的な教育・保育事業を利用している保護者の方 (P7 問 14 で「1」を選ばれた方) にうかがいます。

7. 病気の際の対応 (平日の教育・保育を利用する方のみ) について

問 22 この1年間に、あて名のおさんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

1 あった

2 なかった → 13 ページの問 23 へ

問 22 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 22-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか。(半日程度の場合も1日とカウントしてください) (○はあてはまるものすべて・数字で記入)

1 父親が休んだ

⇒ 年間 □ □ 日

2 母親が休んだ

⇒ 年間 □ □ 日

3 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

⇒ 年間 □ □ 日

4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

⇒ 年間 □ □ 日

5 病児・病後児の保育を利用した

⇒ 年間 □ □ 日

6 ファミリー・サポート・センターを利用した

⇒ 年間 □ □ 日

7 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

⇒ 年間 □ □ 日

8 その他 ()

⇒ 年間 □ □ 日

12 ページの問 22-4 へ

▼ 12 ページの問 22-2 へ

▶問22-1で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思われましたか。また、その場合の日数はどれくらいありますか。(〇は1つ・数字で記入)

1 できれば病児・病後児保育施設などを利用したい ⇒ 年間 日

2 利用したいとは思わない

▶問22-2で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問22-3 病児・病後児保育施設などを利用したいと思わない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
- 2 病児・病後児保育の質に不安がある
- 3 病児・病後児保育の利便性(立地や利用可能時間・日数など)が良くない
- 4 利用料がかかる・高い
- 5 病児・病後児保育の事業内容がわからない
- 6 親や自分以外の親族などが協力して対応するので必要ない
- 7 その他 ()

▶問22-1で「4」～「8」を選ばれた方にうかがいます。

問22-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。また、その場合の仕事を手を休んで看たかった日数はどれくらいありますか。(〇は1つ・数字で記入)

1 できれば仕事を休んで看たい ⇒ 年間 日

2 休んで看ることは非常に難しい

▶問22-4で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問22-5 その理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 子どもの看護を理由に休みがとれない
- 2 自営業なので休めない
- 3 休暇日数が足りないので休めない
- 4 その他 ()

全員の方にうかがいます。

8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 23 この1年間に、あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的（日中の定期的な保育や病気のため以外）で不定期に利用している事業はありますか。また、その日数は概ね何日ですか。（半日程度の場合も1日とカウントしてください）

（○はあてはまるものすべて・数字で記入）

1 一時預かり （私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
2 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
3 ファミリー・サポート・センター （会員制による一時預かりを中心とした相互援助活動）	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
4 その他（	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
5 利用していない			

▶ 問 23 で「5」を選ばれた方にうかがいます。

問 23-1 利用していない理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

1 特に利用する必要がない	
2 利用したい事業が地域にない	
3 上記の事業の質に不安がある	
4 上記の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない	
5 利用料がかかる・高い	
6 利用料がわからない	
7 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	
8 事業の利用方法（手続きなど）がわからない	
9 その他（	）

問 24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で事業（一時預かりなど）を利用したいと思いますか。（○は1つ・数字で記入）

1 利用したい	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
2 利用する必要はない → 14 ページの問 25 へ			

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

▶ 14 ページの問 24-1 へ

▶問24で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問24-1 その目的と必要な日数をご記入ください。(〇はあてはまるものすべて・数字で記入)

1 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、 リフレッシュ目的	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
2 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
3 不定期の就労	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
4 その他()	⇒ 年間	<input type="text"/>	日

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

▶問24で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問24-2 問24-1の目的でお子さんを預ける場合、どの事業を希望しますか。

(〇はあてはまるものすべて)

1 一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)
2 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)
3 ファミリー・サポート・センター(会員制による一時預かりを中心とした相互援助活動)
4 その他()

問25 あて名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設などで一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について、該当する目的のあてはまる番号すべてに〇をつけ、必要な泊数を数字でご記入ください。

(〇はあてはまるものすべて・数字で記入)

1 冠婚葬祭	⇒ 年間	<input type="text"/>	泊
2 保護者や家族の育児疲れ・不安	⇒ 年間	<input type="text"/>	泊
3 保護者や家族の病気	⇒ 年間	<input type="text"/>	泊
4 その他()	⇒ 年間	<input type="text"/>	泊
5 利用する必要はない			

問26～問29は、あて名のお子さんが来年度小学校に入学する方にうかがいます。
それ以外の方は、17ページの問30へお進みください。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたりの日数は何日ですか。「放課後児童室」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。

（○はあてはまるものすべて・数字で記入）

1 自宅	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
4 放課後児童室 ^{※1}	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
				下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
5 放課後子ども教室（すそのん寺子屋など） ^{※2}	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
6 児童館	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
8 放課後等デイサービス	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
9 その他（公民館、公園など）	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい

問27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、希望する週あたりの日数は何日ですか。「放課後児童室」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。

（○はあてはまるものすべて・数字で記入）

だいふ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1 自宅	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
4 放課後児童室 ^{※1}	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
				下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
5 放課後子ども教室（すそのん寺子屋など） ^{※2}	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
6 児童館	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
8 放課後等デイサービス	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
9 その他（公民館、公園など）	⇒	週	<input type="checkbox"/>	日くらい

▶ 16ページの問28へ

（※1）放課後児童室：保護者が就労などにより昼間、家にいない場合に、授業の終了後、適切な遊びと生活を提供する場。

（※2）放課後子ども教室：地域住民の参画を得て、放課後などに全ての子どもを対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動を提供する場。

問26または問27で「4」を選ばれた方にうかがいます。

問28 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童室の利用希望はありますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(○は(1)(2)で1つずつ・数字で記入)

※日曜日・祝日については、現在、事業を行っていません。

※この事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

1 低学年(1~3年生)の間は利用したい	→	利用したい時間帯	[] 時から [] 時まで
2 高学年(4~6年生)になっても利用したい			
3 利用する必要はない			

(2) 日曜日・祝日

1 低学年(1~3年生)の間は利用したい	→	利用したい時間帯	[] 時から [] 時まで
2 高学年(4~6年生)になっても利用したい			
3 利用する必要はない			

全員の方にうかがいます。

問29 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の平日の放課後児童室の利用希望はありますか。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(○は1つ・数字で記入)

1 低学年(1~3年生)の間は利用したい	→	利用したい時間帯	[] 時から [] 時まで
2 高学年(4~6年生)になっても利用したい			
3 利用する必要はない			

※この事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

→ 問31で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問31-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(〇はそれぞれ1つつ)

母親【父子家庭の場合は記載不要です】	父親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 育児休業取得後、職場に復帰した	1 育児休業取得後、職場に復帰した
2 現在も育児休業中である	2 現在も育児休業中である
3 育児休業中に離職した	3 育児休業中に離職した

問31-2～問31-4は、問31-1で「1」を選ばれた方にうかがいます。

→ 問31-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。
(数字で記入)

母親【父子家庭の場合は記載不要です】	父親【母子家庭の場合は記載不要です】
① 実際に復帰した時の子どもの年齢： □ 歳 □ か月	① 実際に復帰した時の子どもの年齢： □ 歳 □ か月
② 希望していた復帰時期の子どもの年齢： □ 歳 □ か月	② 希望していた復帰時期の子どもの年齢： □ 歳 □ か月
※希望どおりの復帰時期だった場合は、②に①と同じ数字を記入してください。	※希望どおりの復帰時期だった場合は、②に①と同じ数字を記入してください。

→ 問31-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。(数字で記入)

母親【父子家庭の場合は記載不要です】	父親【母子家庭の場合は記載不要です】
□ 歳 □ か月まで	□ 歳 □ か月まで
※問31-2の②(希望していた復帰時期の子どもの年齢)と同じ場合は、同じ数字を記入してください。	※問31-2の②(希望していた復帰時期の子どもの年齢)と同じ場合は、同じ数字を記入してください。

→ 問31-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(〇はそれぞれ1つつ)

母親【父子家庭の場合は記載不要です】	父親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった)	1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった・もともと短時間勤務だった)
2 利用した	2 利用した
3 利用したかったが、利用しなかった(できなかった)	3 利用したかったが、利用しなかった(できなかった)

→ 19ページの問31-6へ

問31-5は、問31-2で「**実際の復帰と希望が異なる方**」にうかがいます。

問31-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より 早く 復帰した方 (〇はあてはまるものすべて)

母親【父子家庭の場合は記載不要です】	父親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 希望する保育園に入るため	1 希望する保育園に入るため
2 配偶者や家族の希望があったため	2 配偶者や家族の希望があったため
3 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5 その他 ()	5 その他 ()

(2) 「希望」より 遅く 復帰した方 (〇はあてはまるものすべて)

母親【父子家庭の場合は記載不要です】	父親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 希望する保育園に入れなかったため	1 希望する保育園に入れなかったため
2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3 配偶者や家族の希望があったため	3 配偶者や家族の希望があったため
4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5 子どもをみてくれる人がいなかったため	5 子どもをみてくれる人がいなかったため
6 その他 ()	6 その他 ()

問31-6は、問31-4で「**3 利用したかったが、利用しなかった(できなかった)**」を選ばれた方にうかがいます。

問31-6 短時間勤務制度を利用しなかった(できなかった)理由は何ですか。

(〇はあてはまるものすべて)

母親【父子家庭の場合は記載不要です】	父親【母子家庭の場合は記載不要です】
1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2 仕事が忙しかった	2 仕事が忙しかった
3 短時間勤務にすると給与が減額される	3 短時間勤務にすると給与が減額される
4 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7 子育てや家事に専念するため退職した	7 子育てや家事に専念するため退職した
8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10 その他 ()	10 その他 ()

全員の方にうかがいます。

11. 裾野市の子育てに関する一般的な事項について

問 32 下記の下記の裾野市で実施している子育て関連事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。また、利用したことがあるものについては満足度を5点満点でご記入ください。(〇はそれぞれ1つつ・数字で記入)

	【A】 知っている		【B】 利用したことがある			【C】 今後利用 したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
				点数			
記入例： 病児・病後児保育	①	2	①	4/5	2	①	2
記入例： 保育園などの一時預かり	1	②	1	/5	②	①	2
① 保育園などの時間延長保育	1	2	1	/5	2	1	2
② 病児・病後児保育	1	2	1	/5	2	1	2
③ 保育園などの一時預かり	1	2	1	/5	2	1	2
④ 児童館・親子交流スペース(すこっぷ)	1	2	1	/5	2	1	2
⑤ 保育園などの園庭などの開放	1	2	1	/5	2	1	2
⑥ 地域子育て支援センター (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	1	2	1	/5	2	1	2
⑦ 健康推進課の教室 (パパママスクール、6か月児育児教室、2歳6か月児歯科教室)	1	2	1	/5	2	1	2
⑧ 健康推進課の相談事業 (乳幼児健康相談、母子食事健康相談、電話相談など)	1	2	1	/5	2	1	2
⑨ 健康推進課の訪問事業 (赤ちゃん・妊産婦訪問など)	1	2	1	/5	2	1	2
⑩ 健康推進課の健診事業 (1歳6か月児健診、3歳児健診)	1	2	1	/5	2	1	2
⑪ ファミリー・サポート・センター (会員制による一時預かりを中心とした相互援助活動)	1	2	1	/5	2	1	2
⑫ 家庭児童相談室 (市の子育て支援課にある相談窓口)	1	2	1	/5	2	1	2
⑬ 受診票(母子健康手帳別冊)による個別健診 (妊婦健診、妊婦歯科疾患検診、産婦健診、4か月児健診、10か月児健診)	1	2	1	/5	2	1	2

問 33 自分にとって、子育てを楽しんでいると感じることが多いと感じますか。それとも辛いと感じることが多いと感じますか。(〇は1つ)

1 楽しいと感じることの方が多い	2 楽しい・辛いと感じることが同じくらい
3 辛いと感じることの方が多い	4 わからない

問34 子育てにおいて、悩んでいることはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 遊ばせ方やしつけに関すること | 2 子どもの養育費など経済的なこと |
| 3 食育や栄養に関すること | 4 病気や発達に関すること |
| 5 子どもの将来への不安 | 6 仕事と子育ての両立に関すること |
| 7 子ども部屋の確保など住宅に関すること | 8 子どもの教育・学校に関すること |
| 9 子どもの友だち関係に関すること | 10 子どもの保護者同士の関わり方のこと |
| 11 子育ての情報が入手にくいこと | 12 子育てが精神的に負担なこと |
| 13 子どもに手をあげてしまうこと | 14 祖父母との子育てに関する考え方の相違 |
| 15 その他 () | |
| 16 特に悩んでいることはない | |

問35 裾野市は、子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 そう思う |
| 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらともいえない |
| 4 どちらかといえばそう思わない |
| 5 そう思わない |

→ 問35で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。

問36 裾野市が子育てしやすいまちだと「思う」理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 住環境が良い | 2 自然環境が良い |
| 3 交通機関が便利である | 4 保育園、こども園などが利用しやすい |
| 5 職場と住居が近い | 6 公園など子どもの遊び場が多い |
| 7 近所づきあいや地域活動が盛んである | 8 地域の子育て支援の事業が充実している |
| 9 子育てに関する情報を得やすい | 10 事故や犯罪が少ない |
| 11 その他 () | |
| 12 特にない | |

問35で「4」または「5」を選ばれた方にうかがいます。 ←

問37 裾野市が子育てしやすいまちだと「思わない」理由は何ですか。

(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 住環境が良くない | 2 自然環境が良くない |
| 3 交通機関が不便である | 4 保育園、こども園などに空きがない |
| 5 職場と住居が遠い | 6 公園など子どもの遊び場が少ない |
| 7 近所づきあいや地域活動が盛んではない | 8 地域の子育て支援の事業が充実していない |
| 9 子育てに関する情報を得にくい | 10 事故や犯罪が多く危険を感じる |
| 11 その他 () | |
| 12 特にない | |

問 38 理想の子どもの人数は何人ですか。また、現実的に子育てが可能と思われる子どもの人数は何人ですか。(数字で記入)

理想の子どもの人数

 人

現実的に子育て可能な子どもの人数

 人

問 38 で、理想の子どもの人数よりも、現実的な子育て可能な子どもの人数が少ない方にうかがいます。

問 38-1 理想の子どもの人数よりも、現実的な子育て可能な子どもの人数が少ない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 仕事と子育ての両立が難しいため
- 2 自分たちの自由な時間と育児が両立しないため
- 3 子育ての心理的、肉体的負担を軽減するため
- 4 子どもは欲しいが、年齢的に難しいため
- 5 自分（配偶者）の健康上の理由
- 6 未子が自分の定年までに成人しないため
- 7 社会がたくさんの子どもを育てられる状況ではないため
- 8 子育てにかかる費用が大変なため
- 9 家が狭いため
- 10 その他 ()

全員の方にうかがいます。

問 39 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 親の不安や悩みの相談
- 2 子育てに関する総合的な情報提供
- 3 子育て中の親同士の仲間づくり
- 4 子育てについての講座
- 5 子どもの発達や幼児教育のプログラムの提供
- 6 しつけや基本的な生活習慣について学ぶ場
- 7 子どもを遊ばせる場や機会の提供
- 8 親のリフレッシュの場や機会の提供
- 9 父親の育児参加に関する意識啓発
- 10 子どもの病気や障がいについての相談
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問 40 現在の子育て環境などを踏まえて、本市のそれぞれの子育て支援施策についての満足度・重要度をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

項 目		満足度				重要度			
		満足	まあ満足	やや不満	不満	重要	まあ重要	あまり重要でない	重要でない
【記入例】子どもの遊び場の充実 (公園・児童館などの整備)		①	2	3	4	1	②	3	4
①	母子保健体制の整備 (妊産婦や乳幼児健康診査、予防接種、保健指導など)	1	2	3	4	1	2	3	4
②	子どもの遊び場の充実 (公園・児童館などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
③	放課後児童室に関する施策の充実 (受け入れ体制の充実、週末や長期休暇における受け入れの充実など)	1	2	3	4	1	2	3	4
④	子育ての手助けに関する施策の充実 (一時預かりの受け入れ体制の充実、ファミリー・サポート・センターの充実)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤	子育てについて相談しやすい環境の整備 (各園や支援センターなどと家庭児童相談室との連携)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥	親や子どもが交流できる場・機会の充実 (子どもの居場所などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦	子育てについて学べる機会の充実 (パパママスクール・健康相談などの充実)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧	仕事と家庭生活の調和(ワークライフバランス)の実現のための啓発 (育児休暇の取得促進、労働時間の短縮など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨	障がい児施策の充実 (障がい児保育の充実、障がいや疾病のある子どもと親への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩	多様な子育て家庭への支援の推進 (子育て家庭への貧困対策の推進など)	1	2	3	4	1	2	3	4

問 41 あなたの世帯では、お子さんに次のことをしていますか。(〇はそれぞれ1つつ)

	している	していない	
		経済的な理由で	その他の理由で
① お子さんのための服や靴を買う	1	2	3
② お子さんのための本を買う	1	2	3
③ お子さんが必要とする文具や教材を買う	1	2	3
④ お子さんにおこづかいを定期的に渡す	1	2	3
⑤ お子さんが希望する習い事に通わせる	1	2	3
⑥ お子さんに誕生日プレゼント・お年玉をあげる	1	2	3
⑦ 家族旅行(日帰りを含む)に行く	1	2	3
⑧ お子さんの行事(運動会・保護者会など)へ親が参加する	1	2	3

問 42 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

多項目にわたり、調査にご協力いただきましてありがとうございました。

ご回答が終わりました調査票は、同封してある返信用封筒に入れ、
切手を貼らずに、6月24日(月)までに投函してください。

2. 小学生

小学生

裾野市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【調査ご協力をお願い】

皆様には日頃より裾野市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

裾野市では、“子育てによるこびを感じ、子どもたちの成長を通じ、親も、地域も共に育つまちづくり”を基本理念に掲げ、令和2年3月に「第2期裾野市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。このたび、計画の見直しにあたり、子どもたちが健やかに、心豊かに育つよう、お子さんがおられるご家庭の子育てに関するご意見やご要望をお聞かせいただくために、ニーズ調査を実施することといたしました。

この調査は、裾野市の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する“現在の利用状況”や“今後の利用希望”を把握し、お子さんがいらっしゃるご家庭の子育てに関するご意見やご要望をうかがうために実施するもので、市内にお住まいの、小学生のお子さんがいらっしゃる1,000世帯にご協力をお願いしています。

なお、ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は、全体の何%」といった形に整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。また、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものでもなく、今後、利用希望を変更していただいても構いません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年6月
裾野市長 **村田 悠**

記入にあたってのお願い

1. 特に指定がある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 数字（年齢や時間帯など）をうかがう質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、**時間については24時間制**でご記入ください。 **（例：午後1時 → 13時）**
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
6. 放課後児童室などの子育て支援サービスについてうかがう質問がありますが、これらの質問はあくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件（例：放課後児童室の入室要件など）を全て表現しているものではありません。実際のサービスの利用条件などについては、市担当課窓口にご相談ください。
7. 記入後は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、**6月24日（月）までに、**
投函してください。
8. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問合せ先】裾野市 幼稚園・保育園課（担当：川上） 電話：055-995-1822

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 あて名のお子さんの子育て（教育・保育などを含む）に日常的に関わっている方はどなた（どの施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（○はあてはまるものすべて）

- | | | |
|---------|-------|----------|
| 1 父母ともに | 2 母親 | 3 父親 |
| 4 祖父母 | 5 小学校 | 6 その他（ ） |

問9 あて名のお子さんの子育て（教育・保育などを含む）に、最も影響すると思われる環境はどれですか。（○は1つ）

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 1 家庭 | 2 地域 | 3 小学校 |
| 4 習い事 | 5 その他（ ） | |

問10 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（○はあてはまるものすべて）

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもない → 4ページの問11へ |

→ 問10で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。

問10-1 祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（○はあてはまるものすべて）

- | |
|---|
| 1 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2 祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3 祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他（ ） |

→ 問10で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。

問10-2 友人や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

（○はあてはまるものすべて）

- | |
|--|
| 1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6 その他（ ） |

問 11 あて名のお子さんの子育て（教育・保育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（〇は1つ）

- | | |
|---------|----------|
| 1 いる／ある | 2 いない／ない |
|---------|----------|

▶ 問 11 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 11-1 お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（〇はあてはまるものすべて）

- | | | |
|-----------------|-------------|------------------|
| 1 祖父母などの親族 | 2 友人や知人 | 3 近所の人 |
| 4 子育て支援センター・NPO | 5 県の保健所 | 6 市の保健師 |
| 7 小学校の先生 | 8 家庭相談員 | 9 県の児童相談所 |
| 10 民生委員・児童委員 | 11 かかりつけの医師 | 12 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 13 子育てサークル | 14 その他（ | ） |

問 12 お子さんの子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報の入手先はどこですか。また、方法は何かですか。（〇はあてはまるものすべて）

- | | | |
|------------|----------------|------------|
| 1 市役所の窓口 | 2 小学校 | 3 保育園 |
| 4 幼稚園 | 5 認定こども園 | 6 知人・友人 |
| 7 子育てサークル | 8 広報すその | 9 テレビ |
| 10 ラジオ | 11 SNS | 12 新聞・雑誌 |
| 13 インターネット | 14 すその子育て応援アプリ | |
| 15 その他（ | ） | 16 入手していない |

3. 保護者の就労状況について

問 13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

母親【父子家庭の場合は記載不要です】

問 13 (1) 現在の就労状況（○は1つ）

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中でない
- 4 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまで就労したことがない

→問 13 (1) で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (1) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む・休憩時間を除く）」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字で記入）

1週あたり 日 1日あたり 時間 分
 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

→問 13 (1) で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。（問 13 (1) -1 もお答えください）

問 13 (1) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

→問 13 (1) で「5」または「6」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (1) -3 就労したいという希望はありますか。（○は1つ）

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい ※年齢を記入してください
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→問 13 (1) -3 で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (1) -4 希望する就労形態はなんですか。（○は1つ）

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 パート・アルバイトなど ⇒ 1週あたり 日、1日あたり 時間

父親【母子家庭の場合は記載不要です】

問 13 (2) 現在の就労状況 (〇は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中でない
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中でない
- 4 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6 これまで就労したことがない

→ 問 13 (2) で「1」～「4」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (2) -1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む・休憩時間を除く)」と家を出る時刻、帰宅時刻をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字で記入)

1週あたり 日 1日あたり 時間 分
 家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

→ 問 13 (2) で「3」または「4」を選ばれた方にうかがいます。(問 13 (2) -1 もお答えください)

問 13 (2) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

→ 問 13 (2) で「5」または「6」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (2) -3 就労したいという希望はありますか。(〇は1つ)

- 1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい ※年齢を記入してください
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 問 13 (2) -3 で「3」を選ばれた方にうかがいます。

問 13 (2) -4 希望する就労形態はなんですか。(〇は1つ)

- 1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- 2 パート・アルバイトなど ⇒ 1週あたり 日、1日あたり 時間

全員の方にうかがいます。

4. 放課後児童室の利用状況・利用意向について

問 14 現在、あて名のお子さんは放課後児童室を利用していますか。(〇は1つ)

1 利用している

2 利用していない

→ 問 14 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 14-1 放課後児童室を利用している日(平日・土曜日)はいつですか。
また、それぞれの利用頻度はどのくらいですか。

(〇は(1)(2)で1つつ・数字で記入)

(1) 平日

1 利用している ⇒ 1週あたり 日

2 利用していない

(2) 土曜日

1 利用している ⇒ 1か月あたり 日

2 利用していない

問 14 で「2」を選ばれた方にうかがいます。 ←

問 14-2 放課後児童室を利用していない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 母親または父親が就労していないため、利用する必要がないから
- 2 就労しているが、家族や親族の中に世話をしてくれる人がいるから
- 3 就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけで大丈夫だと思うから
- 4 放課後児童室を知らなかったから
- 5 放課後児童室の利用料がかかるから
- 6 放課後児童室の開所時間が短いから・合わないから
- 7 放課後は、習い事をしているから
- 8 他の施設・事業所に預けているから
- 9 その他 ()

問 15 **来年度以降**、あて名のお子さんについて、放課後児童室の利用希望はありますか。平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中、それぞれご記入ください。また、平日以外の希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(〇は(1)～(4)で1つずつ・数字で記入)

※この事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 平日

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	--> 1週あたり <input type="text"/> 日
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3 利用する必要はない	

(2) 土曜日

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	利用したい時間帯 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで 利用したい日数 1か月あたり <input type="text"/> 日間
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3 利用する必要はない	

(3) 日曜日・祝日

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	利用したい時間帯 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで 利用したい日数 1か月あたり <input type="text"/> 日間
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3 利用する必要はない	

※日曜日・祝日については、現在、事業を行っていません。

(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇中

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい	利用したい時間帯 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで 利用したい日数 夏休み <input type="text"/> 日 冬休み <input type="text"/> 日 春休み <input type="text"/> 日
2 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3 利用する必要はない	

5. 病気の際の対応について

問 16 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(〇は1つ)

1 あった

2 なかった → 10 ページの問17へ

問 16 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 16-1 この1年間に、病気やケガで学校を休まなければならなかった場合の対処方法は何ですか。また、その日数は概ね何日ですか。(半日程度の場合も1日とカウントしてください)(〇はあてはまるものすべて・数字で記入)

1 父親が休んだ

⇒ 年間 日

2 母親が休んだ

⇒ 年間 日

3 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

⇒ 年間 日

4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

⇒ 年間 日

5 病児・病後児の保育を利用した

⇒ 年間 日

6 ファミリー・サポート・センターを利用した

⇒ 年間 日

7 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

⇒ 年間 日

8 その他 ()

⇒ 年間 日

10 ページの問 16-4 へ

問 16-1 で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。

問 16-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思われましたか。また、その場合の日数はどれくらいありますか。(〇は1つ・数字で記入)

1 できれば病児・病後児保育施設などを利用したい

⇒ 年間 日

2 利用したいとは思わない

問 16-2 で「2」を選ばれた方にうかがいます。

問 16-3 病児・病後児保育施設などを利用したいと思わない理由は何ですか。

(〇はあてはまるものすべて)

1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安

2 病児・病後児保育の質に不安がある

3 病児・病後児保育の利便性(立地や利用可能時間・日数など)が良くない

4 利用料がかかる・高い

5 病児・病後児保育の事業内容がわからない

6 親や自分以外の親族などが協力して対応するので必要ない

7 その他 ()

問 18 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で事業（一時預かりなど）を利用したいと思いますか。（○は1つ・数字で記入）

1 利用したい	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
2 利用する必要はない → 問 19へ			

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

→ 問 18 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 18-1 その目的と必要な日数をご記入ください。（○はあてはまるものすべて・数字で記入）

1 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、 リフレッシュ目的	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
2 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
3 不定期の就労	⇒ 年間	<input type="text"/>	日
4 その他（	⇒ 年間	<input type="text"/>	日

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

→ 問 18 で「1」を選ばれた方にうかがいます。

問 18-2 問 18-1 の目的でお子さんを預ける場合、どの事業を希望しますか。

（○はあてはまるものすべて）

1 地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センターなど）
2 小学生一時預かり事業（シルバー人材センター）
3 その他（

問 19 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設などで一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について、該当する目的のあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数を数字でご記入ください。

（○はあてはまるものすべて・数字で記入）

1 冠婚葬祭	⇒ 年間	<input type="text"/>	泊
2 保護者や家族の育児疲れ・不安	⇒ 年間	<input type="text"/>	泊
3 保護者や家族の病気	⇒ 年間	<input type="text"/>	泊
4 その他（	⇒ 年間	<input type="text"/>	泊
5 利用する必要はない			

全員の方にうかがいます。

7. 裾野市の子育てに関する一般的な事項について

問 20 下記の裾野市で実施している子育て関連事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについてお答えください。また、利用したことがあるものについては満足度を5点満点でご記入ください。(〇はそれぞれ1つずつ・数字で記入)

	【A】 知っている		【B】 利用したことがある			【C】 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
			点数				
記入例： 病児・病後児保育	①	2	①	4/5	2	①	2
記入例： 保育園などの一時預かり	1	②	1	/5	②	①	2
① 保育園などの時間延長保育	1	2	1	/5	2		
② 病児・病後児保育	1	2	1	/5	2	1	2
③ 保育園などの一時預かり	1	2	1	/5	2		
④ 児童館・親子交流スペース(すこっぷ)	1	2	1	/5	2	1	2
⑤ 保育園などの園庭などの開放	1	2	1	/5	2		
⑥ 地域子育てで支援センター (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	1	2	1	/5	2	1	2
⑦ 健康推進課の教室 (パパママスクール、6か月児育児教室、2歳6か月児歯科教室)	1	2	1	/5	2		
⑧ 健康推進課の相談事業 (乳幼児健康相談、母子食事健康相談、電話相談など)	1	2	1	/5	2	1	2
⑨ 健康推進課の訪問事業 (赤ちゃん・妊産婦訪問など)	1	2	1	/5	2		
⑩ 健康推進課の健診事業 (1歳6か月児健診、3歳児健診)	1	2	1	/5	2		
⑪ ファミリー・サポート・センター (会員制による一時預かりを中心とした相互援助活動)	1	2	1	/5	2	1	2
⑫ 家庭児童相談室 (市の子育て支援課にある相談窓口)	1	2	1	/5	2	1	2
⑬ 受診票(母子健康手帳別冊)による個別健診 (妊婦健診、妊婦歯科疾患検診、産婦健診、4か月児健診、10か月児健診)	1	2	1	/5	2		

問 21 自分にとって、子育てを楽しんでいると感じることが多いと感じますか。それとも辛いと感じることが多いと感じますか。(〇は1つ)

1 楽しいと感じることの方が多い	2 楽しい・辛いと感じることが同じくらい
3 辛いと感じることの方が多い	4 わからない

問 22 子育てにおいて、悩んでいることはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 遊ばせ方やしつけに関すること | 2 子どもの養育費など経済的なこと |
| 3 食育や栄養に関すること | 4 病気や発達に関すること |
| 5 子どもの将来への不安 | 6 仕事と子育ての両立に関すること |
| 7 子ども部屋の確保など住宅に関すること | 8 子どもの教育・学校に関すること |
| 9 子どもの友だち関係に関すること | 10 子どもの保護者同士の関わり方のこと |
| 11 子育ての情報が入手しにくいこと | 12 子育てが精神的に負担なこと |
| 13 子どもに手をあげてしまうこと | 14 祖父母との子育てに関する考え方の相違 |
| 15 その他 () | |
| 16 特に悩んでいることはない | |

問 23 裾野市は、子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

- | |
|------------------|
| 1 そう思う |
| 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらともいえない |
| 4 どちらかといえばそう思わない |
| 5 そう思わない |

▶ 問 23 で「1」または「2」を選ばれた方にうかがいます。

問 24 裾野市が子育てしやすいまちだと「思う」理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 住環境が良い | 2 自然環境が良い |
| 3 交通機関が便利である | 4 保育園、こども園などが利用しやすい |
| 5 職場と住居が近い | 6 公園など子どもの遊び場が多い |
| 7 近所づきあいや地域活動が盛んである | 8 地域の子育て支援の事業が充実している |
| 9 子育てに関する情報を得やすい | 10 事故や犯罪が少ない |
| 11 その他 () | |
| 12 特になし | |

問 23 で「4」または「5」を選ばれた方にうかがいます。 ←

問 25 裾野市が子育てしやすいまちだと「思わない」理由は何ですか。

(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 住環境が良くない | 2 自然環境が良くない |
| 3 交通機関が不便である | 4 保育園、こども園などに空きがない |
| 5 職場と住居が遠い | 6 公園など子どもの遊び場が少ない |
| 7 近所づきあいや地域活動が盛んではない | 8 地域の子育て支援の事業が充実していない |
| 9 子育てに関する情報を得にくい | 10 事故や犯罪が多く危険を感じる |
| 11 その他 () | |
| 12 特になし | |

問 26 理想の子どもの人数は何人ですか。また、現実的に子育てが可能と思われる子どもの人数は何人ですか。(数字で記入)

理想の子どもの人数 人

現実的に子育て可能な子どもの人数 人

問 26 で、理想の子どもの人数よりも、現実的な子育て可能な子どもの人数が少ない方にうかがいます。

問 26-1 理想の子どもの人数よりも、現実的な子育て可能な子どもの人数が少ない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 仕事と子育ての両立が難しいため
- 2 自分たちの自由な時間と育児が両立しないため
- 3 子育ての心理的、肉体的負担を軽減するため
- 4 子どもは欲しいが、年齢的に難しいため
- 5 自分(配偶者)の健康上の理由
- 6 末子が自分の定年までに成人しないため
- 7 社会がたくさんの子どもを育てられる状況ではないため
- 8 子育てにかかる費用が大変なため
- 9 家が狭いため
- 10 その他 ()

全員の方にうかがいます。

問 27 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 親の不安や悩みの相談
- 2 子育てに関する総合的な情報提供
- 3 子育て中の親同士の仲間づくり
- 4 子育てについての講座
- 5 子どもの発達や幼児教育のプログラムの提供
- 6 しつけや基本的な生活習慣について学ぶ場
- 7 子どもを遊ばせる場や機会の提供
- 8 親のリフレッシュの場や機会の提供
- 9 父親の育児参加に関する意識啓発
- 10 子どもの病気や障がいについての相談
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問 28 現在の子育て環境などを踏まえて、本市のそれぞれの子育て支援施策についての満足度・重要度をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

項 目		満足度				重要度			
		満足	まあ満足	やや不満	不満	重要	まあ重要	あまり重要でない	重要でない
【記入例】子どもの遊び場の充実 (公園・児童館などの整備)		①	2	3	4	1	②	3	4
①	母子保健体制の整備 (妊産婦や乳幼児健康診査、予防接種、保健指導など)	1	2	3	4	1	2	3	4
②	子どもの遊び場の充実 (公園・児童館などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
③	放課後児童室に関する施策の充実 (受け入れ体制の充実、週末や長期休暇における受け入れの充実など)	1	2	3	4	1	2	3	4
④	子育ての手助けに関する施策の充実 (一時預かりの受け入れ体制の充実、ファミリー・サポート・センターの充実)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤	子育てについて相談しやすい環境の整備 (各園や支援センターなどと家庭児童相談室との連携)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥	親や子どもが交流できる場・機会の充実 (子どもの居場所などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦	子育てについて学べる機会の充実 (パパママスクール・健康相談などの充実)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧	仕事と家庭生活の調和(ワークライフバランス)の実現のための啓発 (育児休暇の取得促進、労働時間の短縮など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨	障がい児施策の充実 (障がい児保育の充実、障がいや疾病のある子どもと親への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩	多様な子育て家庭への支援の推進 (子育て家庭への貧困対策の推進など)	1	2	3	4	1	2	3	4

問 29 あなたの世帯では、お子さんに次のことをしていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

	している	していない	
		経済的な理由で	その他の理由で
① お子さんをスポーツ少年団の活動や部活動に参加させる	1	2	3
② お子さんのための服や靴を買う	1	2	3
③ お子さんのための本を買う	1	2	3
④ お子さんが必要とする文具や教材を買う	1	2	3
⑤ お子さんにおこづかいを定期的に渡す	1	2	3
⑥ お子さんが希望する習い事に通わせる	1	2	3
⑦ お子さんに誕生日プレゼント・お年玉をあげる	1	2	3
⑧ 家族旅行（日帰りを含む）に行く	1	2	3
⑨ お子さんの行事（運動会・保護者会など）へ親が参加する	1	2	3

問 30 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

多項目にわたり、調査にご協力いただきましてありがとうございました。

ご回答が終わりました調査票は、同封してある返信用封筒に入れ、
切手を貼らずに、**6月24日（月）**までに投函してください。

子ども・子育て支援に関するニーズ調査
調査結果報告書

発行 令和6年 9月
編集 裾野市役所 幼稚園・保育園課
〒410-1192 静岡県裾野市佐野 1059 番地
TEL 055-995-1822